CELICA

取　扱　書

よくお読みになってご使用ください。取扱書は車の中に保管しましょう。

このたびはトヨタ車をお買いあげいただきありがとうございます。

車は万一取り扱いを誤ると
故障や事故の原因になります。
ご使用前に本書を必ずお読みください。

- お買いあげいただきましたセリカならではの装備や取り扱い方法もあります。はじめてセリカをお選びいただいたかたはもちろん、これまでもセリカにお乗りいただいていた皆さまも、ぜひご精読ください。
- 本書では、車の正しい取り扱い方法や手入れ法のほか、ドライバーとして最低限必要な心がまえについてもふれていますので、ぜひご一読いただき、安全・快適なカーライフをお楽しみください。
- とくに
  「必読/これだけは知っておきましょう。」と、

および

は、しっかりとお読みください。

※車をゆずられる場合、次のオーナーのために本書を車につけておいてください。

- 本書はGT-FOUR、GT-R、Z-R、S-Rについて説明しています。
- 説明に際してはGT-Rを基本とし、GT-Rと取り扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。
- 販売店で取りつけられた注文装備品(オーディオ、エアコン等)の取り扱いについては、添付されている取扱書をご覧ください。

あなたのお車の

キーナンバーは	
エンジン型式は	
グレードは	

です。

※ご不明な点は、担当セールスマンにお聞きください。

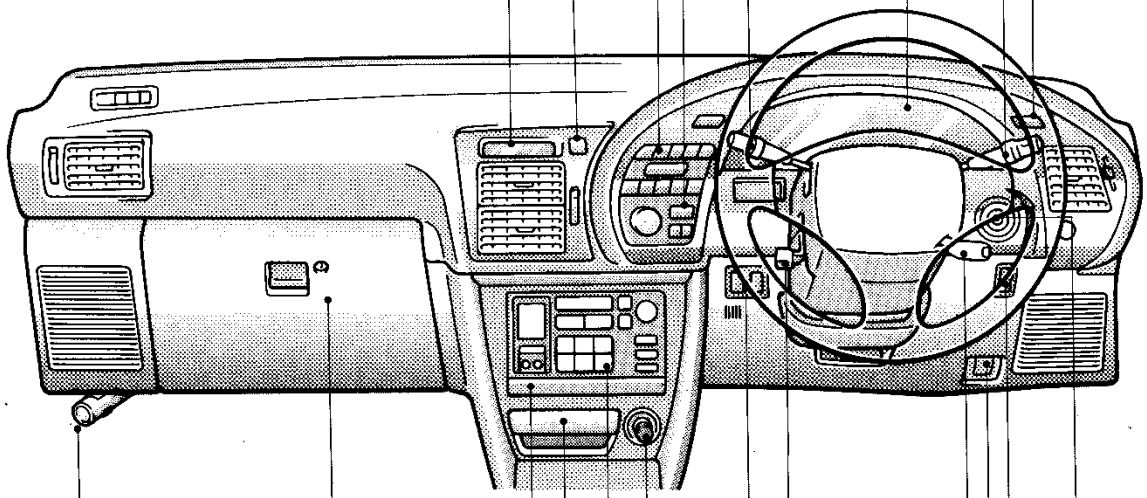
無断複製禁止

目　次 CONTENTS

必読!これだけは知っておきましょう。	〔基本操作要領、安全・快適走行のチェックポイント等〕	5
ドア、ウインドウ等各部の開閉	〔ドア、パワー(電動)ウインドウ、ボンネット、フューエルリッド(燃料補給口)、バックドア等〕	24
シート、シートベルト、チルトステアリング、ミラーの調整		31
運転装置の使い方	〔エンジンのかけ方、パーキング(駐車)ブレーキ、ギヤチェンジ等〕	42
スイッチの使い方	〔ライトスイッチ、ワイパー、リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)等〕	47
メーター、表示灯、警告灯の見方		53
ヒーターの使い方		59
オーディオの使い方		65
室内装備の使い方	〔時計、シガレットライター、灰皿、各部照明、小物入れ、サンバイザー等〕	84
特別装備の使い方	〔オートドライブ、電動サンルーフ、電子制御サスペンション(TEMS)、ABS、4輪操舵システム(4WS)、SRSエアバッグ〕	90
フルタイム4WD車の取り扱い		101
万一のときの処置	〔工具とジャッキ、パンクしたときは、万一のときの処置、こんな故障の応急処置は〕	104
車の手入れ、経済運転のコツ、寒冷地での取り扱い、タイヤチェーン		116
さくいん	●知りたいことが見つからないときは、さくいんもご利用ください。	125

無断複製禁止

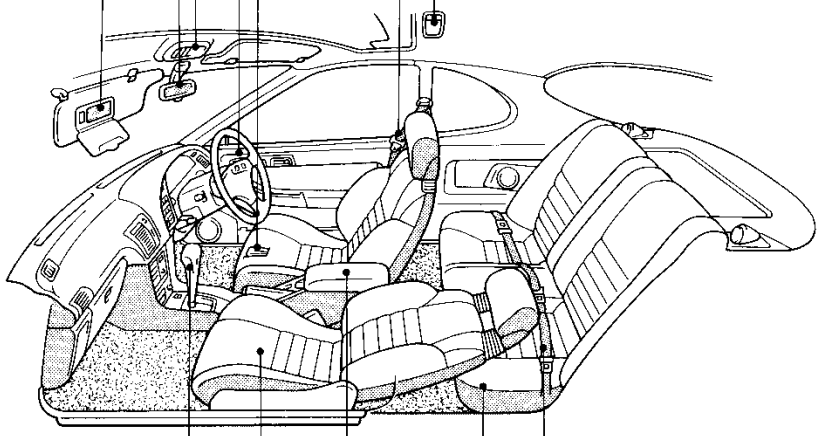
ILLUSTRATED CONTENTS 《イラスト目次》



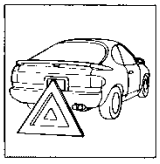
●フォグランプスイッチ(P52)
●ライトスイッチ & 方向指示レバー(P47)
●メーター類(P53)
●フロントワイパー & ウォッシャースイッチ(P50)
●リヤワイパー & ウォッシャースイッチ(P51)
●リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ(P51)
●ヒーター(P59)
●非常点滅灯スイッチ(P52)
●時計(P84)
●発炎筒(P110)
●グローブボックス(小物入れ)(P87)
●カップホルダー(P87)
●灰皿(P85)
●オーディオ(P65)
●シガレットライター(P85)
●4輪操舵(4WS)切り替えスイッチ(P98)
●4輪操舵(4WS)解除スイッチ(P98)
●電動チルトアウェイステアリング(P38)
●オートドライブ(自動定速走行装置)スイッチ(P90)
●ボンネットオープナー(P28)
●ワイヤレスドアロックリモコンメインスイッチ(P26)
●エンジンスイッチ(P42)

※装備のちがい、注文装備等も含んでいますので装置の有無は本文を参照してください。

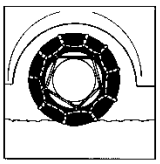
無断複製禁止



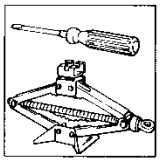
●電動サンルーフスイッチ(P93)
●マップランプ(P86)
●インナーミラー
(防眩ミラー)(P39)
●バニティーミラー
(化粧ミラー)(P88)
●電気式ドアロックスイッチ(P25)
●パワー(電動)ウインドウ
スイッチ(P27)
●バックドアオープナー(P29)
●フューエルリッド
(燃料補給口)オープナー(P29)
●フロントシートベルト(P35)
●室内灯(P86)
●チェンジレバー(P43、44)
●フロントシート(P31)
●フタ付きコンソールボックス(小物入れ)(P87)
●リヤシートベルト(P37)
●リヤシートの取りはずし方(P119)



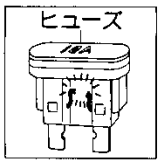
万一のときの処置(P109)



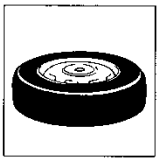
タイヤチェーンのつけ方(P123)



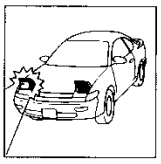
工具、ジャッキ(P104)



ヒューズが切れたときは……(P113)



スペアタイヤ(P105)



ランプ類が点灯しないときは……(P115)

無断複製禁止

「整備手帳」もあわせてお読みください。

お車の取り扱いについては「取扱書」を、
点検・整備については、別冊の「整備手帳」をご利用いただき、
安全・快適なカーライフをお楽しみください。



「整備手帳」の主な内容

- 「保証書」
- 法令で定められている「運行前点検」「定期点検」の方法
- 「定期点検整備記録簿」（法令により携行が義務づけられています）
- あなたのお車が、万一故障したときにお役立ていただける「トヨタサービス網」

無断複製禁止

必読！

これだけは知っておきましょう。

セリカとともに、
より安全・快適なカーライフを
お楽しみいただくために

これだけは知っておきましょう。

ドライバーとしてこれだけは知っておいていただきたい項目を
以下の必読ページにまとめてあります。
安全・快適なカーライフをお楽しみいただくため、
ぜひお読みください。

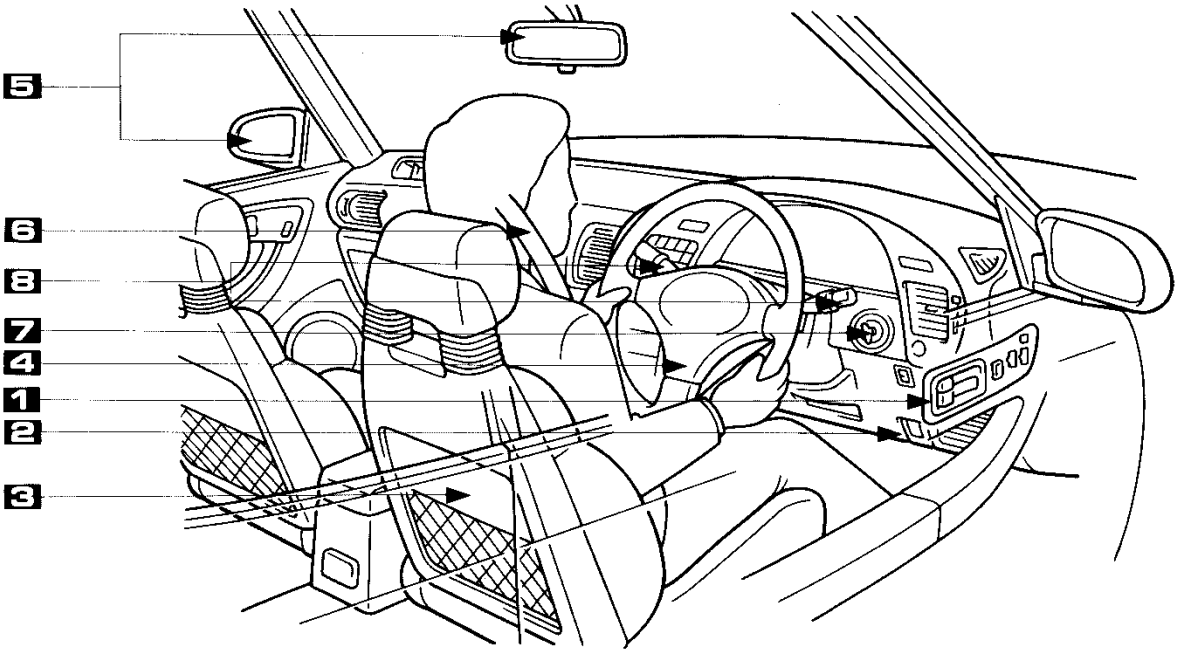
無断複製禁止

必読！

セリカの基本操作要領

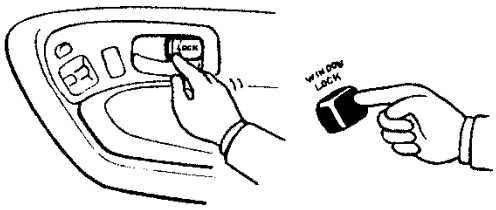
（詳しくは、本文をご参照ください。）

まずは、あなたの指定席「ドライバーシート」に腰をおろして……



1 ドア、ウインドゥ（24ページ）

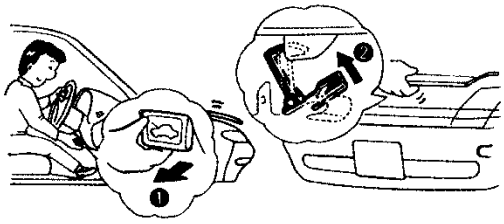
走行中は必ずドアをロックしましょう。
また、GT-FOUR（ラリーパックを除く）、GT-R、Z-Rのウインドゥは各ドアのスイッチ操作で開閉できるパワー（電動）ウインドゥです。



お子さまを乗せたときは
LOCKにしましょう。

2 ボンネット（運行前点検）（28ページ）

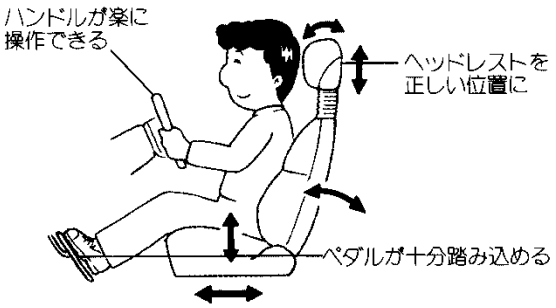
ボンネットの開け方は
❶計器盤右下のレバーを引く。
❷ボンネットロックをはずす。



無断複製禁止

3 シート調整(31ページ)

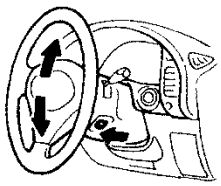
❶ペダルが十分踏み込める。
❷ハンドルが楽に操作できる。
❸ヘッドレストが耳の後方になるように、走行前に調節してください。



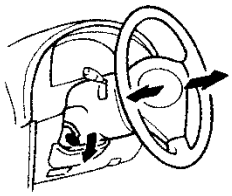
4 ハンドル位置調整(38ページ)

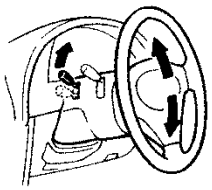
ハンドルは、角度調整ができます。
走行前にハンドル操作がもっとも楽な位置に調整してください。

上下位置調整



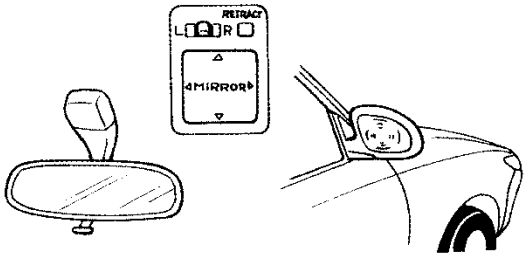
前後位置調整





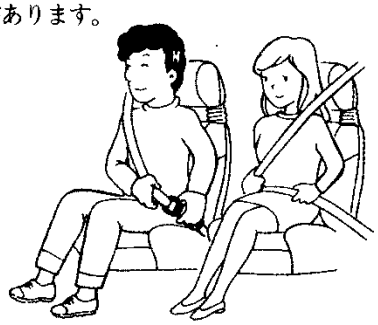
5 ミラー調整(39ページ)

走行前に、後方、左右がもっとも確認しやすい角度に調整してください。また、電動格納式ドアミラー付き車のミラーはスイッチ操作でミラーを自動で格納することができます。



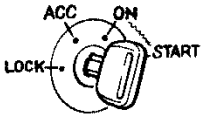
6 シートベルト(35ページ)

シートベルトは必ず装着してください。装着のときは、腰部ベルトを必ず腰骨の位置に装着してください。妊婦、疾患のあるかたおよびお子さまの装着は危険な場合があります。



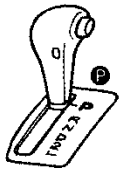
7 エンジン始動(43ページ)

エンジンスイッチの各位置は図のとおりです。



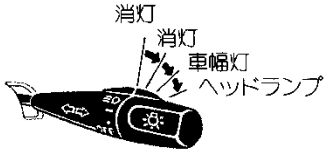
❶エンジンを始動する前に必ずブレーキペダルを踏むか、パーキング(駐車)ブレーキをかける。
❷マニュアル(ギヤ式)トランスミッション車は🅝(中立)、オートマチックトランスミッション車は🅟(駐車)にはいっていることを確認してください。



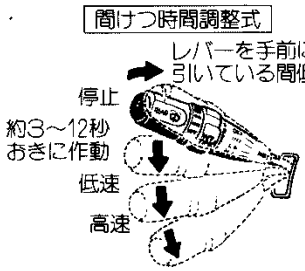


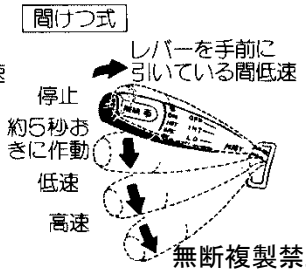
8 ライト、ワイパースイッチ(47ページ)

ライトスイッチ



ワイパースイッチ



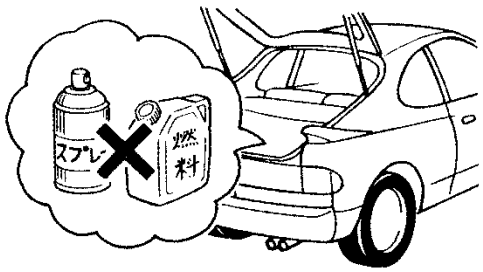


無断複製禁止

「準備よし！」までの Check Point

積んでいませんか？

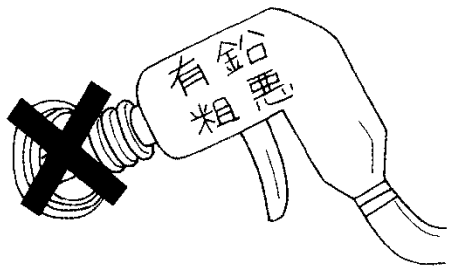
危険物は持ち込み禁止です。



車内、およびデッキルーム内に燃料がはいった容器やスプレー缶を持ち込まないでください。蒸発ガスに引火したり容器が破損すると非常に危険です。

いれていませんか？

有鉛ガソリン、粗悪ガソリンお断りです。



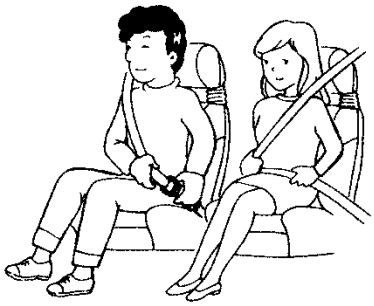
ガソリンの補給は、必ず無鉛ガソリンにしてください。有鉛ガソリンやトヨタ純正品以外のガソリン添加剤を使用すると、触媒装置を損ないます。
また、粗悪ガソリンを使用すると、エンジン各部に悪影響をあたえますので注意してください。

GT-FOUR、GT-Rは無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）仕様車です。

ガソリンを補給するときは、無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）をおすすめします。
無鉛レギュラーガソリンを使用されてもエンジン各部への影響はありません。

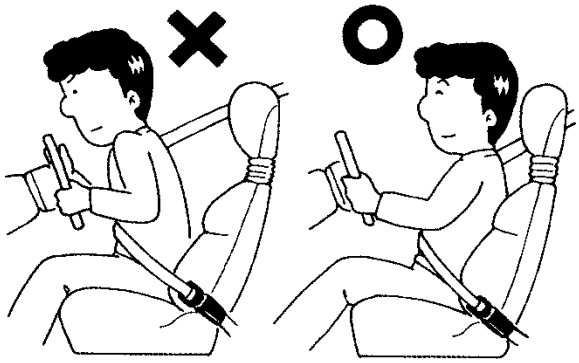
忘れていませんか？

シートベルトは必着です。



正しい装着方法は⇨35ページを参照してください。

ヘッドレストは高すぎず、低すぎず、頭との間はあけすぎず。

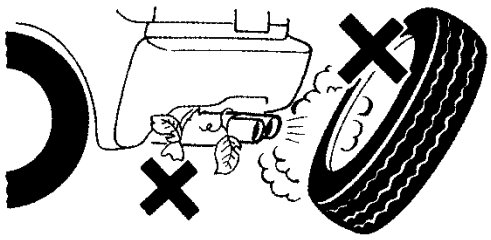


無断複製禁止

「エンジン始動、さあ出発！」までの Check Point

確認しましたか？

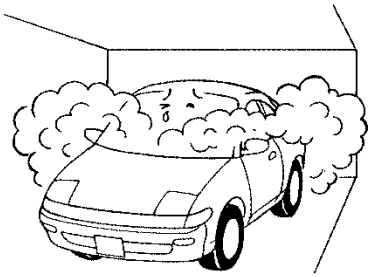
車両後方、排気管にからんだ
可燃物は危険です。



始動前に車両後方に燃えやすいものがないか、排気管に枯れ草などが巻きついていないか確かめてください。

危険はありませんか？

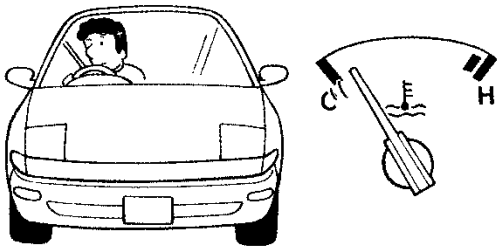
密閉した車庫内で
エンジンをかけたままにしない。



ガス中毒を起こす危険があります。やむをえない場合は、必ず換気をよくしてください。

暖機は適切ですか？

水温計の指針が動き出す程度で
十分です。



長すぎると燃料のムダになります。



暖機運転中はもちろん、エンジンが回っているときは車から離れないでください。

運転席の足元はすっきりと！

運転席付近に物を置くと危険です。
フロアマットは正しく敷いてください。



フロアに物がころがってブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作ができなくなるなど危険です。
また、フロアマットがアクセルペダルに引っかからないように注意してください。

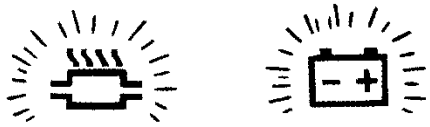
無断複製禁止

「安全・快適走行」のための Check Point

こんなときは要注意！

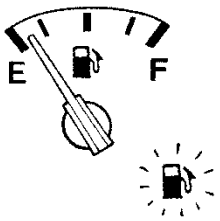
次のような警告灯、計器の警告を無視して運転を続けると、触媒装置を焼損するおそれがあります。

排気温警告灯または充電警告灯が点灯したら、安全な場所へ停止。



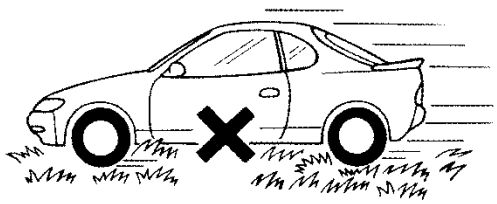
触媒装置の温度が異常に高くなっています。
必ず⇨57ページを参照して、点灯時の処置を行ってください。

燃料計がE以下になる前に補給。



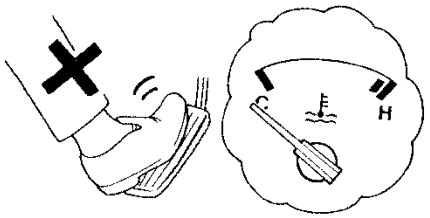
走らないで！

枯れ草、紙くずなど燃えやすいものの上は走行拒否。



あおらないで！

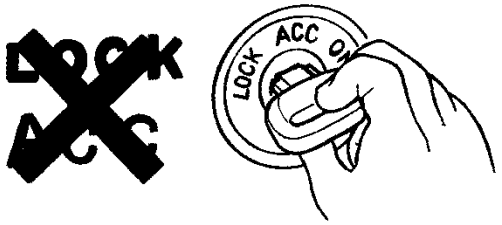
暖機不足の発進時、極端にアクセルペダルをあおらないでください。



未燃焼ガスが触媒装置に流れ、触媒装置を焼損するおそれがあります。

切らないで！

走行中はもちろん、高回転直後でもエンジンスイッチを切らないでください。



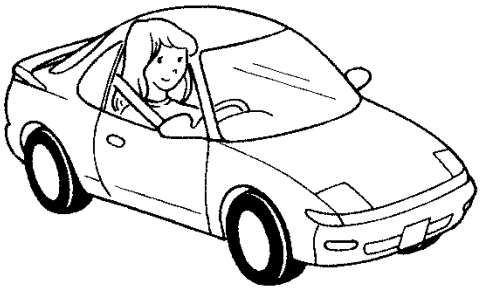
1. 触媒装置を焼損するおそれがあります。
2. 走行中エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にすると、
   - ブレーキの効きが悪くなります。
   - パワーステアリング(ハンドル操作力軽減装置)が作用しないため、ハンドル操作が非常に重くなります。
   - LOCK位置にするとキーが抜けることがあり、キーが抜けるとハンドルがきれなくなり危険です。
   - 各種警告灯が作用しなくなり危険です。

無断複製禁止

オートマチック車の正しい運転のしかた

(44ページの「**オートマチックトランスミッション**」もあわせてお読みください。)

オートマチック車は、クラッチとギヤチェンジの操作を自動化したもので、その分運転が楽になります。しかし、安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性をよく理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

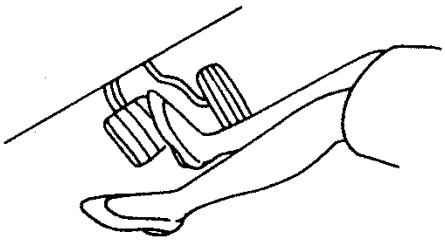


オートマチック車の特性

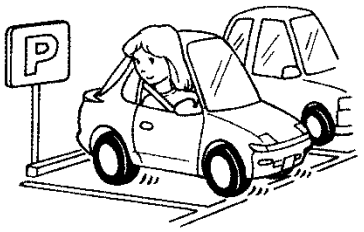
クリープ現象

エンジンがかかっているとき、チェンジレバーがⓅⓃ以外の位置にあると、動力がつながった状態になりアクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出す現象をいいます。

- 停車中は、平坦路であっても車が動かないように、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキング(駐車)ブレーキをかけてください。



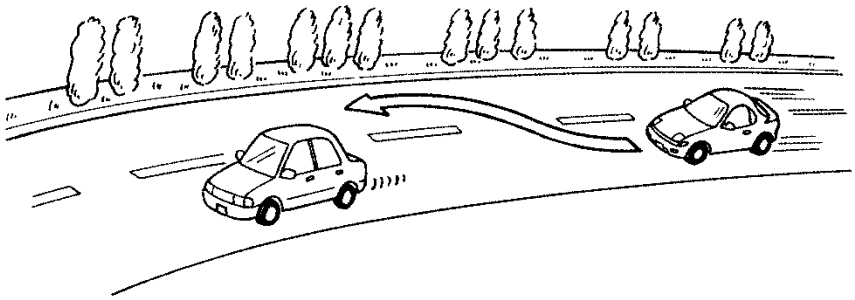
- エンジン始動時やエアコン作動時などに、自動的にエンジンの回転が上がるアイドルアップ時には、クリープ現象が強くなるため、ブレーキペダルをよりしっかりと踏むことが必要です。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節するとスムーズに行えます。



キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。これをキックダウンといいます。

- 追いこし時の急加速や高速道路での合流が楽に行えます。



無断複製禁止

運転のしかた

エンジンをかける前に

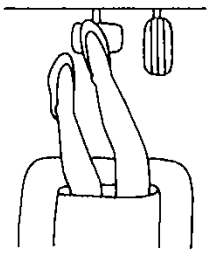
1 正しい運転姿勢をとる。

ペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シートの位置を調整してください。

2 アクセルペダルの位置を確認。

3 ブレーキペダルの位置を右足で確認。

踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認し、足におぼえさせておくことが重要です。



エンジン始動

詳しくは43ページの「エンジンのかけ方」を参照してください。

1 パーキング（駐車）ブレーキを確認。

2 Ⓟの位置を目で確認。

Ⓝの位置でも始動できますが、安全のため車輪が固定されるⓅの位置で行ってください。

3 エンジン始動。

4 ブレーキペダルを右足で踏む。

無断複製禁止

ブレーキペダルは右足で

確実なブレーキ操作をするために、右足でブレーキペダルを踏んでください。
慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるおそれがあります。

発進

1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏んだまま。

チェンジレバーを**Ⓓ**や**Ⓡ**にいれると、クリープ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。発進時のレバー操作は、ブレーキペダルをしっかり踏み、車が動かないようにして行ってください。
エンジン始動直後やエアコン作動時などアイドルアップしているときは、車が動こうとする力がとくに強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

2 チェンジレバーを前進は**Ⓓ**、後退は**Ⓡ**にいれる。

レバー操作は、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行ってはいけません。車が急発進し、思わぬ事故の原因につながります。

3 チェンジレバーの位置を目で確認。

4 パーキング(駐車)ブレーキをもどす。

5 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み加速。

マニュアル車では、発進時のスピード調節を半クラッチ操作とアクセル操作を併用して行いますが、オートマチック車では、アクセル操作のみで行いますのでアクセル操作は慎重に行ってください。

急な坂道の発進

チェンジレバーの位置を目で確認したら、
- まずアクセルペダルをゆっくり踏み、
- 車が動き出す感触を確認してから、
- パーキング(駐車)ブレーキをもどし発進。

無断複製禁止

運転のしかた

発進

通常走行

チェンジレバーをⒹのまま走行。

アクセルとブレーキの操作だけで、加速・減速ができます。

急加速

アクセルペダルをいっぱいに踏み込む。

キックダウンし、急加速できます。

上り坂をなめらかに走るには

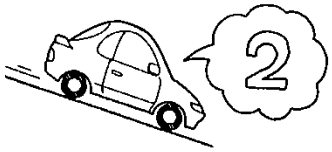
上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がることがあります。
このようなときは、**あらかじめ❷にしておく**と、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

下り坂走行

エンジンブレーキを併用

下り坂をⒹのまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くスピードが出すぎてしまうことがあります。
このようなときに、**フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなる**おそれがあります。
長い下り坂や急な下り坂では必ずエンジンブレーキを併用してください。

チェンジレバーを❷にいれて、エンジンブレーキを使います。



オーバードライブ付き車の場合

O/Dスイッチを**OFF**にすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。
高速道路の長い下り坂などで使うと有効です。

急な下り坂

より強いエンジンブレーキが必要な場合はⓁにいれる。

各シフト位置での速度範囲

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位：km/h)

シフト位置＼エンジン型式	3S-GE	3S-FE
L	65	60
2	120	110

走行中はⓃにしない

チェンジレバーをⓃにすると、**エンジンブレーキがまったく効かない**ため、思わぬ事故の原因になります。
またⓃで走行しても燃費はかわりません。

無断複製禁止

ブレーキペダルは右足で

確実なブレーキ操作をするために、右足でブレーキペダルを踏んでください。
慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるおそれがあります。

停車

1 Ⓓのままブレーキペダルをしっかり踏んでおく。

エアコンは**温度変化により断続的に作動**します。
作動中は自動的にアイドルアップし、クリープ現象が強くなりますので、車が動き出さないように、とくに注意してください。

2 必要に応じてパーキング(駐車)ブレーキをかける。

急な上り坂での停車はクリープ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、**車が後退することがあります。**
ブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキング(駐車)ブレーキをかけてください。

停車時間が長くなりそうなときはチェンジレバーをⓃにいれる。

停車中の空ふかしは禁物

万一、ⓅⓃ以外にはいっていると思わぬ急発進の原因になります。

停車後の再発進

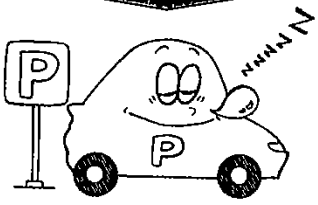
チェンジレバーが**Ⓓの位置にあることをしっかり確認**してから、発進してください。

駐車

1 車を完全に止める。

2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキング(駐車)ブレーキを確実にかける。

3 チェンジレバーをⓅにいれる。



Ⓟでは車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には、必ずチェンジレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

4 エンジンを切る。

車を離れるときは必ずエンジンを切ってください。
エンジンをかけたままにしておくと、万一、チェンジレバーがⓅ以外にはいっていた場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

無断複製禁止

●車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしましょう。

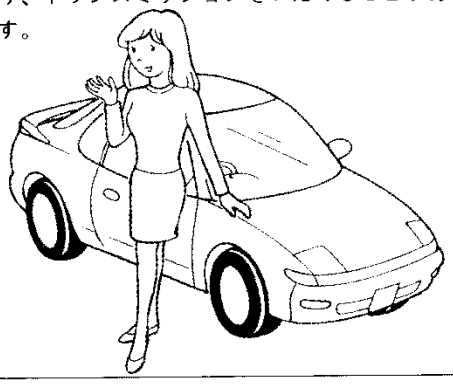
●後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキ操作が確実にできるよう注意してください。

●少し後退したあとなどは㊊にいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとはすぐ㊓にもどすよう習慣づけましょう。

●切り返しなどで㊐から㊊、㊊から㊐と何度もレバー操作をするときは、そのつどブレーキペダルをしっかり踏み、完全に車を止めてから行ってください。また、シフト位置も忘れずに確認してください。

●アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で㊐のままアクセルをふかしながら止まってはいけません。トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。

●車輪が完全に止まらないうちに、チェンジレバーを㊍にいれるのはやめてください。無理な力がかかり、トランスミッションをいためることがあります。



シフトロックシステムについて

この車にはシフトロックシステムがついています。よく理解して正しい操作にお役立てください。

ブレーキペダルを踏んだ状態でなければ㊍からレバー操作できません。

●エンジンスイッチが、ＡＣＣまたはＬＯＣＫのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。

●チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

㊍以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。

●エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーを㊍にいれてください。

（㊍以外ではキーをＡＣＣからＬＯＣＫに回せません。）

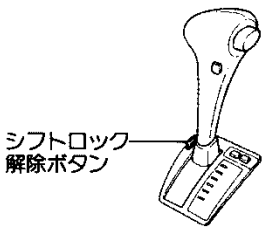
㊊にいれるとブザーが鳴ります。

●ブザーが鳴り、㊊にあることを運転者に知らせます。

●車外の人には音は聞こえませんのでご注意ください。

■シフトロック解除ボタン

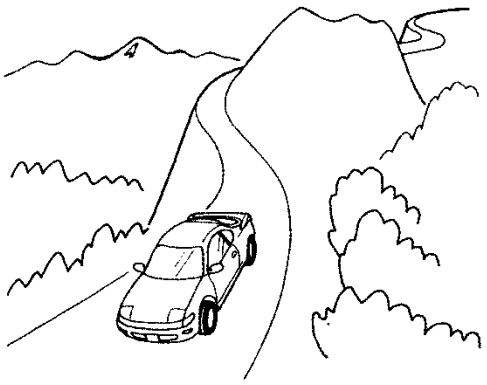
万一、ブレーキペダルを踏んでも㊍からレバー操作できないときは、
ブレーキペダルを踏んだ状態で、
シフトロック解除ボタンを押しながら、
レバー操作してください。



無断複製禁止

必ず知っておきたいドライブテクニック

●長い坂道を下るときは



フットブレーキと エンジンブレーキ※1を併用。

1.フットブレーキを踏み続けると「ベーパーロック」※2や「フェード現象」※3を起こし、ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。

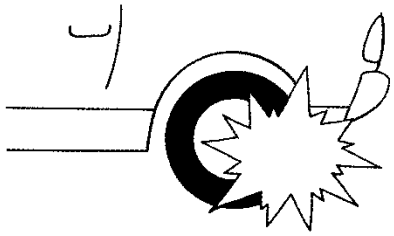
2.ぬれた路面または氷雪路での急激なエンジンブレーキの使用はさけてください。スリップの危険があります。

※1「エンジンブレーキ」とは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力。低速ギヤほどエンジンブレーキはよく効きます。

※2「ベーパーロック」とは、ブレーキの摩擦熱によりブレーキ液が加熱されて、沸騰し泡が発生し、ブレーキペダルを踏み込んでも、気泡を圧縮するだけで、ブレーキ力とはならない現象。

※3「フェード」とは、ブレーキの摩擦面が、加熱されると摩擦力が減るので、同じ力でブレーキペダルを踏んでもブレーキの効きが悪くなる現象。

●高速走行中に パンクやバースト(破裂)したときは



ハンドルをしっかりもって、 徐々にブレーキをかけてスピードを 落としてください。

急ブレーキをかけるとハンドルを強くとられ危険です。

●洗車後や水たまりを 走行したあとは



ブレーキペダルを軽く踏んで 効き具合を確認してください。

洗車後あるいは水たまり走行後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

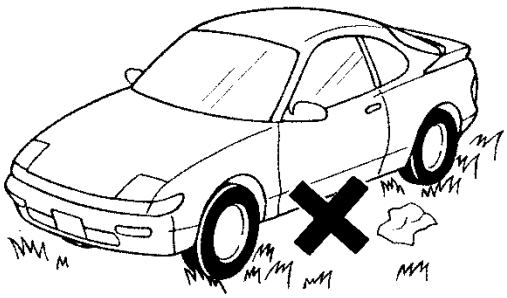
効きが悪い場合は、前後の車に十分注意して低速で走行しながら、効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏んで、ブレーキの湿りをかわかしてください。

無断複製禁止

駐停車時の Check Point

必ず確認「可燃物なし」

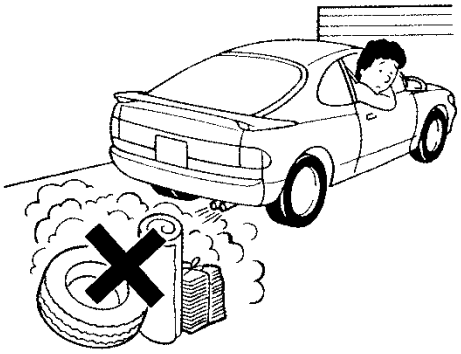
枯れ草、わら、紙、布、樹脂、油、古タイヤなど要注意。



ちょっと一言

1. 走行後の排気管は高い温度になりますので、燃えやすいものが近くにあると着火する危険があります。
2. エンジンを空ふかししたり、高回転を長く続けたりした場合には、排気ガスが燃えやすいものに当たり着火する危険があります。

車庫内停車は後方確認を第一に。



あらかじめ、燃えやすいものがないことを確かめてから停車してください。

ちょっと一言

1. 排気ガスは、場合によっては高い温度になるので、万一の場合わらなど燃えやすいものに着火するおそれがあります。
2. 木材、ベニヤ板などが車両後方にある場合は、車両後端を30cm以上離して止めてください。
   すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、万一の場合着火する危険があります。

仮眠するときは？

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にチェンジレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあり危険です。

必ずエンジンを始動させて！

坂道などで車をちょっと動かすときにも必ずエンジンを始動してください。

エンジン停止時は

- ブレーキペダルが重く、いつもよりブレーキの効きが悪くなります。
- パワーステアリング(ハンドル操作力軽減装置)が作用しないため、ハンドル操作が非常に重くなります。

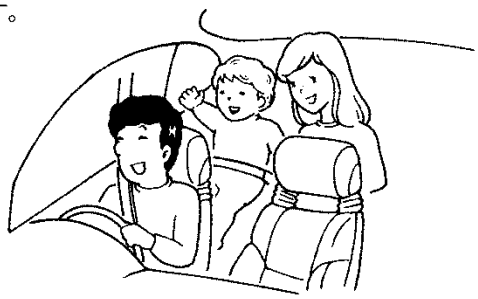
無断複製禁止

お子さまを乗せるときの Check Point

お子さま専用席は？

なるべく大人と一緒にリヤシート。

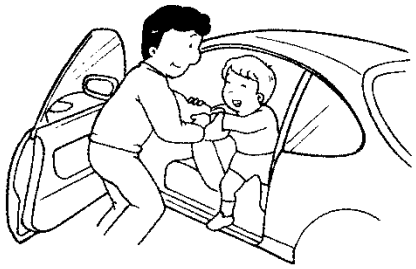
フロントシートだと万一のとき放り出される心配があります。



助手席ではお子さまの動作が気になり、安全運転のさまたげになります。
お子さまが、運転装置、装備などにさわると思いがけない事故が起きるおそれがあります。

車から離れるときは？

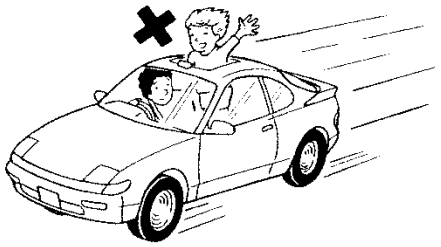
お子さまは必ず一緒に連れて出る。



お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの事故が起きるおそれがあります。また炎天下での車内はたいへん高温となり危険です。

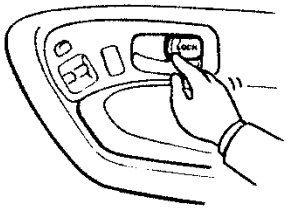
危険です。迷惑です。

窓やサンルーフから、手や顔などを出させない。



開閉、確認大人の仕事！

ドアは確実に閉じ、必ず施錠。



ドア、ウインドゥ、サンルーフの開閉は必ず大人がしましょう。



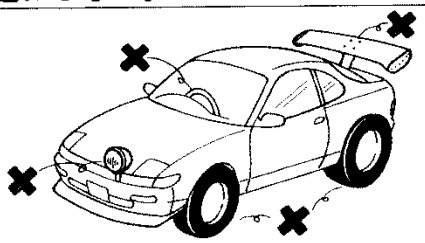
お子さまが手などをはさむ場合があり、危険です。
また、パワー(電動)ウインドゥのスイッチは必ず大人が操作してください。お子さまがウインドゥスイッチをいたずらして、手や首をはさむと危険です。お子さまを乗せるときは必ずウインドゥロックスイッチ(27ページ参照)をご使用ください。

無断複製禁止

お車をダメにしないための Check Point

触れないで！

走行装置など重要個所の改造はしない。



1.車の性能や機能に適しない部品を装着すると、思いがけない事故が発生する場合があります。

2.**エアバッグ付き車**は、正しく取り扱わないと不意の作動による事故やケガを起こすおそれがありますので、下記の項目を厳守してください。

●ハンドルの取りはずしや他の車両への取りつけは絶対にしない。



ちょっと一言

トヨタが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると違反になることがあります。アクセサリーを取りつけるときは、トヨタ販売店にご相談ください。

ウインドウガラスなどにはアクセサリーを取りつけないで。

安全運転のさまたげになるとともに、アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災など思わぬ事故の原因となります。

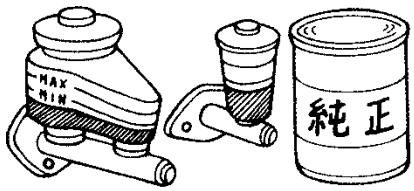
自己流のエンジン調整、電装品の取りつけ、部品の取りはずしは行わない。

エンジン調整、電装品の取りつけなどはトヨタ販売店におまかせください。

電装品の間違った取りつけは、故障や火災など思わぬ事故の原因になります。

愛車はいつも健康ですか？

こんなときはトヨタ販売店で点検を受けてください。



1.いつもと違うおかしな音や臭いがするとき。

2.ブレーキ液、クラッチ液が不足しているとき。

3.駐車してあった地面に油が漏れたあとが残っているとき。

タイヤ、ディスクホイールを交換するときは。

1.トヨタ販売店で相談してください。

2.異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは車の安全走行に悪影響をおよぼしますので絶対にさけてください。

無線装置を取りつけるときは。

1.トヨタ販売店で相談してください。

2.取りつけ方法が適切でない場合、電子制御部品に悪影響をおよぼすことがあります。

続けないで！

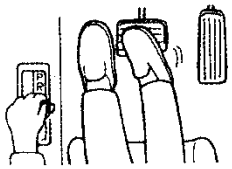
パワーステアリング（ハンドル操作力軽減装置）はハンドルをいっぱいに回した状態を長く続けないでください。

オイルの潤滑不良を起こし、パワーステアリングポンプを損傷するおそれがあります。

無断複製禁止

おっと危ない気をつけて！

●発進時オートマチック車のシフトチェンジは必ずブレーキを踏んだまま!!

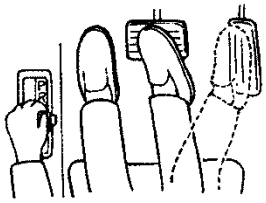



ちょっと一言

エンジン回転が高いとき（始動直後、エアコン作動時）は、ブレーキペダルを十分に踏んでいないと車が動き出すことがあります。

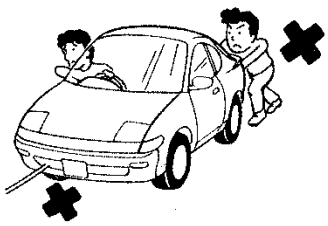
シフト位置を確かめ、まわりの安全を確認してから発進します。

●ブレーキ操作は必ず右足で行ってください。



右足をアクセルペダルにのせたまま、左足でブレーキ操作をすると、ブレーキの効きが悪くなったり、ブレーキの摩耗を早めるおそれがあります。

●バッテリーあがりのとき



車を押したり、けん引したりしてエンジン始動をしないでください。

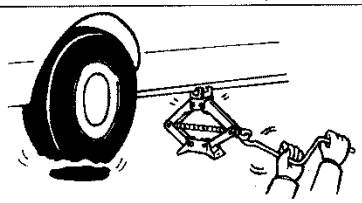
触媒装置の温度が異常に高くなり焼損するおそれがあります。⇨111ページの「バッテリーあがりの処置」を参照してください。

●凍結、積雪路等ではオートドライブを使用しないでください。

また下記のような道路状況でもオートドライブを使用しないでください。

- ●交通量の多い道路
- ●急な下り坂、急なカーブ
- ●その他のすべりやすい路面

●ジャッキを使用するときは正しい位置にセットしてください。



またパーキング（駐車）ブレーキ、輪止め（搭載工具に含まれています）を忘れないようにしてください。⇨104ページの「ジャッキ」を参照してください。

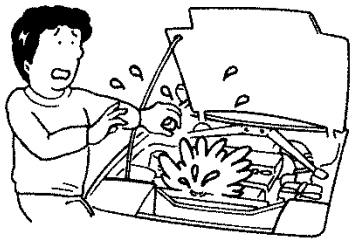
●灰皿を使用したあとは必ず閉めてください。

開けたままにしておくと、タバコの火が他の吸いがらに燃えひろがり、火災になるおそれがあります。


ちょっと一言

1. マッチ、タバコの火は消してから灰皿の中へいれてください。
2. 灰皿には吸いがらをためすぎないでください。
3. 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものをいれないでください。

●ラジエーターキャップが熱いときはずさないでください。



蒸気や熱湯が吹き出し、危険です。

無断複製禁止

ターボ車の取り扱いCheck Point

ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

定期的なオイル交換はターボ車の絶対条件！

●エンジンオイルは必ず5,000kmごとに交換(ただし6カ月をこえないこと)してください。



●オイルフィルターは必ず10,000kmごとに交換してください。

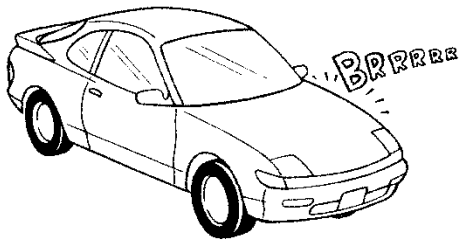

ちょっと一言

ターボ装置は、エンジンに大量の空気を過給してエンジンから、より大きな馬力を引き出すもので、非常に精密に作られています。毎分10万回転におよぶ高回転、700℃以上の高温下で使われ、その潤滑と冷却はエンジンオイルによってなされています。したがって、定められたエンジンオイル、オイルフィルター交換をお守りいただかないと、劣化したエンジンオイルにより、ターボ軸受部の固着、異音の発生など故障の原因となります。

●エンジンオイルはAPI基準SG, SF, SE相当で粘度分類10W-30以上のオイルを使用してください。

トヨタ純正キヤッスル・クリーンターボ(SF)をおすすめします。
詳しくは**「整備手帳」**をご覧ください。

高速走行・登坂走行直後エンジンを止めないで！

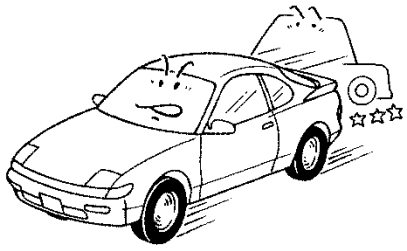


高速走行、登坂走行直後にエンジンを停止するときは、下表にしたがって必ずアイドル運転を行い、ターボ装置を冷却してください。

エンジン停止前のアイドル運転時間

運転状況		アイドル運転時間
市街地、郊外などの一般走行		必要なし
高速走行	約80km/h定速	約20秒
	約100km/h定速	約1分
山岳ドライブウェイなどの急な登坂路走行およびレース場など100km/h以上の連続走行		約2分

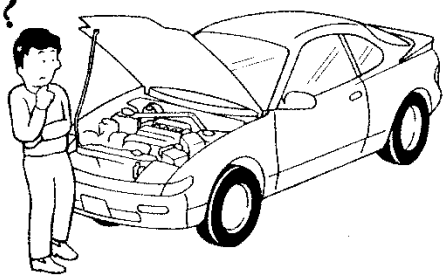
エンジンが冷えているときの空ふかし・急加速は絶対ダメ！



●マフラー、プラグなどには指定以外の部品を使わないでください。

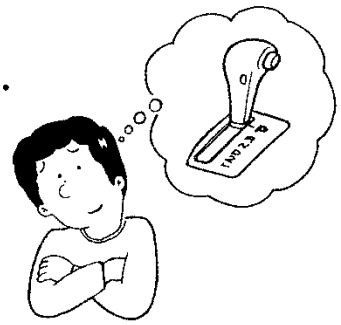
無断複製禁止

こんなときは……？



●朝エンジンがかからないときは…… 111
●走行中エンジンが止まったときは…… 109
●バッテリーがあがったときは…… 111
●オーバーヒートしたときは…… 111
●警告灯が点灯したときは……57
●ランプ類が点灯しないときは(ヒューズ切れ、電球切れ)……113，115
●踏切で故障したときは…… 109
●高速道路で故障したときは…… 109
●一般道路で故障したときは…… 109
●発炎筒を使うときは…… 110
●床下に強い衝撃を受けたときは…… 109
●パンクしたときは…… 105
●けん引するとき、してもらうときは…… 112
●タイヤチェーンをつけるときは…… 123
●事故・故障のときの修理連絡先は……「整備手帳」参照

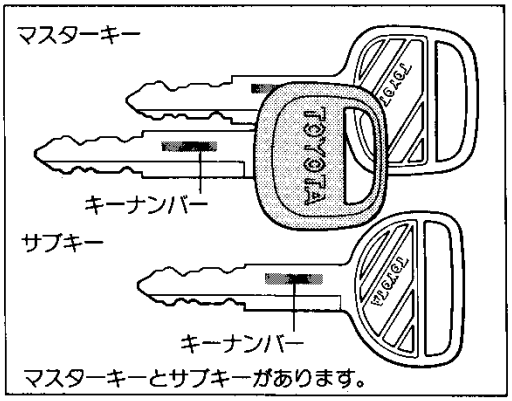
こんな装備のお車に乗られているかたは……



●オートマチックトランスミッション車に乗られているかたは……44
●オートドライブ装着車に乗られているかたは……90
●サンルーフ装着車に乗られているかたは……93
●電子制御サスペンション(TEMS)装着車に乗られているかたは ……96
●ABS装着車に乗られているかたは ……97
●4輪操舵システム(4WS)装着車に乗られているかたは ……98
●SRSエアバッグ(乗員保護補助装置)装着車に乗られているかたは …… 100

無断複製禁止

キー……24
ドア……24
電気式ドアロック……25
ワイヤレスドアロックリモコン……26
パワー(電動)ウインドウ……27
ボンネット……28
フューエルリッド(燃料補給口)……29
バックドア……29



キー

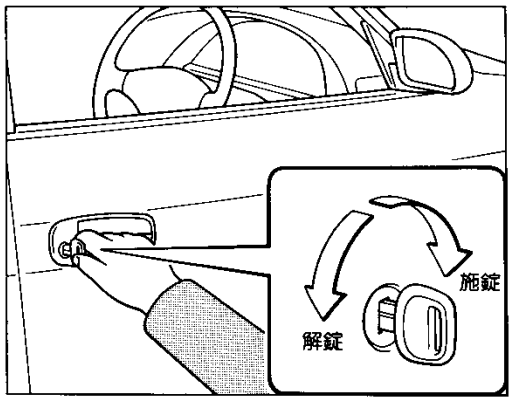
■マスターキー



ちょっと一言　キーナンバーをひかえておいてください。万一、キーを紛失した場合には、ナンバーをトヨタ販売店へご連絡いただければ、専用カッターにより純正のキーを作ることができます。

■サブキー

サブキーでは、バックドアおよびグローブボックス(小物入れ)を施錠・解錠することはできません。



ドア

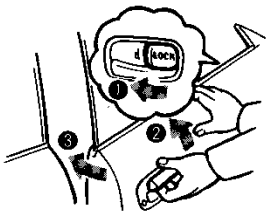
■車外からの施錠と解錠

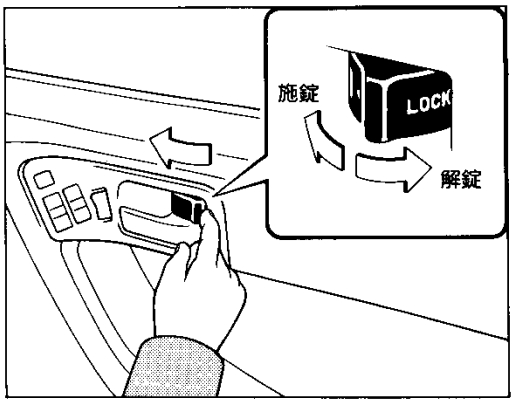
▶キーを使った施錠と解錠

キーを前に回すと施錠、うしろに回すと解錠されます。

▶キーを使わずに施錠するには

❶ロックボタンを前側へ押し
❷ドアハンドルを引き上げたまま
❸ドアを閉めます。





■車内からの施錠と解錠

▶施錠するには

ロックボタンを前側へ押すと施錠できます。

▶解錠するには

❶ロックボタンをうしろ側へ押し
❷ドアレバーを引くとドアが開きます。

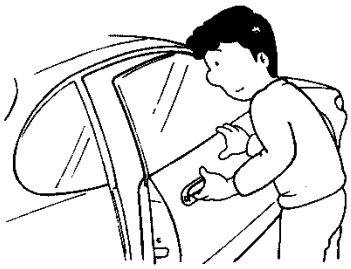
※ただし電気式ドアロック付き車の運転席ドアは、ロックボタンが前側へ押し込まれていてもドアレバーを引くとドアが開きます。



無断複製禁止

注意！

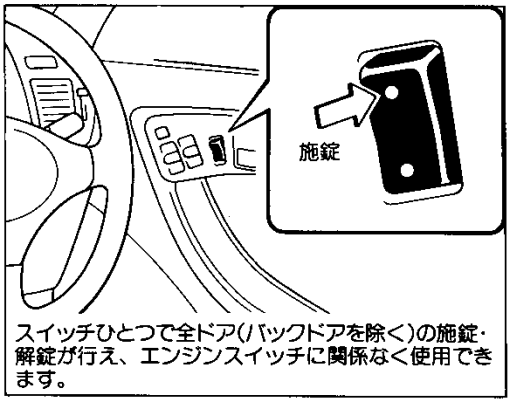
1. 車から離れるときは、エンジンを止め、ドアを必ず施錠してください。法的にも義務づけられています。
2. ドアを閉めたときは、確実に閉まっていることを確認してください。半ドアは危険です。
3. キーなしでドアをロックするときは、キーを持っていることを確認してから行ってください。
4. 車から離れるときは、車内に貴重品を置いたままにしないでください。



電気式ドアロック

GT-FOUR(ラリーパックを除く)、GT-R、Z-Rに標準装備

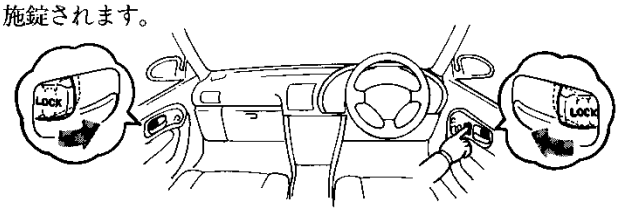
S-Rに注文装備



スイッチひとつで全ドア(バックドアを除く)の施錠・解錠が行え、エンジンスイッチに関係なく使用できます。

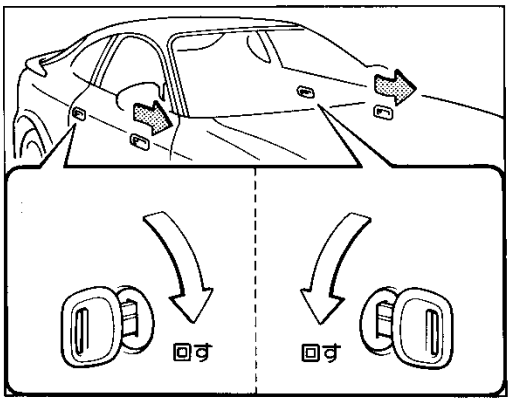
■施錠

スイッチの上側を押すとすべてのドア（バックドアを除く）が施錠されます。



ちょっと一言

スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し、押しなおしてください。



▶運転席および助手席ドアをキーで施錠すると

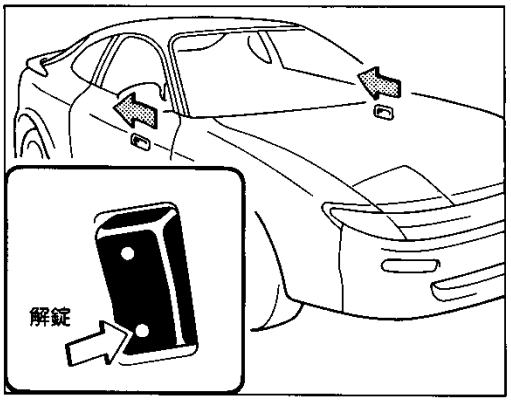
すべてのドア（バックドアを除く）が同時に施錠されます。

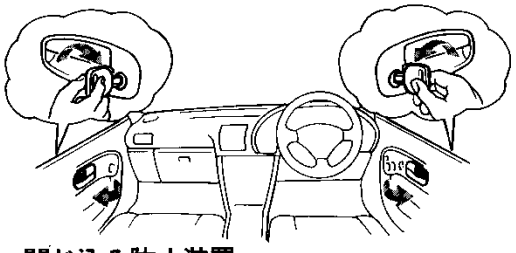
■解錠

スイッチの下側を押すとすべてのドア（バックドアを除く）が解錠されます。

▶運転席および助手席ドアをキーで解錠すると

すべてのドア（バックドアを除く）が同時に解錠できます。

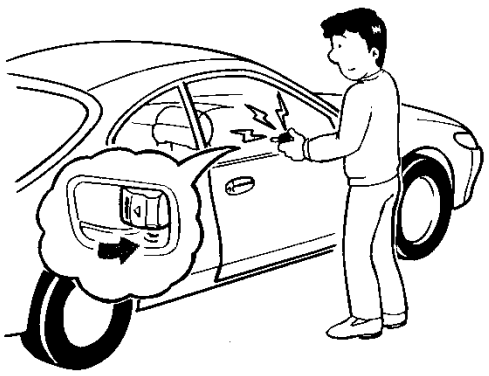




■キー閉じ込み防止装置

エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、運転席ドアを開けて、スイッチまたはロックレバーで施錠しても自動的に解錠になります。

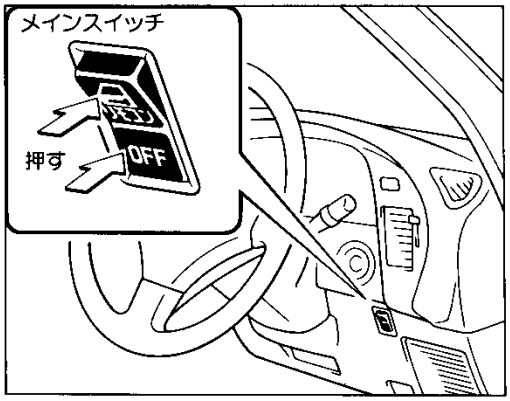
無断複製禁止



ワイヤレスドアロックリモコン

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-Rに注文装備

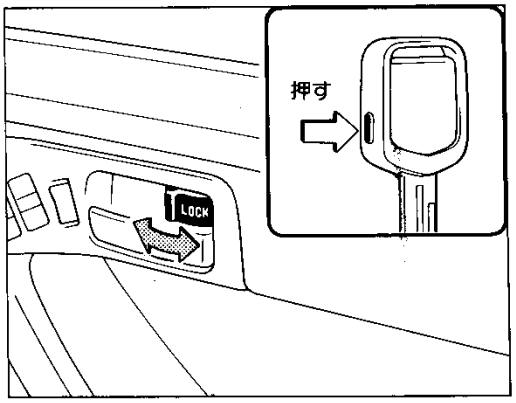
マスターキーに内蔵されたリモコンスイッチで全ドアの施錠・解錠が行えます。



■メインスイッチ

1.スイッチのリモコン側を押すと、リモコンスイッチの操作で全ドアの施錠・解錠が行えます。
2.OFF側を押すとリモコンスイッチを操作しても作動しません。

注意!
次のような場合は、メインスイッチを必ずOFFにしておいてください。
- 長期間車両を使用しないとき。
- リモコンスイッチを紛失したとき。



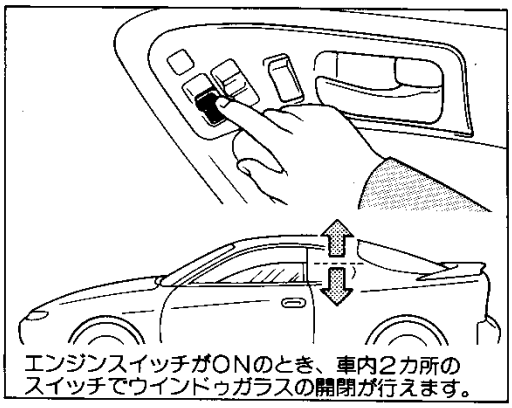
■リモコンスイッチ

1.メインスイッチがONで全ドアが確実に閉じているときに使用できます。
2.スイッチを押すとドア施錠時には解錠、解錠時には施錠状態になります。

ちょっと一言
1.ワイヤレスドアロックリモコンの作動範囲は運転席ドアハンドルを中心に半径約1mですが、微弱電波を使用しているため周囲の状況により多少かわります。
2.リモコンスイッチを押して全ドアを解錠後、約30秒以内にドアを開けないと、ドアは自動的に施錠されます。
3.エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、リモコンスイッチを押してもドアの施錠・解錠はできません。
4.リモコンスイッチを押し続けてもドアは施錠・解錠を繰り返しません。スイッチを押しなおしてください。
5.運転席のドアが解錠されているときにリモコンスイッチを押すと施錠状態になります。解錠するときはもう一度スイッチを押してください。
6.リモコンスイッチを押しても作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

注意!
リモコンスイッチ内部は精密にできていますので、分解したり強い衝撃などをあたえないように注意してください。

無断複製禁止


エンジンスイッチがONのとき、車内2カ所のスイッチでウインドウガラスの開閉が行えます。

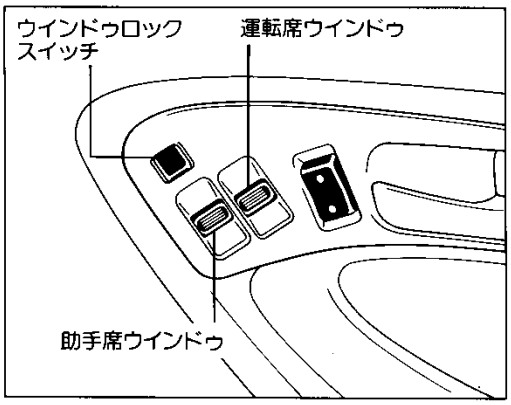
パワー(電動)ウインドウ

GT-FOUR(ラリーパックを除く)、GT-R、Z-Rに標準装備

S-Rに注文装備


ちょっと一言

ウィンドウガラスの開閉は、バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっているときに行ってください。

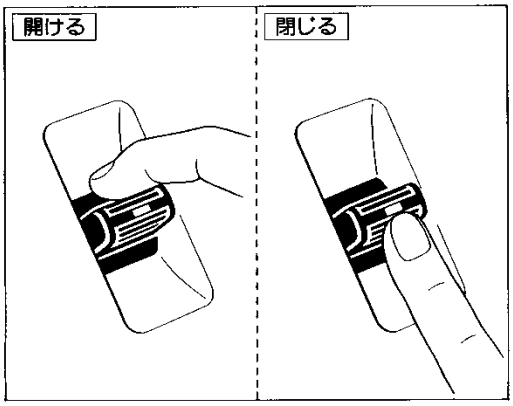


■運転席スイッチ

運転席スイッチですべてのドアのウインドウガラスの開閉が行えます。

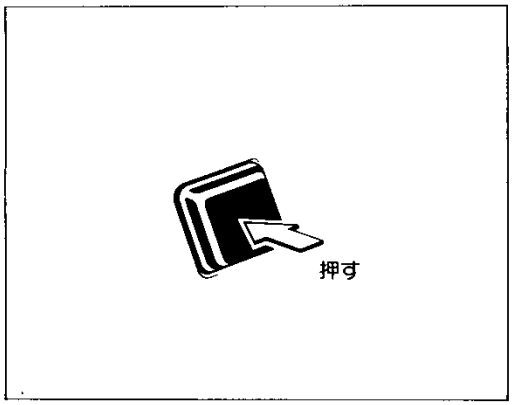

注意!

1.ウインドウガラスを閉じるときに、他の人の手や首などをはさまないように注意してください。
2.運転席スイッチと他のスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。



▶運転席ウインドウガラスの開閉

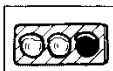
- 自動で全開するときは、スイッチを下側に強く押して手を離します。途中で止めたいときは、スイッチを軽く上側に押します。
- 自動で全閉するときは、スイッチを上側に強く押して手を離します。途中で止めたいときは、スイッチを軽く下側に押します。
- スイッチを上側に軽く押している間は閉じ、下側に軽く押している間は開きます。スイッチから手を離すとその位置で停止します。



▶ウインドウロックスイッチ

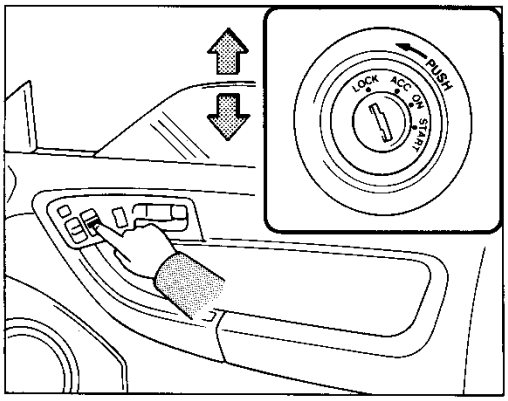
1.ウインドウロックスイッチを押すと、運転席のウインドウガラス以外は開閉できません。
2.もう一度押すと解除されます。




注意!

お子さまがウインドウスイッチをいたずらしてウインドウガラスで手や首をはさむと危険です。お子さまを乗せているときなどは、必ずウインドウロックスイッチをLOCKにしてご使用ください。

無断複製禁止



▶キーOFF後作動可能ウインドウ

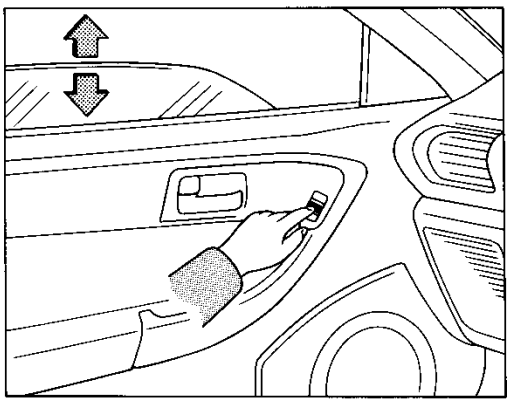
降車時、ウインドウガラスを閉め忘れたときに、もう一度エンジンスイッチをONにしなくても操作できます。

1．運転席ドアを開けます。

2．スイッチを操作するとウインドウガラスの開閉ができます。



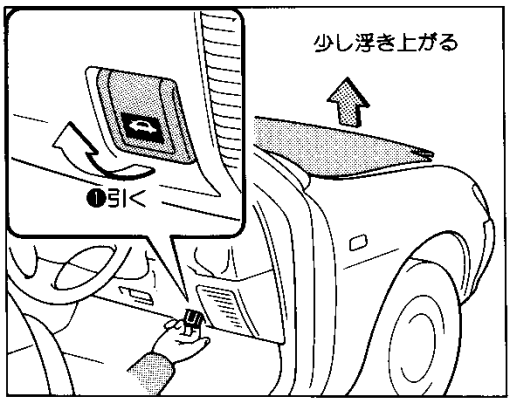
運転席ドアを一度閉じると、スイッチ操作をしても、ウインドウガラスの開閉はできません。



■助手席スイッチ

スイッチから手を離すと、ウインドウガラスの動きは、その位置で停止します。

ただし、ウインドウロックスイッチがLOCKになっているときは、スイッチを押しても作動しません。

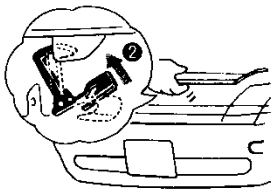


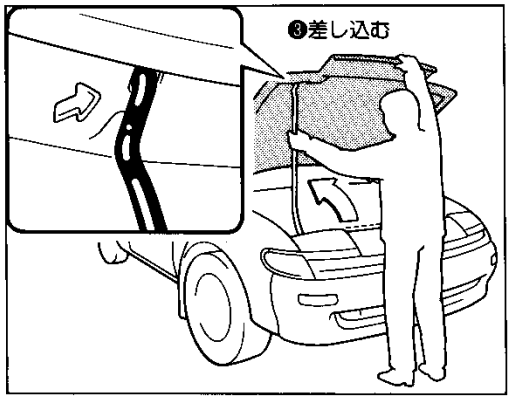
ボンネット

■開け方

❶計器盤右下にあるレバー(ボンネットオープナー)を引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

❷ボンネットのすき間に手をいれ、ボンネットロックをはずして持ち上げます。



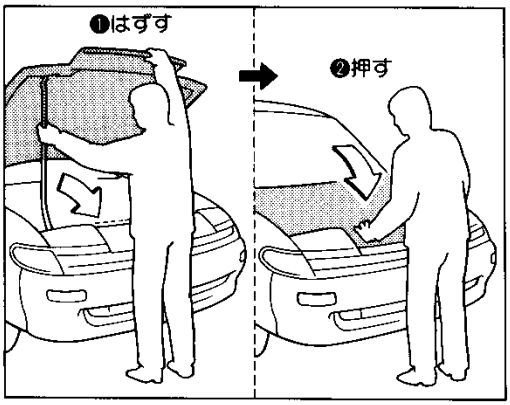


❸ボンネットをいっぱい開け、ボンネットステーをステー穴に差し込んでボンネットを固定します。



風の強いときにボンネットを開けると、風にあおられ危険な場合があります。
十分注意して開けてください。

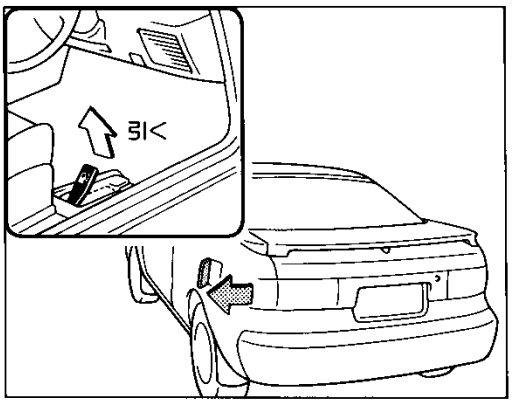
無断複製禁止



■閉じ方

❶ボンネットを手でささえ、ボンネットステーをはずします。
❷ボンネットを閉じ、前端をガチッという音がするまで押さえつけるとロックされます。
❸ボンネット先端を持ち上げてガタついていないことを確認します。

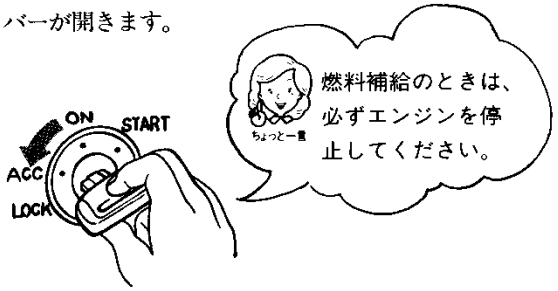
注意！ ボンネットが確実にロックされていないままで走行すると非常に危険です。走行前に必ずロックされていることを確認してください。

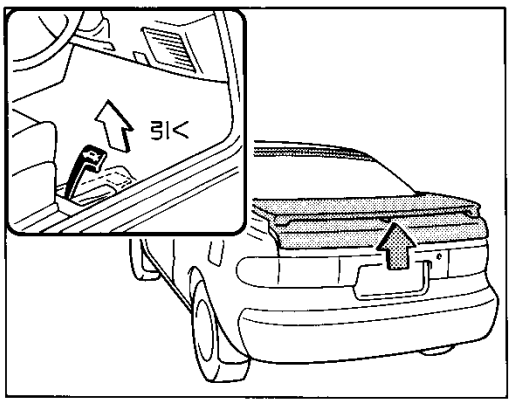


フューエルリッド（燃料補給口）

■カバーの開け方

運転席右下のレバー（フューエルリッドオープナー）を引き上げるとカバーが開きます。





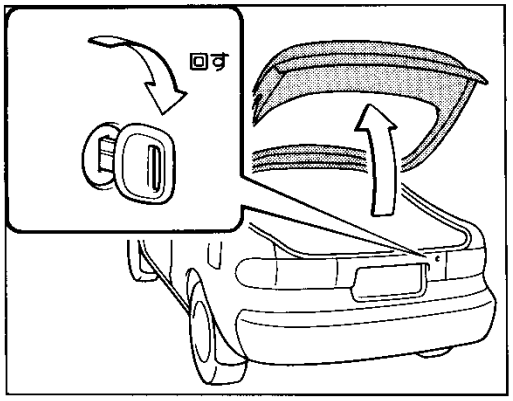
バックドア

注意！ 車から離れるときは、デッキルーム内に貴重品をいれたままにしないでください。

■開け方

▶車内から

運転席右下のレバー（バックドアオープナー）を引き上げると開きます。



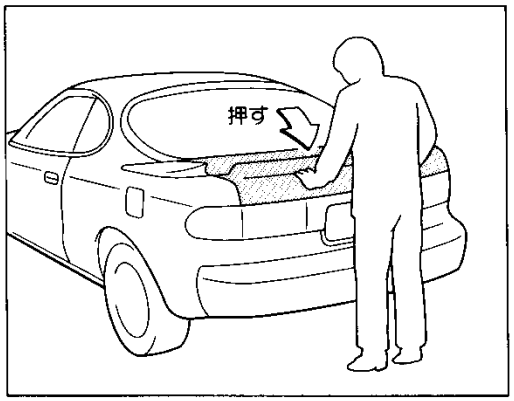
▶車外から

1.キーを差し込み右に回すと開きます。
2.サブキーで開けることはできません。



いっぱい持ち上げて、降下しないことを確認してください。

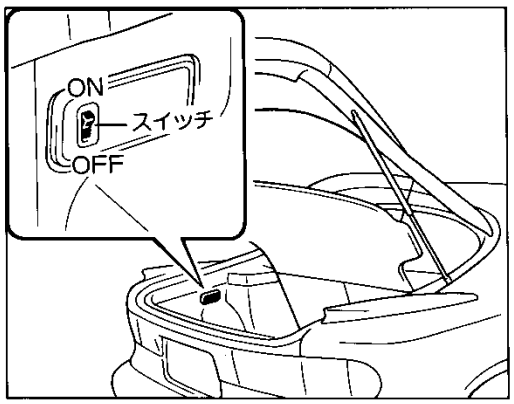
無断複製禁止



■閉じ方

バックドアをおろして押さえます。

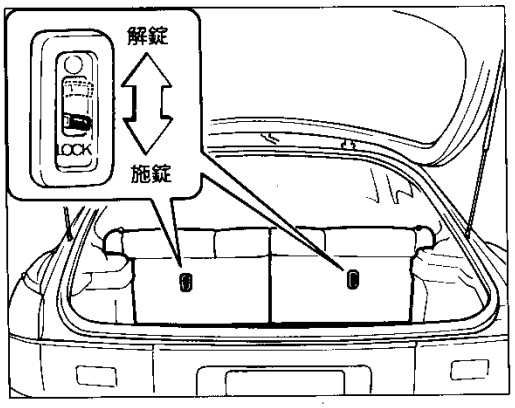
ちょっと一言
1.閉じるときに、他の人の手などをはさまないように注意してください。
2.デッキルーム内にキーを忘れないように注意してください。



■デッキルーム灯

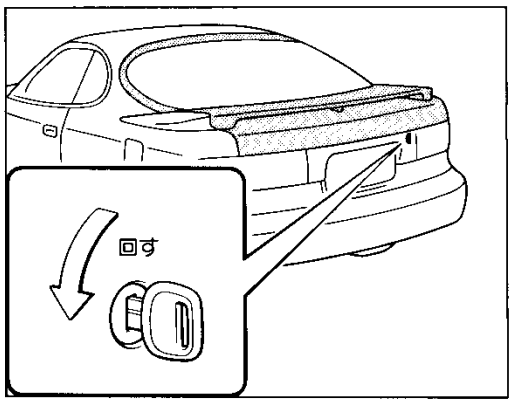
スイッチをONにしておけば、バックドアを開けると点灯し、閉じると消灯します。

ちょっと一言
エンジン停止時、デッキルーム灯を長時間点灯したままにしておくとバッテリーあがりを起こすおそれがあります。



■駐車場などでキーを預けるときは

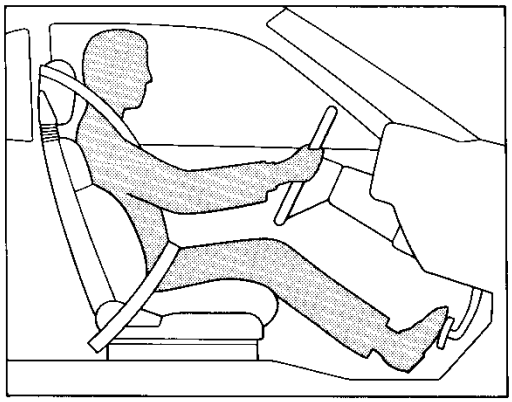
1.リヤシート裏側にあるレバーを施錠側にすると、車内からリヤシートを倒すことができません。



2.バックドアを閉じ、マスターキーを差し込み左に回して、キーを抜くとバックドアオープナーで開けることができません。
3.キーを預けるときは、サブキーを渡してください。

無断複製禁止

フロントシート……31
リヤシート……34
シートベルトの装着……35
電動チルトアウェイステアリング……38
チルトステアリング(上下調整式ハンドル)……39
インナーミラー(防眩ミラー)……39
電動リモコンミラー……40



フロントシート

■シートの調整

正しい姿勢で運転するため、次の事項に注意して調整します。

- ペダルが十分踏み込めること
- ハンドル操作が楽にできること
- 背もたれから背を離さないこと
- シートベルトが正しく装着できること

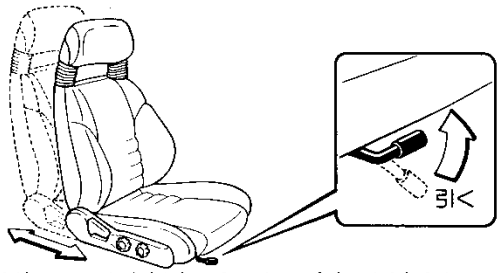
⇨35ページの「**シートベルトの装着**」を参照してください。

注意！

1. 調整は、必ず走行前に行ってください。
2. 調整後、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。

無断複製禁止

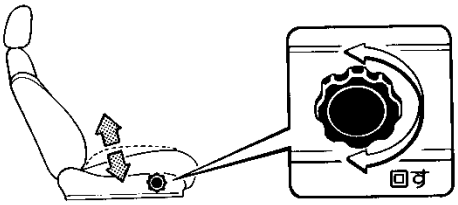
▶前後位置調整



調整後、シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

▶シート上下アジャスター〈運転席のみ〉

（シートクッション後部の高さ調整）



ハンドルを前に回すとシートクッション後部が上がり、うしろに回すと下がります。

▶ワンタッチメモリー付きシートリクライニング調整

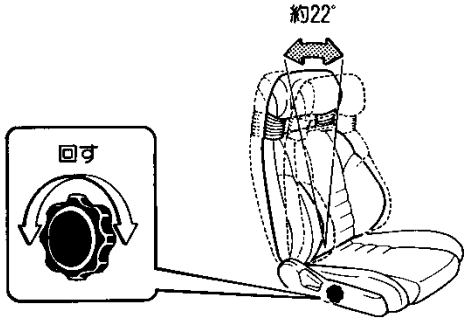
角度の調整は角度調整ハンドルと角度切り替えレバーで行えます。



●角度調整ハンドル……通常の姿勢はこのハンドルを回すことで調整できます。

●角度切り替えレバー……背もたれを前に倒したいときや、角度調整ハンドルで調整できる角度よりもうしろに倒したいときに使います。

1.角度調整ハンドルを前に回すと前側に、うしろに回すとうしろ側に背もたれ角度を調整できます。



※角度調整ハンドルで調整できるのは約22°です。

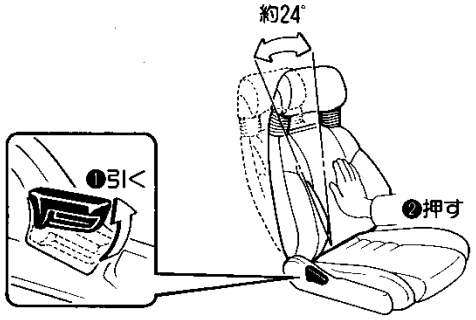
2.角度切り替えレバーを引けば前に倒すことができます。

3.背もたれをうしろに倒すときは

❶角度切り替えレバーを引いて

❷背もたれを押します。

背もたれを倒したあと、1.と同様に角度を調整できます。

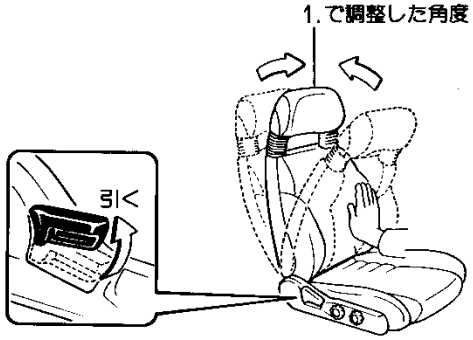


※うしろに倒すことができるのは、1.で調整された角度から約24°です。

〈記憶装置〉

1.で調整された角度が記憶できます。

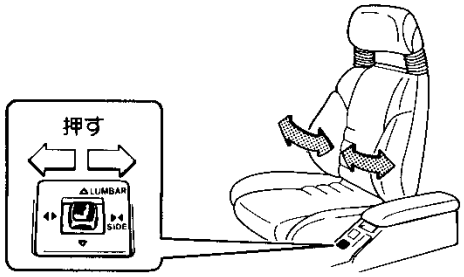
背もたれを倒してから、もう一度起こすと1.で調整した角度で背もたれを固定できます。



無断複製禁止

▶パワー(電動)サイドサポート 〈運転席のみ〉
(背もたれ両側のクッション位置調整)

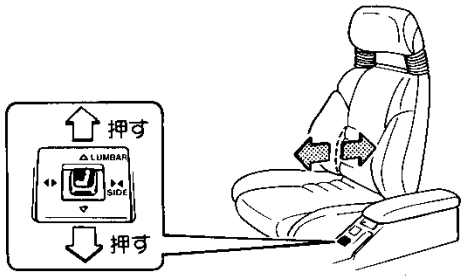
GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R



1.エンジンスイッチがＡＣＣまたはＯＮのときに使用できます。
2.スイッチを右に押している間クッションが内側に、左に押している間外側に移動します。スイッチから手を離せばその位置で固定されます。

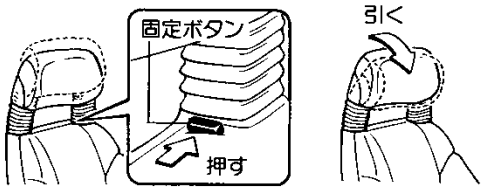
▶パワー(電動)ランバーサポート 〈運転席のみ〉
(背もたれ腰部硬さ調整)

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R



1.エンジンスイッチがＡＣＣまたはＯＮのときに使用できます。
2.スイッチを前側に押している間、背もたれの腰部の硬さがかわります。スイッチから手を離せばその位置で固定されます。
3.腰部の当たりが強すぎる場合は、スイッチをうしろ側に押します。(スイッチを押している間硬さがかわります。)

▶ヘッドレスト

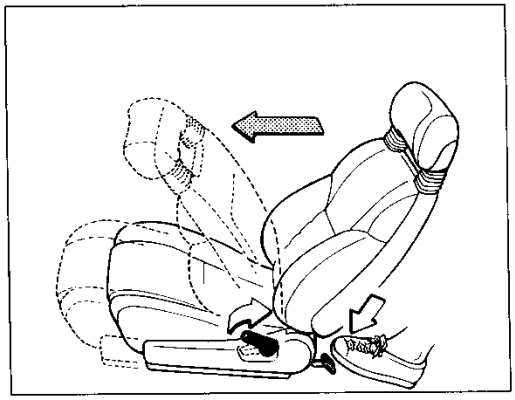


〈上下調整〉
固定ボタンを押しながら上下に動かします。ヘッドレストの高さが耳の後方になるように調節してください。

〈前後調整〉
前後位置を４段階に調節できます。
ヘッドレスト上部を前方に動かすとカチッという音がし、手を離せばその位置で固定されます。
後方にもどすときは、一度前方に止まるまで引いて手を離します。

注意！
1.正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
2.背もたれと背中の間にクッションなどをいれると危険防止に役立ちません。

無断複製禁止



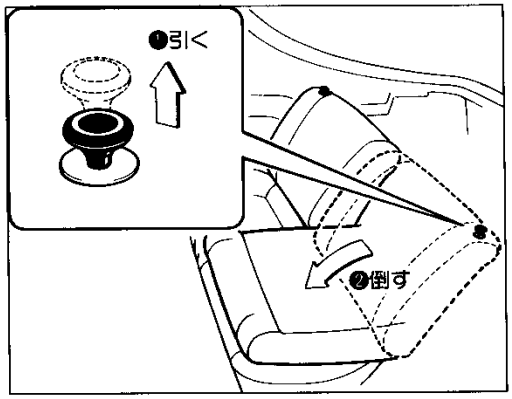
リヤシートへの乗り降り

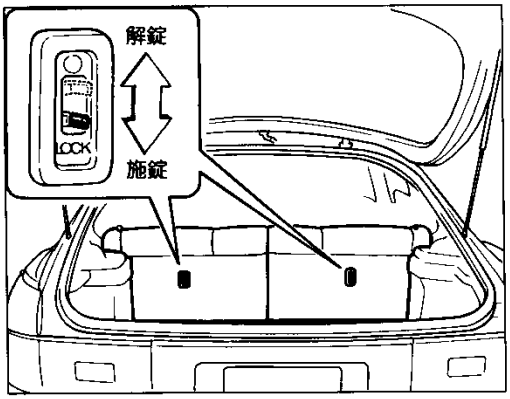
1.助手席のリクライニングレバーを引き上げるか、またはうしろ下側のレバーを押すと背もたれが倒れ、シートが自動的に前へ移動します。
2.助手席をもどすときは、背もたれを起こしてシート全体を後方へ押すと、中央付近の位置で固定されます。
3.シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。


ちょっと一言

フロントシートベルトについているベルトサービスアームが車両前方に固定されているときは、車両後方に止まるまで押し下げてください。







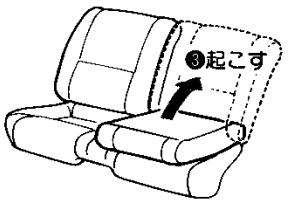
リヤシート

■ロック機構付き分割可倒式シート

背もたれを前方に倒せば、長い物（ギターなど）も積むことができます。

〈倒し方〉

❶固定用ボタンを引き上げて
❷背もたれを倒します。
❸もどすときは、背もたれを持ち上げてうしろに押しつけると自動的に固定されます。
❹背もたれを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認します。



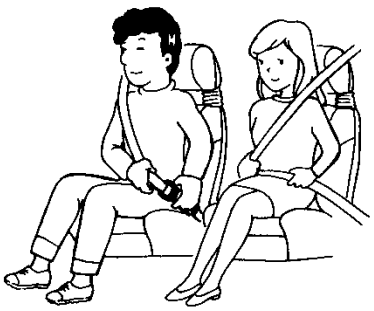

ちょっと一言

シートを倒すときは、ロックレバーが解除になっていることを確認してください。次の〈ロックのしかた〉を参照してください。

〈ロックのしかた〉

ロックレバーを施錠側にすれば、車内からリヤシートを倒すことはできません。

無断複製禁止

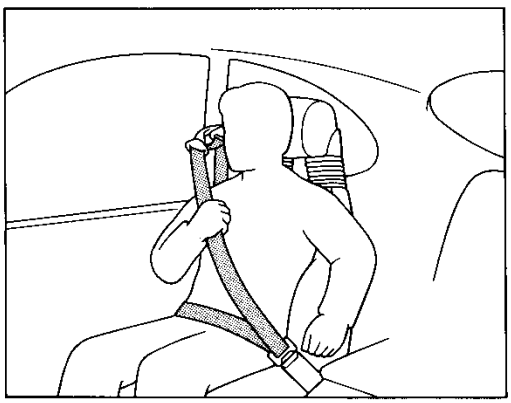


シートベルトの装着

シートベルトは正しく装着しないと効果が半減したり危険な場合があります。次の使用方法、注意にしたがってシートベルトの正しい取り扱いを身につけてください。



1. 走行前に必ずシートベルトを装着してください。
2. シートベルトは上体を起こし、シートに深く腰かけた状態で使用されたときに、最大の効果を発揮できます。
3. 腰部ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと装着してください。やわらかい腹部にかけると万一のとき強い圧迫を受け危険な場合があります。⇨次の「**装着のしかた**」を参照してください。



■フロントシートベルト

▶ELR付き（緊急時固定式）3点式シートベルト

身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃で身体が前に倒れそうなときには、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

また、シートベルト装着時に、ベルトによる肩への圧迫感が少なくなるベルト圧迫感減少装置がついています。

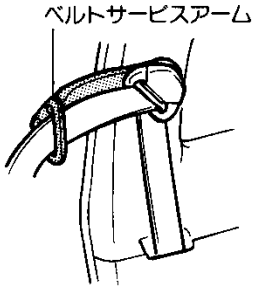
無断複製禁止

シートベルトの装着

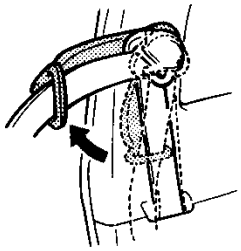
〈装着のしかた〉

シートを調整し、上体を起こし、深く腰かけてすわります。

1.ベルトサービスアームが確実に固定されていることを確認します。



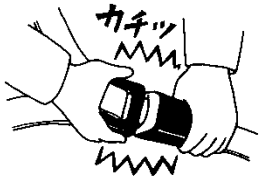
2.固定されていないときは、ベルトサービスアームを車両前方に持ち上げます。



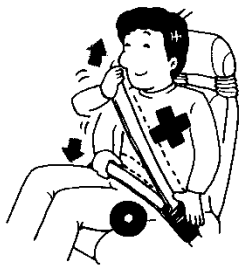
3.プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。



4.プレートをカチッと音がするまで確実にバックルに差し込みます。

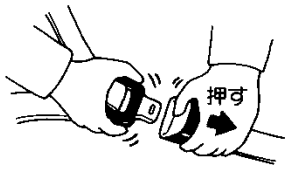


5.腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。



〈取りはずし方〉

1.バックルのボタンを押すとはずれます。



2.ベルトは自動巻き取り式ですので、ベルトをはずすと自動的に格納されます。

3.ベルトが自動的に格納されないときは、いったんベルトを引き出し、ねじれなどがないことを確かめます。ベルトを手に持ちながら、ゆっくりと巻き取らせてください。

無断複製禁止

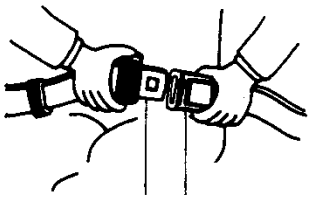
■リヤシートベルト

▶長さ調整式2点式シートベルト

〈装着のしかた〉

上体を起こし、深く腰かけてすわります。

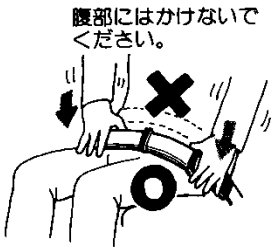
1.ベルトがねじれていないことを確かめてから、プレートをバックルに差し込みます。



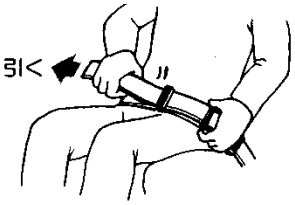
2.ベルトが短いときは、プレート側のベルトを下図の要領で伸ばしてください。



3.ベルトが必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにします。

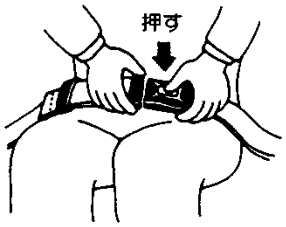


4.下図のようにプレート側のベルトを引いてベルトのゆるみをなくし腰部に密着させます。



〈取りはずし方〉

1.バックルのボタンを押すとはずれます。



2.はずしたベルトは、プレートをバックルにはめておいてください。

注意！

1.シートベルトは上体を起こし、シートに深く腰かけ腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置で、ぴったりと装着してください。また、シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。そうしないと万一の場合、身体が前方にすべり腹部にベルトがかかり強い圧迫を受け危険な場合があります。

2.フロントシートベルトを装着した状態で、肩ベルトが首、あご、顔などに当たるようなお子さまの場合は、万一のとき危険ですからリヤシートにすわり、リヤシートベルト（2点式）を装着してください。なお、トヨタ販売店では乳幼児（6カ月～4才ぐらい）のためにチャイルドシートを、子供（4才～10才ぐらい）のためにジュニアシートを扱っておりますので、ご使用をおすすめします。

3.ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。



4.妊娠中の女性や疾患のあるかたのシートベルト装着は、万一の場合腹部などに強い圧力を受けるおそれがありますので医師に相談のうえご使用ください。

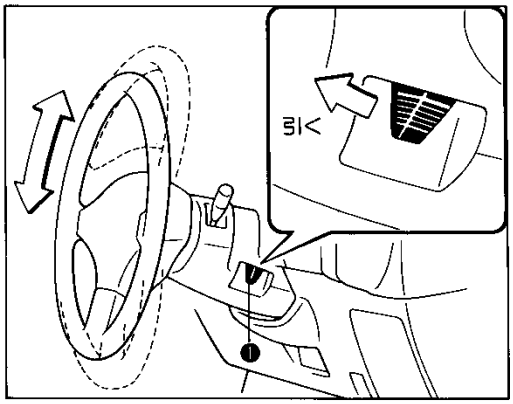
5.ベルトのよごれは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使いブラシをかけて落としてください。薬剤などを使用するとベルトが弱くなり、万一のとき正常な働きをしないことがあります。

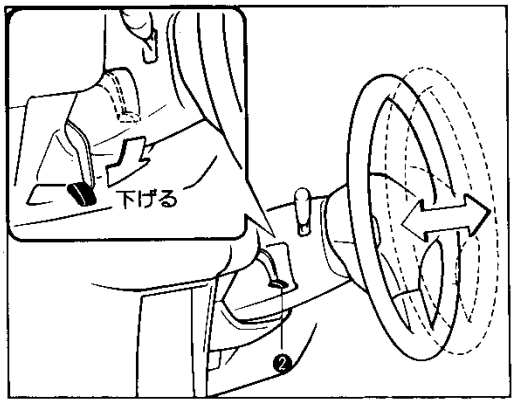
6.ベルトをドアなどではさまないようにしてください。万一のとき正常な働きをしないことがあります。

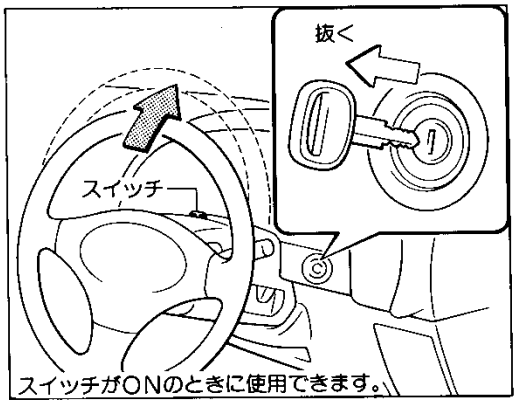
7.ベルト各部の損傷、作動状態を点検してください。
ほつれ、すり切れができたり、金具部などが正常に作動しなくなった場合は、ベルトを交換してください。

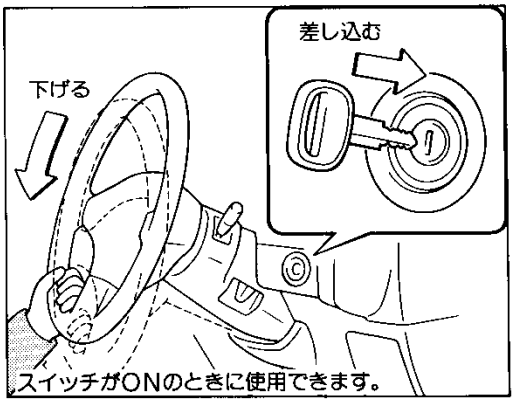


無断複製禁止









電動チルトアウェイステアリング

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R

注意！ ハンドルの位置調整は、走行前に行ってください。車が動いているときの調整は危険です。

■上下調整のしかた

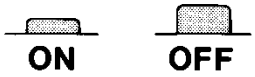
1.❶のレバーを引いている間、ハンドル位置を上下にかえられます。
2.適切な位置でレバーを離せば、ハンドルはその位置で固定され、同時に固定された位置を記憶します。
3.調整後、ハンドルを上下に動かして固定されたことを確認します。

■前後位置調整のしかた

1.❷のレバーをカチッと音がするまで押し下げている間、ハンドル位置を前後にかえられます。
2.適切な位置でレバーをカチッと音がするまで押し上げれば、ハンドルはその位置で固定されます。
3.調整後、ハンドルを前後に動かして固定されたことを確認します。

■ハネ上げのしかた

1.スイッチを押すとON、もう一度押すとOFFになります。



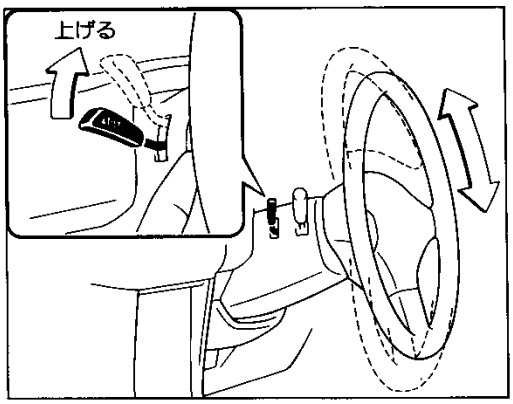
2.スイッチがONのとき、キーを抜くと乗降がスムースに行えるようにハンドルが自動的にハネ上がります。
もどすときは、キーを差し込み、ハンドルをゆっくり引き下げれば記憶された位置にもどります。



ちょっと一言 ハンドルが下がらないときは、一度キーを抜きスイッチがONになっていることを確認してから再度キーを差し込み、操作してください。
以上の操作をしてもハンドルが下がらないときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

3.記憶された位置にもどしたあと、ハンドルを上下に動かして固定されたことを確認します。

無断複製禁止



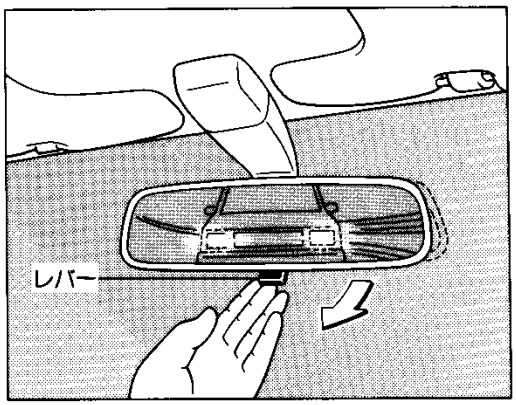
チルトステアリング(上下調整式ハンドル)

GT-FOUR(ラリーパック、Vパック)、S-R

注意！ ハンドルの位置調整は、走行前に行ってください。車が動いているときの調整は危険です。

1. レバーを上げている間、ハンドル位置を上下にかえられます。
2. 適切な位置でレバーを離せば、ハンドルはその位置で固定されます。
3. 調整後、ハンドルを上下に動かして固定されたことを確認します。

ちょっと一言 レバーを上げればハンドル全体が最上段までハネ上がり、乗り降りがしやすくなります。



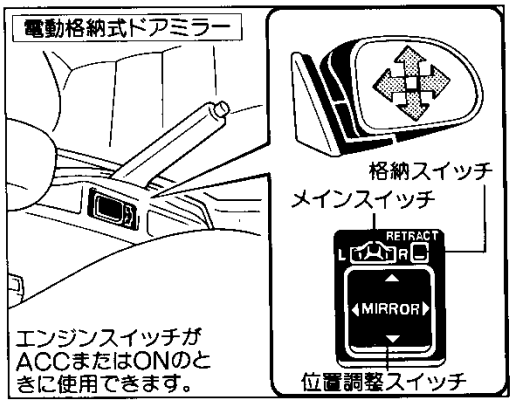
インナーミラー(防眩ミラー)

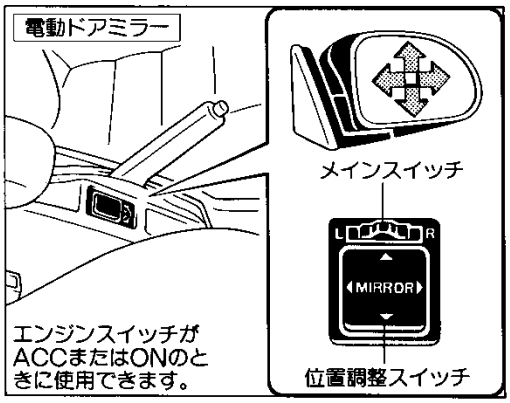
ちょっと一言 走行前に後方が十分確認できる位置に調整してください。

1. ミラー調整はレバーを前方の位置にして、ハンドルをにぎる通常の姿勢で行ってください。
2. 夜間走行時など、後続車のヘッドランプがミラーに反射してまぶしいときは、レバーを手前に引いてください。

無断複製禁止

電動リモコンミラー





電動リモコンミラー



走行前に後方が十分確認できる位置に調整してください。

■電動格納式ドアミラー

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-Rに標準装備

Z-Rに注文装備

■電動ドアミラー

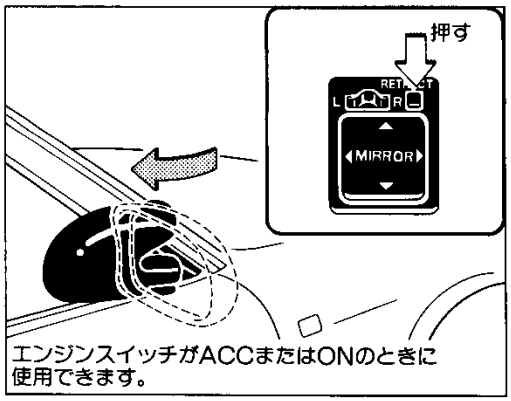
GT-FOUR(ラリーパック、Vパック)、Z-R、S-R

1. メインスイッチをRの位置にすると右側、Lの位置にすると左側のミラーを位置調整スイッチで調整することができます。
2. 使用しないときは、メインスイッチをOFF (中央) の位置にしてください。



ドアミラーはフェンダーミラーに比べて、ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。また、ミラーに映る像の距離感覚も異なりますので、ドアミラーに慣れるまでのしばらくの間、次の事項に注意して運転してください。

- 狭い道でのすれ違いや車庫入れ時、あるいは歩行者などに対してミラーの張り出しに気を配りながら運転してください。
- 運転席側と助手席側では鏡面の曲率半径が異なるため像の大きさが異なります。
- 助手席側のミラーを見るときに視線移動が大きくなりますので前方不注意とならないよう注意してください。



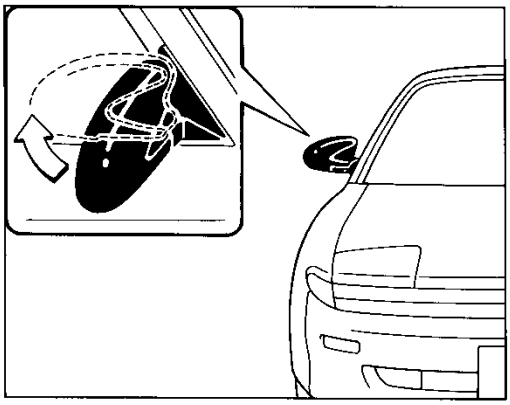
▶ミラーの倒し方

狭い駐車場に車を止めるときや、立体駐車場、自動洗車機などを利用するときにミラーを保護するため、必要に応じてミラーを後方に倒すことができます。

<電動格納式ドアミラー>

1. 格納スイッチを押すと、ミラーが自動的に車両後方に倒れ固定されます。
2. 左右のミラーがともに格納された状態のとき、スイッチを押すと車両前方に"カチッ"という音がするところまでもどります。
3. 手動で倒すこともできます。

無断複製禁止



〈電動ドアミラー〉

1. ミラーのカバーの端を車両後方に押すと、ミラーが後方に倒れたまま固定されます。



ミラーを強い力（約30kg以上）で押さないでください。

2. もとにもどすときは、カバーを車両前方に“カチッ”という音がするまで起こします。

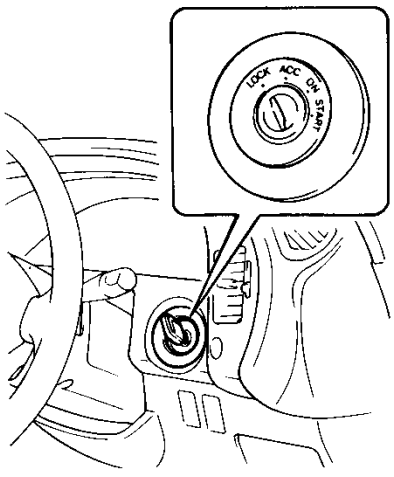


ミラーを倒したまま走行しないでください。

無断複製禁止

エンジンスイッチ……42
エンジンのかけ方……43
パーキング(駐車)ブレーキ……43
マニュアルトランスミッション……43
オートマチックトランスミッション……44

エンジンスイッチ



各位置の働き

LOCK（ロック）
キーを抜き差しできる位置。
キーを抜くとハンドルがロックされます。

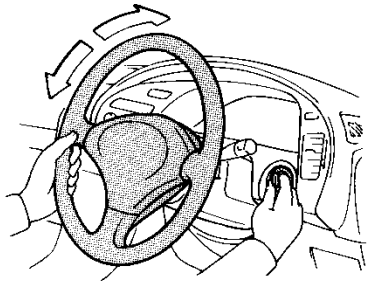
ACC（アクセサリー）
エンジン停止時、下記のものが使用できます。
オーディオ、シガレットライター、電動リモコンミラー

ON（オン）
エンジン回転中の位置。

START（スタート）
エンジンを始動する位置。

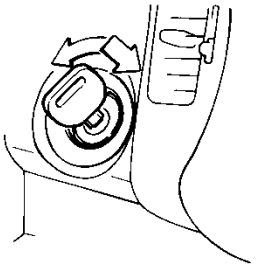

バッテリーあがりを起こさないために、エンジン停止時はスイッチをLOCKまたはACCにしてください。

LOCKからACCに回すとき



キーが回りにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

ACCからLOCKに回すとき



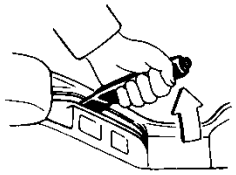
キーを押しながら回します。
オートマチック車は、チェンジレバーが(P)の位置にないと回せません。

無断複製禁止

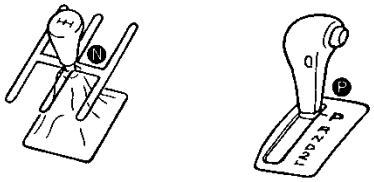
エンジンのかけ方

エンジンをかける前に

1 パーキング(駐車)ブレーキをかけます。



2 チェンジレバーを、マニュアル車はⓃ、オートマチック車はⓅにします。



エンジンのかけ方

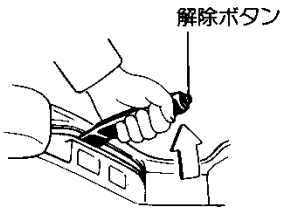
1 エンジンスイッチをスタート位置に回しエンジンを始動します。

アクセルペダルを踏まずに行います。

2 エンジンがかかったらしばらく暖機運転をします。

暖機が終われば自動的にエンジン回転が下がります。

パーキング(駐車)ブレーキ



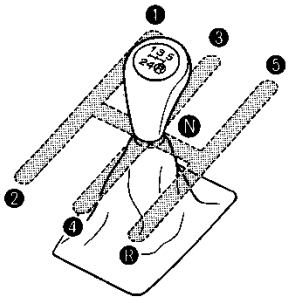
駐車するときは

ボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。

もどすときは

レバーを少し引き上げながらボタンを押さえて、もどします。

マニュアルトランスミッション



Ⓡにいれるときは

❺→Ⓡへは直接いれることができません。いったんⓃにしてからⓇへいれます。

駐車するときは

パーキング(駐車)ブレーキをかけ、チェンジレバーを❶(1速)またはⓇ(後退)の位置にします。

各シフト位置での速度範囲

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が右表の数値をこえないようにしてください。

(単位：km/h)

エンジン型式 / シフト位置	3S-GTE ラリーパックを除く	3S-GTE ラリーパック	3S-GE	3S-FE
1速	45	45	50	45
2速	80	70	85	70
3速	110	100	130	110
4速	150	120	170	145

無断複製禁止

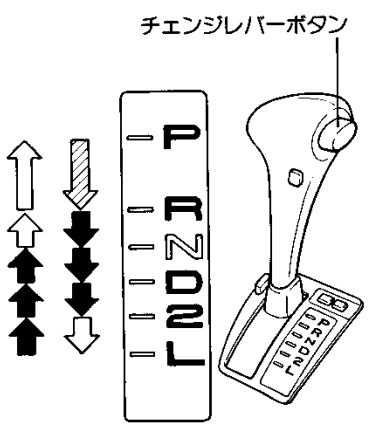
オートマチックトランスミッション(シフトロックシステム付)

(11ページの「**オートマチック車の正しい運転のしかた**」もあわせてお読みください。)

名称と働き

P	パーキング	**駐車およびエンジン始動** 車輪が固定されます。駐車のときは必ずⓅにしてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。
R	リバース	**後退** ブザーが鳴りⓇにあることを運転者に知らせます。
N	ニュートラル	**動力が伝わらない状態** Ⓝでもエンジンは始動できますが、安全のためⓅで行ってください。
D	ドライブ	**通常走行** スピードに応じてギヤが自動的に切り替わります。
2	セカンド	**下り坂走行** エンジンブレーキが必要なときに使います。
L	ロー	**急な下り坂走行** 強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。

チェンジレバーの動かし方



➡は、チェンジレバーボタンを**押さずに**操作します。

⇨は、チェンジレバーボタンを**押して**操作します。

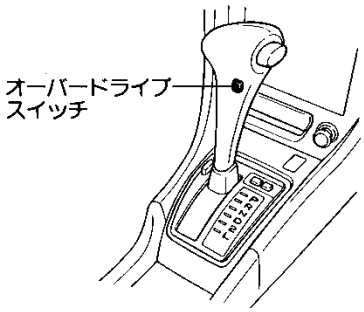
いつもレバーボタンを押して操作すると意に反してⓅⓇⓁにいれてしまうおそれがあります。
➡の操作はレバーボタンを押さないで行う習慣をつけてください。

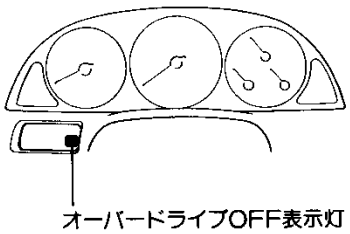
➡は、**ブレーキペダルを踏んだまま**、チェンジレバーボタンを押して操作します。

- エンジンスイッチがACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでもⓅからレバー操作できません。
- Ⓟからレバー操作するときに、チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

無断複製禁止

オーバードライブ(O/D)スイッチ





スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

通常走行

スイッチをONにします。

❸の位置で走行中、一定速度以上で4速ギヤにはいり、燃費性能と静粛性を高めます。

坂道走行

スイッチをOFFにします。

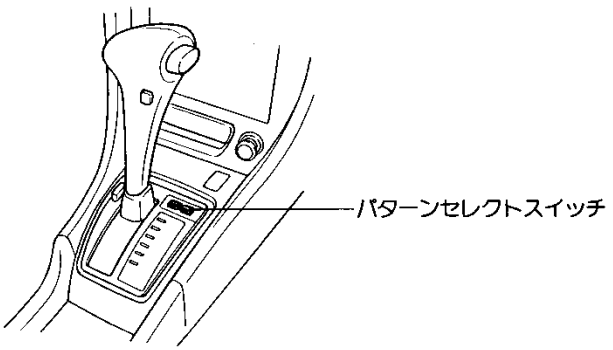
- 下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。
- 上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。

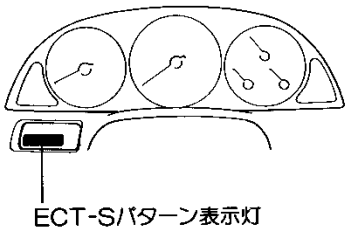
	スイッチの状態	表示灯
ON		O/D OFF (消灯)
OFF		O/D OFF (点灯)

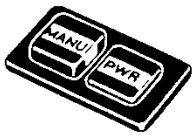
無断複製禁止

ECT-Sパターンセレクトスイッチ

走行・使用条件にあわせて、走行パターンを選択できます。





走行パターン	エコノミー	パワー	マニュアル
スイッチの状態			
パターン表示灯	MANU PWR	MANU PWR	MANU PWR
特長	●燃費のよい経済的な走行に適します。	●パワフルな運転や山間地での運転などに適します。	●❷の位置にすると2速に固定され、雪道などすべりやすい路面での発進に適します。 ●Ⓓで発進し、❷、Ⓓへと手動の操作で運転するのに適します。 ●市街地をⒹで走行中、ギヤの切り替わりが気になるときは、このパターンにするとギヤの切り替わる回数が少なくなります。

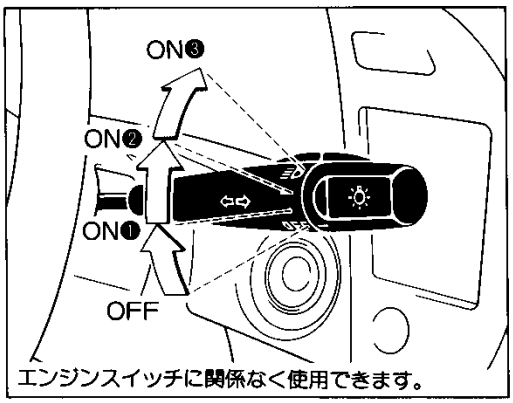
同一スイッチを再度押すと設定パターンは解除され、エコノミーパターンになります。

処置 走行中オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは装置の異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

無断複製禁止

スイッチの使い方

ライトスイッチ……47
方向指示レバー……49
フロントワイパー & ウオッシャースイッチ……50
リヤワイパー & ウオッシャースイッチ……51
リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ……51
フォグランプスイッチ……52
非常点滅灯スイッチ……52



エンジンスイッチに関係なく使用できます。

ライトスイッチ

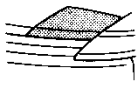
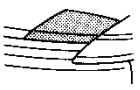
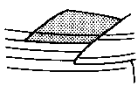
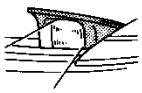
ツマミを回すとON❷、ON❸の位置でランプ類が点灯します。詳しくは、次表の**「ツマミの位置と灯火の関係」**を参照してください。


ちょっと一言

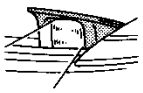
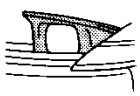
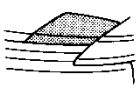
エンジン停止時、ヘッドランプなどのランプを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

▶ツマミの位置と灯火の関係

〈OFFから≡Dに回すとき〉

ツマミの位置		ヘッドランプ		車幅灯／尾灯／番号灯／計器照明灯
OFF			消灯	消　灯
ON❶	●		消灯	消　灯
ON❷	▬		消灯	点　灯
ON❸	≡D		点灯	点　灯

〈≡DからOFFに回すとき〉

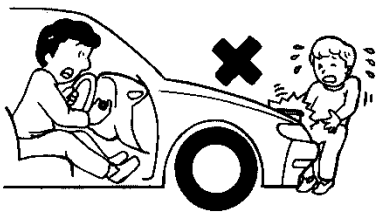
ツマミの位置		ヘッドランプ		車幅灯／尾灯／番号灯／計器照明灯
ON❸	≡D		点灯	点　灯
ON❷	▬		消灯	点　灯
ON❶	●		消灯	消　灯
OFF			消灯	消　灯

無断複製禁止

ライトスイッチ

注意！

ライトスイッチを操作するときは、ヘッドランプ付近に人がいないことを確かめてから操作してください。ヘッドランプが起き上がったり、下がったりするときに手をはさむおそれがあります。



▶寒冷地などでヘッドランプ昇降装置が凍結するおそれがある場合または凍結したときは

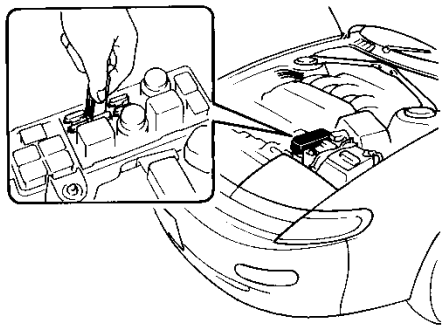
1. 走行時に支障のないようライトスイッチを●の位置にしてレバーを手前に引き、ヘッドランプを起こしておきます。
2. 昇降装置が凍結してヘッドランプが下がらないときは、氷が溶けてからライトスイッチをOFFにしてヘッドランプを格納してください。

注意！

寒冷地などで、ヘッドランプが起き上がったまま（または格納状態）のときに昇降装置が凍結し、作動しないときは、スイッチを操作する前に必ず氷を溶かしてください。凍結した状態のままでスイッチ操作を何度も繰り返すとバッテリーあがりを起こすおそれがあります。

▶ライトスイッチを≡Dにしてもヘッドランプが起き上がらないとき、またはOFFにしても下がらないときは

1. ライトスイッチをOFFにします。
2. エンジンルーム内ヒューズボックスのグリーン色のヒューズ（30A）をはずします。

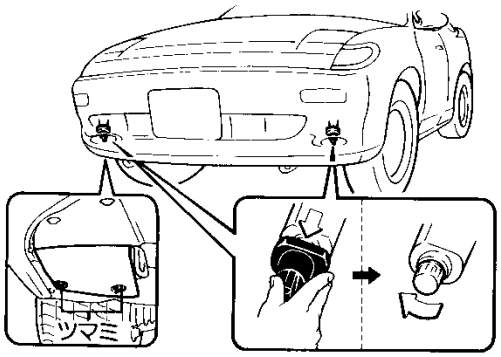


ちょっと一言

ヒューズは必ずはずしてください。はずさないで次の作業をすると、電源がはいったりヘッドランプが急に起き上がったり下がったりすることがあるため、手などをはさむおそれがあります。

3. 下図の位置にあるモーター部のゴムカバーをはずし白色のツマミを回すとヘッドランプが起き上がるか、または下がります。なお、ツマミを図の反対方向に回すことは絶対にやめてください。

GT-FOURはカバーのツマミを回してカバーを開いてから操作します。

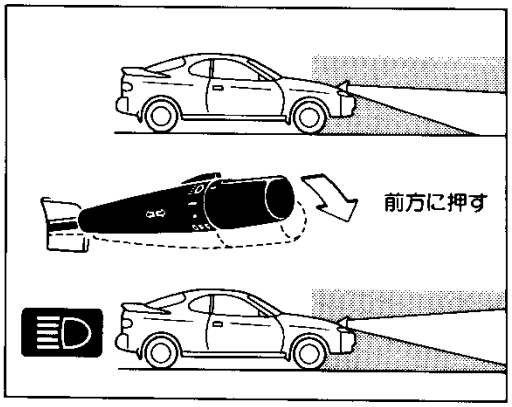


4. 2.ではずしたヒューズを取りつけます。

ちょっと一言

1. ヘッドランプを下げたときに車体のラインと平行になれば正しい格納状態です。
2. ヘッドランプを上げたときは、一度ライトスイッチを≡Dの位置にして点灯することを確認してください。
3. ライトスイッチを操作したときヘッドランプが正常に作動しない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

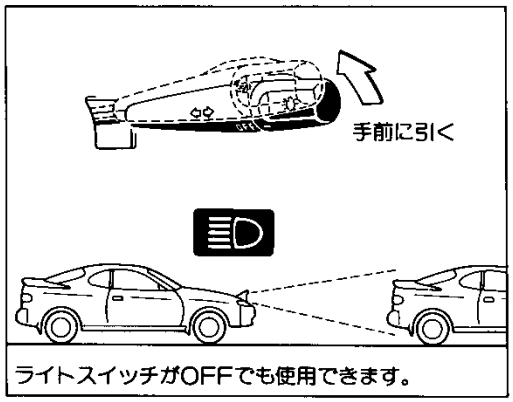
無断複製禁止



■ヘッドランプの上下切り替えと追いこし合図のしかた

▶ヘッドランプの上下切り替え

1.レバーを前方に動かすとヘッドランプが上向きになります。
2.ヘッドランプが上向きのときは、計器内のヘッドランプの上向き表示灯が点灯します。



ライトスイッチがOFFでも使用できます。

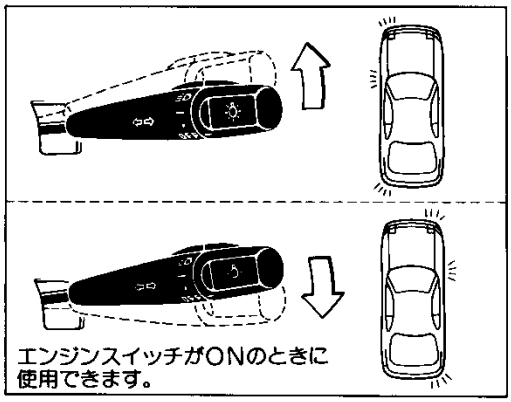
▶追いこし合図のしかた

1.レバーを手前に引いている間、ヘッドランプが起き上がり点灯します。このとき同時に、計器内のヘッドランプの上向き表示灯が点灯します。
2.レバーから手を離すと、約2秒後にヘッドランプは自動的に格納されます。

■ランプ消し忘れ警告ブザー

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R

車幅灯が点灯したまま、エンジンスイッチをLOCKの位置にして運転席ドアを開くと、ブザーが鳴りランプ類の消し忘れを警告します。

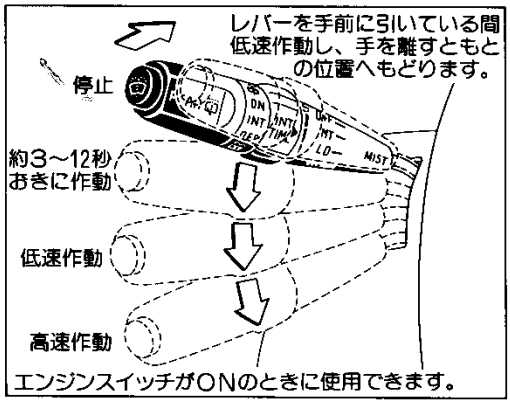


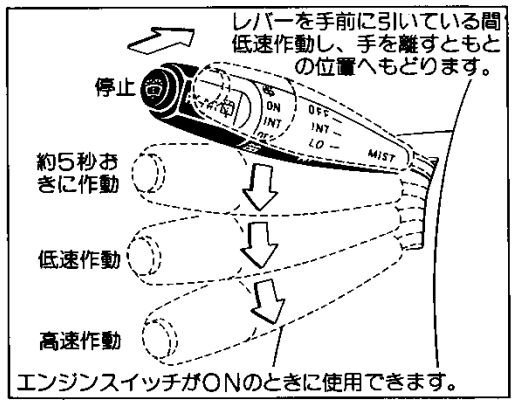
エンジンスイッチがONのときに使用できます。

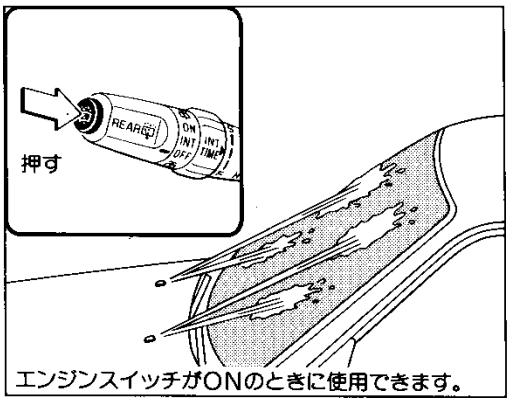
方向指示レバー

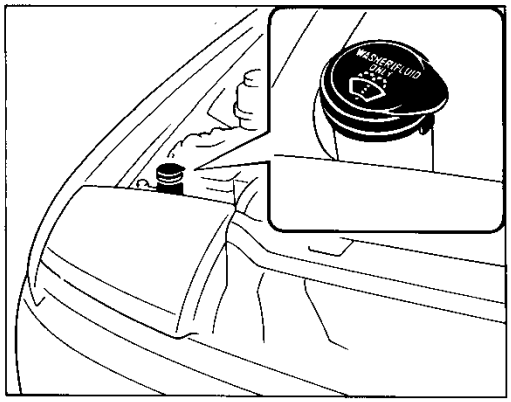
1.レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯および計器内の方向指示灯表示灯が点滅します。
2.レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。
3.車線変更などのときには、レバーを軽く上または、下へ操作している間、それぞれの方向指示灯および方向指示灯表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

無断複製禁止









フロントワイパー & ウォッシャースイッチ

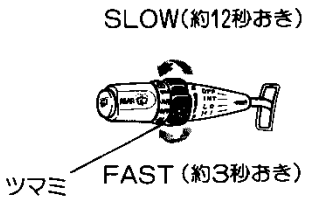

ちょっと一言

凍結のおそれがあるときや長期間ワイパーを使用しなかったときは、走行前にワイパーゴムがガラスに張りついていないことを点検してください。ガラスに張りついたまま作動させると損傷したり、モーターが故障することがあります。

■ミスト付き間けつ時間調整式ワイパー

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R

1. レバーを図のように操作するとワイパーが作動します。
2. INT TIMEのツマミを右図のように操作すると間けつ時間(作動から次の作動までの停止時間)を、約3～12秒の間で調整できます。



■ミスト付き間けつワイパー

GT-FOUR(ラリーパック、Vパック)、S-R

レバーを図のように操作するとワイパーが作動します。

■ウォッシャー液の噴射方法

レバー先端についているスイッチを約1秒以上押すとウォッシャー液が噴射され、約1秒後にワイパーが2～3回作動します。


ちょっと一言

1. ウォッシャー液が十分出ないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ポンプをいためることがあります。
2. からぶきはガラスを傷つけることがあります。必ず、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。

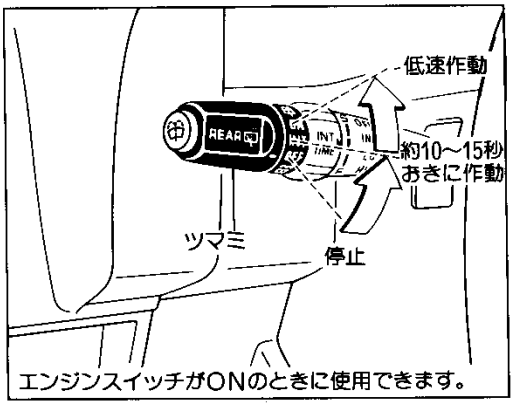

注意!

寒冷時にウォッシャー液を使用するときはガラスに噴射された液が凍結し、視界不良を起こすことがありますので、先にフロントガラスを暖めてください。

▶ウォッシャータンクの位置

エンジンルーム右側前部に取りつけてあります。

無断複製禁止

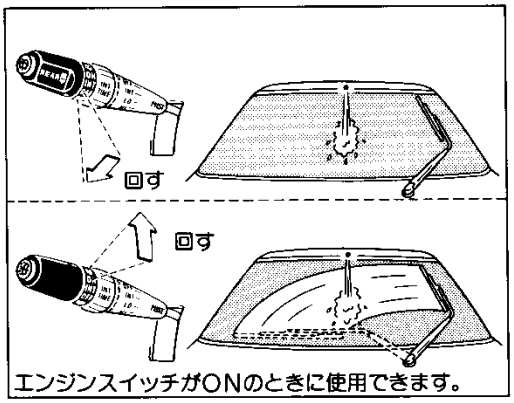


リヤワイパー & ウォッシャースイッチ

GT-FOUR(ラリーパックを除く)、GT-R、Z-R、S-R

■ワイパーの使い方

ツマミを図のように回すとワイパーが作動します。

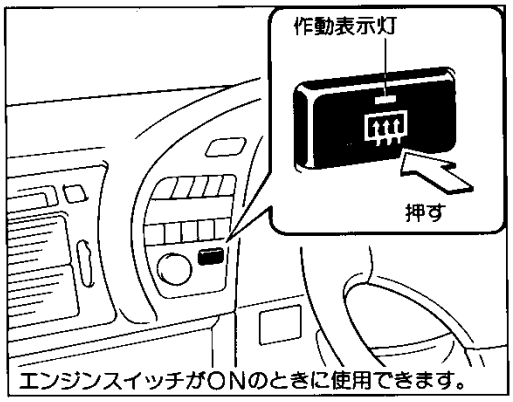


■ウォッシャー液の噴射方法

1.ツマミをOFFの位置から下の側に回すとウォッシャー液が噴射されます。
2.低速作動中にウォッシャー液を噴射させるときはONの位置から上の側に回します。



ウォッシャータンクはフロントウォッシャータンクと共用しています。



リヤウインドゥデフォッガー(曇り取り)スイッチ

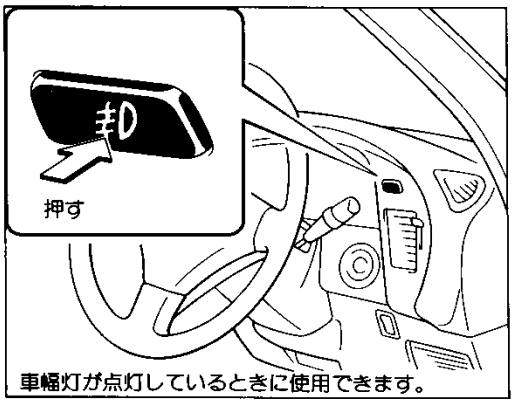
リヤウインドゥガラスが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りを取ります。

1.スイッチを押すと作動し、作動表示灯が点灯します。
2.約12～18分間作動し、自動的にOFFになります。
3.途中で解除したいときは、スイッチをもう一度押します。



1.曇り取り以外には使用しないでください。雨水の乾燥や雪などを溶かすことはできません。
2.熱線入りガラス（内側）の清掃は、湿った布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは使用しないでください。

無断複製禁止



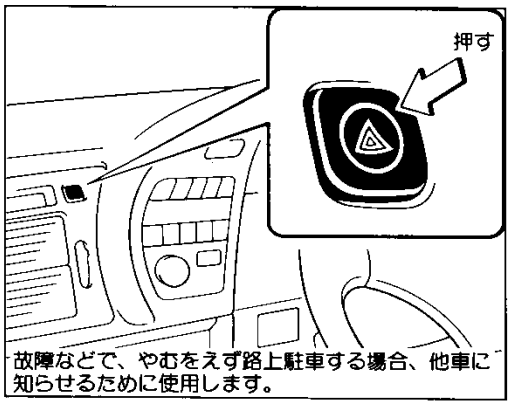
車幅灯が点灯しているときに使用できます。

フォグランプスイッチ

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)に標準装備

GT-R、Z-R、S-Rに注文装備

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



故障などで、やむをえず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用します。

非常点滅灯スイッチ

1.スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。このとき同時に計器内にある方向指示灯表示灯も点滅します。

2.もう一度押すと消灯します。




ちょっと一言

1.完全充電状態のバッテリーでも長時間使用すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2.走行中、異常がないのに使用すると、他車の誤解を招き危険です。

無断複製禁止

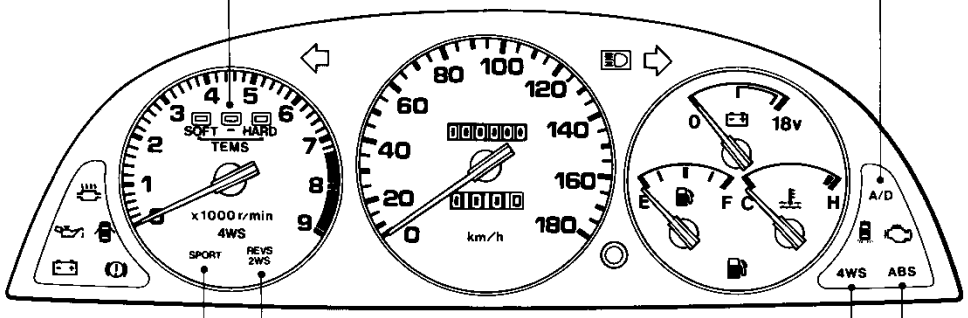
メーター、表示灯、警告灯の見方

GT-R、Z-R、S-R

●タコメーター(エンジン回転計)の表示はZ-R、S-Rのみ
0～8000r/min

減衰力表示灯(P96)

オートドライブ作動表示灯(P90)



4WSスポーツ表示灯(P98)

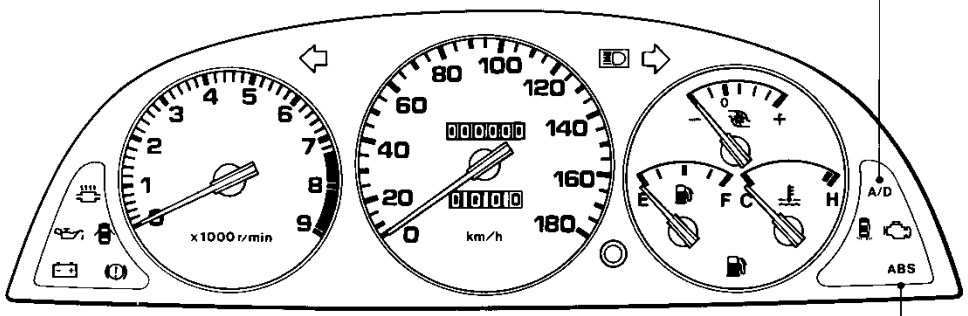
2WS表示灯(P98)

ABS警告灯(P97)

4WS警告灯(P99)

GT-FOUR

オートドライブ作動表示灯(P90)

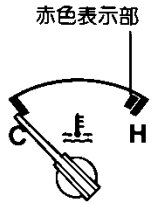


ABS警告灯(P97)

無断複製禁止

メーター

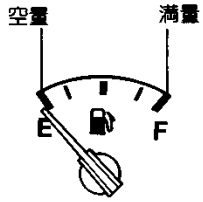
水温計



エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。

> 処置 指針がHの赤色表示部にはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、111ページの「**オーバーヒートの処置**」にしたがって処置をしてください。

燃料計



エンジンスイッチに関係なく燃料残量を示します。

燃料タンク容量は60ℓ（GT-FOURは68ℓ）です。

燃料補給後、エンジンスイッチをONにしてから指示が安定するまで、少し時間がかかります。

スピードメーター

車両の走行速度を示します。

タコメーター（エンジン回転計）

毎分のエンジン回転数を示します。

> 指針が赤色表示部（エンジン許容回転数をこえている）にはいらないように運転してください。

オドメーター（積算距離計）

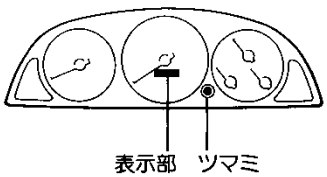
走行した総距離をkmの単位で示します。

トリップメーター（区間距離計）

区間距離をkmの単位（黒文字は100m）で示します。

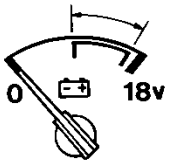
0にもどすには

ツマミを押します。



無断複製禁止

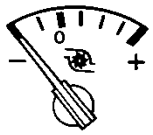
電圧計



エンジンスイッチがONのとき、バッテリーの充電状態を示します。

処置 エンジン回転中に左図の範囲外を示すときは、バッテリーや充電系統の異常が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ターボ作動圧力計



エンジン回転中、ターボの作動圧力を示します。

無断複製禁止

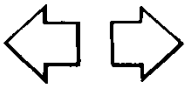
表示灯

ヘッドランプ上向き表示灯



ヘッドランプを上向きにすると点灯します。

方向指示灯表示灯 & 非常点滅灯表示灯



方向指示灯表示灯

エンジンスイッチがONのとき方向指示レバーを操作すると点滅します。

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。

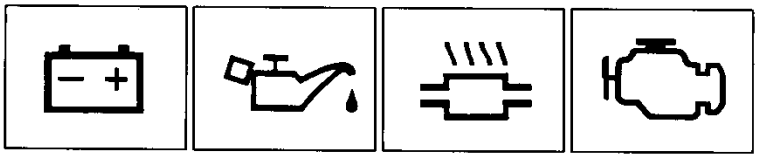
非常点滅灯表示灯

非常点滅灯スイッチを作動させると、両方の方向指示灯表示灯が同時に点滅します。

無断複製禁止

警告灯

下図の警告灯は、エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。
エンジンがかかっているときに警告灯が点灯したときは、処置が必要です。



充電警告灯



エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。

処置 エンジン回転中に点灯したときは、ファンベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

油圧警告灯

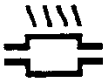


エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。

「油圧警告灯」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ず運行前にオイルレベルゲージにより行ってください。
（点検方法は**「整備手帳」**を参照してください。）

処置 エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジンを止めて、トヨタ販売店へご連絡ください。

排気温警告灯



エンジン回転中、触媒装置の温度が異常に高くなると点灯します。

エンジン回転中、「充電警告灯」と「排気温警告灯」が同時に点灯したときは、触媒の温度上昇を警告しているのではなく充電装置の異常を警告しています。

処置
- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに枯れ草などの燃えやすいもののない安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
- 約10分間エンジンを止めたあと、エンジンを始動して消灯していれば走行できます。
- 消灯しないときまたは再び点灯するときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で点検を受けてください。

エンジン警告灯



エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。

処置
- エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ターボ車はターボ装備の異常も考えられますので、エンジン回転を2000回転以下にして走行してください。

無断複製禁止

ブレーキ警告灯



エンジンスイッチがONのとき次のような場合に点灯します。

●パーキング(駐車)ブレーキをかけたままのとき
(ブレーキを解除すれば消灯します。)

●ブレーキ液の不足

処置

●エンジン回転中にパーキング(駐車)ブレーキを解除しても点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

●この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがありますので、ブレーキペダルを踏み効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んでください。

走行中、異音（キーキー音）が発生したときは、ブレーキ（ブレーキパッド）の摩耗が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

燃料残量警告灯



エンジンスイッチがONのとき約10ℓになると点灯します。

半ドア警告灯



ドアが確実に閉められていないときに点灯します。

断線警告灯

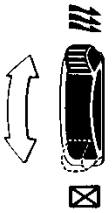


エンジン回転中、ライトスイッチをONにしたときおよびブレーキペダルを踏んだとき、各ランプの電球切れがあると点灯します。

無断複製禁止

ヒーターの使い方

■吹き出し口



▶フレッシュフィーリングヒーターシステム（独立冷風吹き出し）について

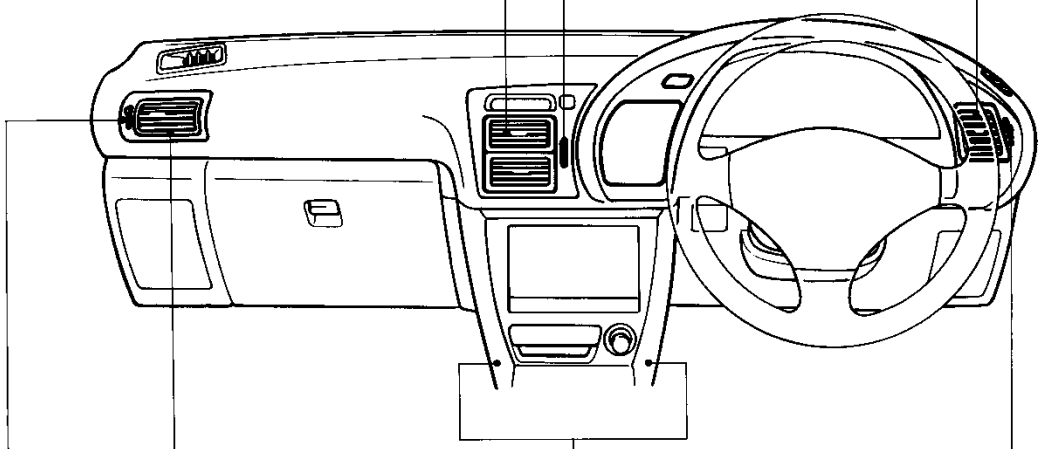
（暖房）、（暖房および曇り取り）、（曇り取り）時の温風による頭部の不快感を解消するため、中央吹き出し口から冷風を出せるようにしたものです。

1.ダイヤルを側に回すと、温度調整ダイヤルの位置に関係なく冷風が出ます。

2.不要な場合は、ダイヤルを側にしておいてください。

▶中央
ツマミを動かして風向きを調整します。

▶右側
ツマミを動かして風向きを調整します。



▶左側
ツマミを動かして風向きを調整します。

▶足元
暖房時に温風が出ます。

▶切り替えレバー

……走行中に外気が直接導入できます。

…… 外気の直接導入が不要の場合。

……外気の直接導入および送風が不要の場合。

注意！ 冷・暖房中は の位置で使用してください。 の位置にすると冷・暖房効果が低下します。

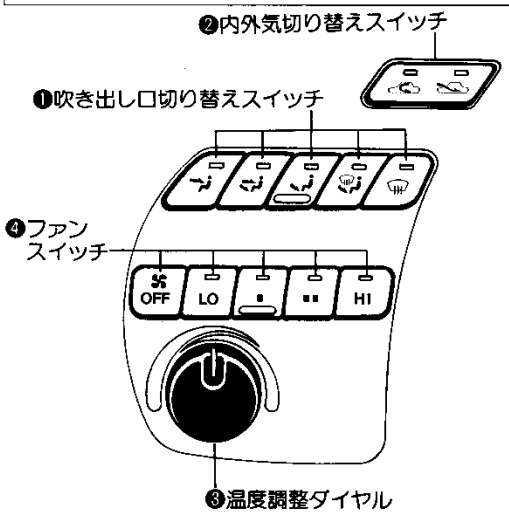
▶開閉ダイヤル
左側吹き出し口からの送風が不要な場合はダイヤルを の位置にします。

エアコンディショナーの取り扱い方法は別冊の取扱書をご覧ください。

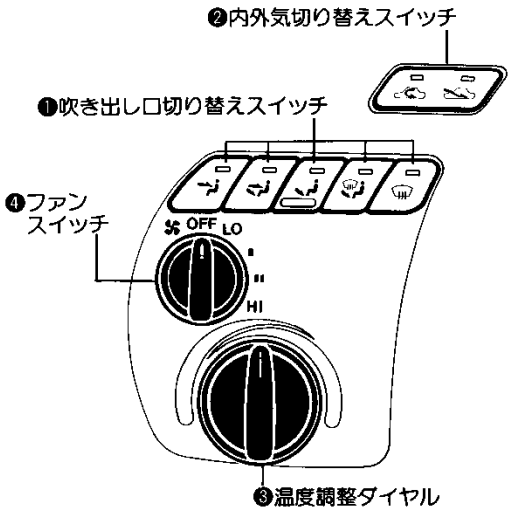
無断複製禁止

ヒーター

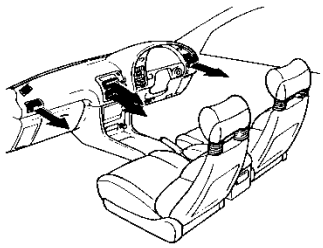
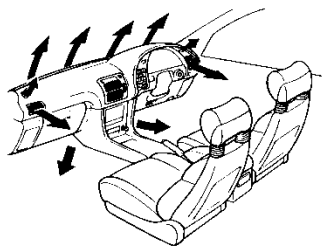
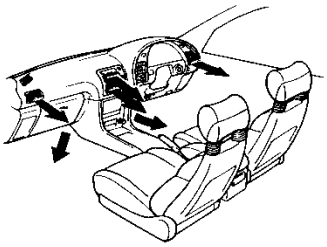
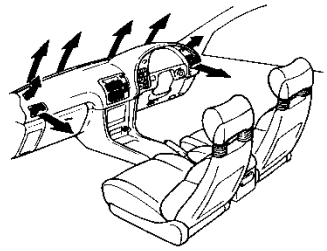
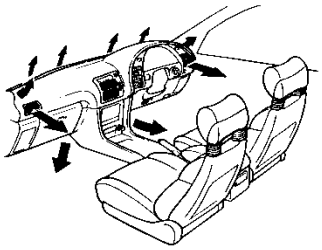
GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R



GT-FOUR(ラリーパック、Vパック)、S-R



■吹き出し口切り替えスイッチ❶

スイッチ位置と使用目的	吹き出し口	スイッチ位置と使用目的	吹き出し口
上半身に風を送りたいとき 		窓ガラスと足元に風を送りたいとき 	
上半身、足元に風を送りたいとき 		窓ガラスに風を送りたいとき 	
足元に風を送りたいとき 			

無断複製禁止

■内外気切り替えスイッチ❷

スイッチ	名称と使用目的
	●内気循環……内気循環式。急速に車内を暖めるとき、または外気がよごれているときなど一時的に使用します。
	●外気導入……外気導入式に切り替わります。

スイッチを押すごとに外気導入、内気循環に切り替わります。



内気循環は長時間使用するとガラスが曇りやすくなるため通常は外気導入を使用してください。



❶のスイッチがまたは、のとき❷のスイッチを内気循環にしないでください。ガラスが曇りやすくなり危険です。

■温度調整ダイヤル❸

低温から高温まで無段階に温度を調整できます。

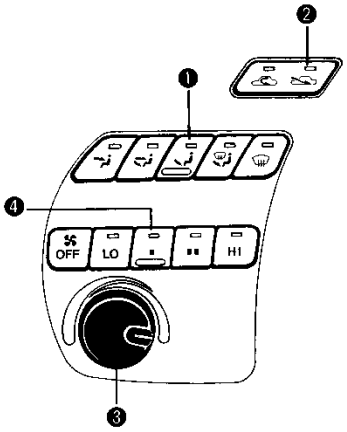
■ファンスイッチ❹

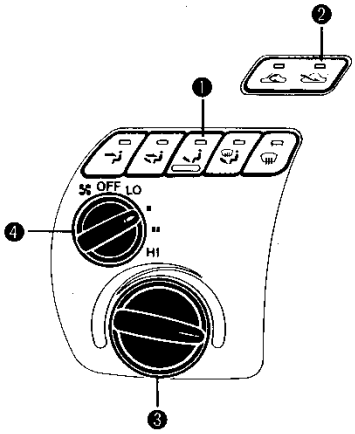
風量を4段階に調整できます。

無断複製禁止

▶通常の暖房

〈セット位置〉

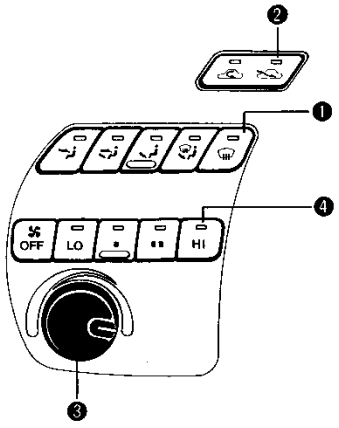


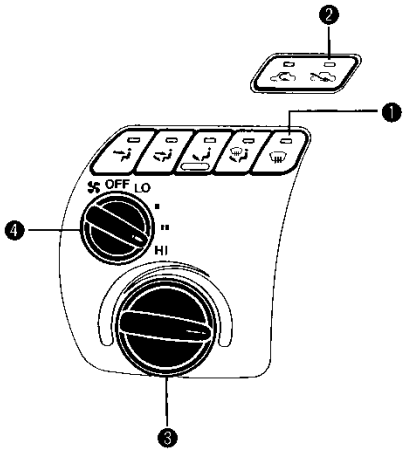


1.❶のスイッチの を押します。
2.暖かくなってきたら❹のスイッチをLO側へ、また❸のダイヤルを左に回してお好みにあった状態に調整します。
3.トンネル内、渋滞などで外気がよごれている場合以外❷のスイッチは外気導入で使用します。内気循環で使用するとガラスが曇りやすくなります。

▶ガラスの曇りを取るとき

〈セット位置〉



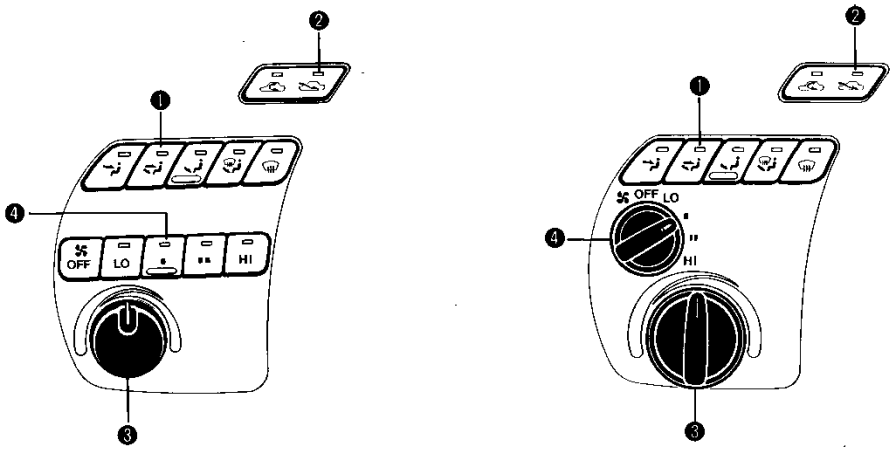


1.❶のスイッチの を押します。
2.❶のスイッチの を押せば曇りを取るのと同時に足元も暖められます。
3.曇りが取れたら❶のスイッチの を押します。
4.夏期の曇り止めには、❸のダイヤルを適度に調整します。
5.❷のスイッチは外気導入で使用します。

無断複製禁止

▶頭寒足熱型にしたいとき

〈セット位置〉

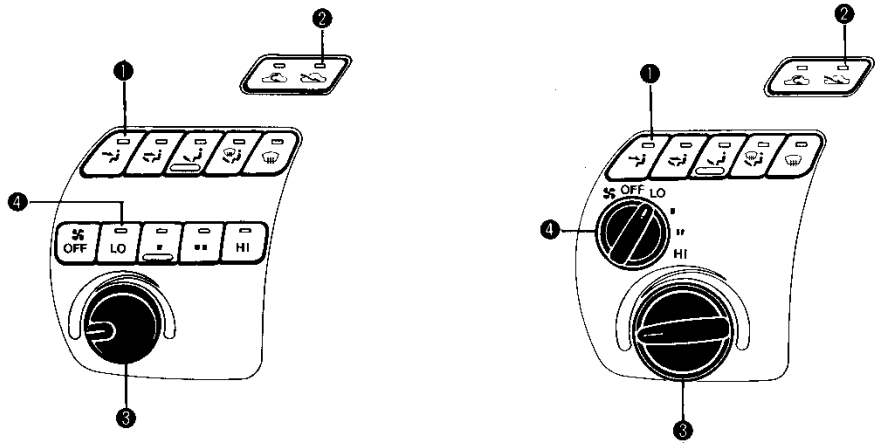


1.❶のスイッチのを押し、❸のダイヤルを中間の位置で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。

2.❷のスイッチは外気導入で使用します。

▶換気したいとき（強制換気）

〈セット位置〉



1.❶のスイッチのを押します。

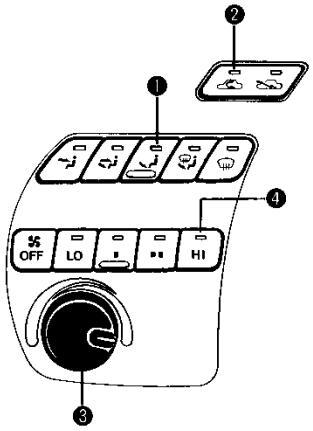
2.外のさわやかな風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。

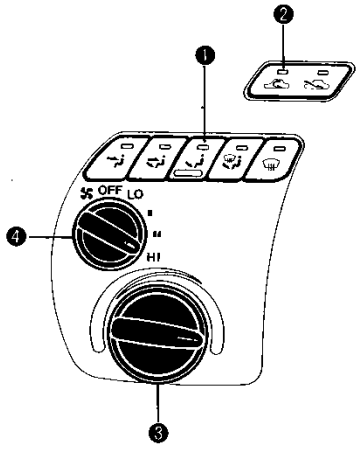
3.❸のダイヤルを右に回すことにより吹き出し温度を暖かくすることができます。

無断複製禁止

▶早く暖房したいとき

〈セット位置〉





1.❶のスイッチの を押します。
2.早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的に❷のスイッチを内気循環にして使用します。
3.通常は❷のスイッチを外気導入にして使用します。

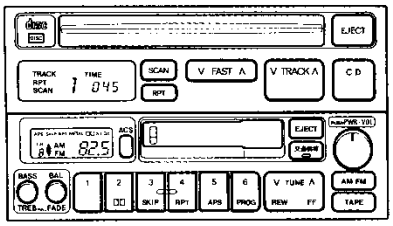
無断複製禁止

オーディオの使い方

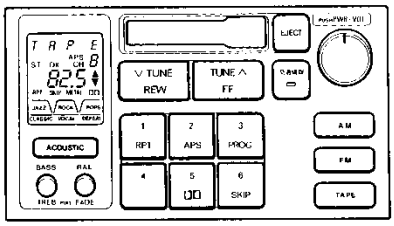
「オーディオの使い方」は機種別に説明していますので、あなたのお車に該当するページをお読みください。
また、「オーディオの上手な使い方」と「アンテナについて」もあわせてご覧ください。

ページ

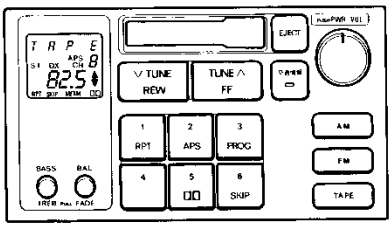
カセット一体AM/FMラジオ & CDプレーヤー
GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-Rに注文装備
66



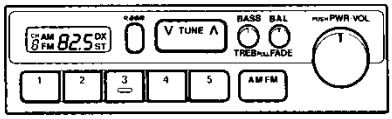
カセット一体AM/FMラジオ(アコースティックフレーバー付き)
GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-Rに標準装備
Z-R、S-Rに注文装備
72



カセット一体AM/FMラジオ
Z-R
76



AM/FMラジオ
S-R
80



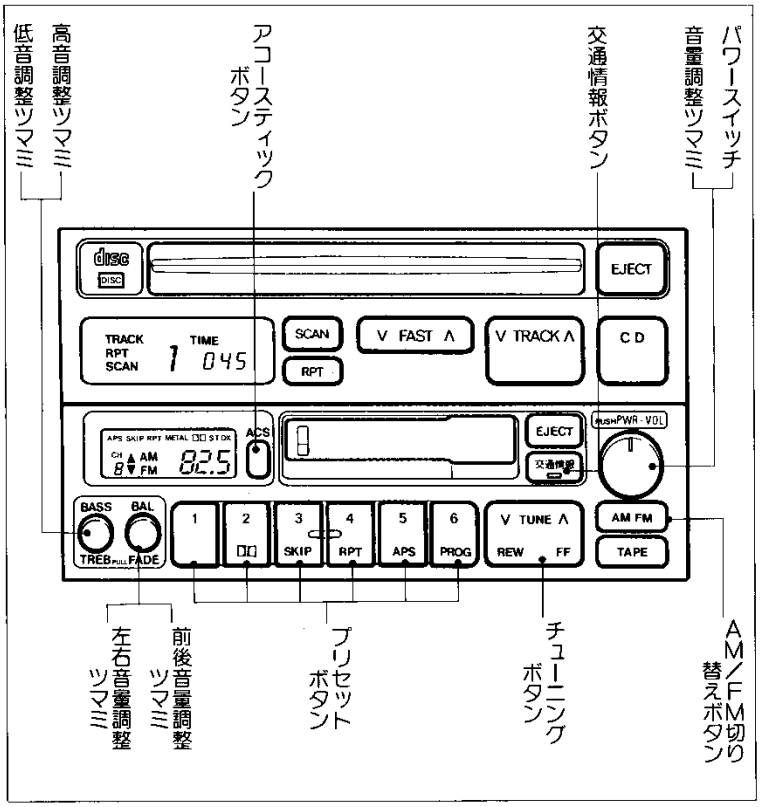
オーディオの上手な使い方
82

アンテナについて
83

無断複製禁止

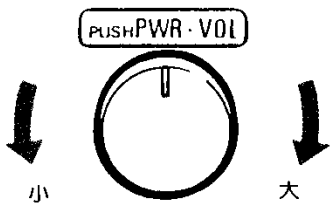
カセット一体AM/FMラジオ & CDプレーヤー

カセット一体
AM/FMラジオ
&
CDプレーヤー



音量調整のしかた

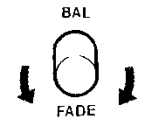
音量



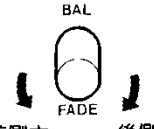
左右音量はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

前後音量はツマミをさらに手前に引いて調整します。

左右音量



前後音量



音質調整のしかた

アコースティックフレーバー

アコースティックボタンを押すごとに音質がかわります。

表示と働き

表　示	働　　き
CLASSIC	フラットな音になります。
ROCK	低音が強調されます。
POPS	高音が強調されます。
JAZZ	低音と高音が強調されます。
VOCAL	中音域が強調されます。
DEFEAT	低音、高音調整の手動調整ができます。

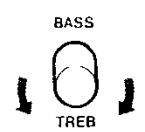
手動調整

低音はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

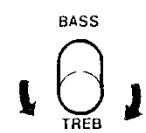
高音はツマミをさらに手前に引いて調整します。

DEFEAT表示のときのみ調整できます。

低音



高音



無断複製禁止

ラジオを聞くには

ラジオを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。

3 チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと受信されます。

選局をするには

自動選局をするには

チューニングボタンをピッという音がするまで押し続けます。

●高い方へ選局するときは∧側

●低い方へ選局するときは∨側

もう一度押すと解除されます。



受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

手動選局をするには

チューニングボタンを押します。

●高い方へ選局するときは∧側

●低い方へ選局するときは∨側

放送局を記憶させるには

プリセットボタン1～6に希望の放送局を記憶させることができます。

1 チューニングボタンで記憶させたい放送局にあわせます。

2 プリセットボタンをピッという音がするまで押し続けます。



●プリセットボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

●バッテリーとの接続が断たれたときは、記憶は消去されます。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

交通情報を聞くには

交通情報ボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



新車時には1620KHzにセットしてあります。

セットするには

1 チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。

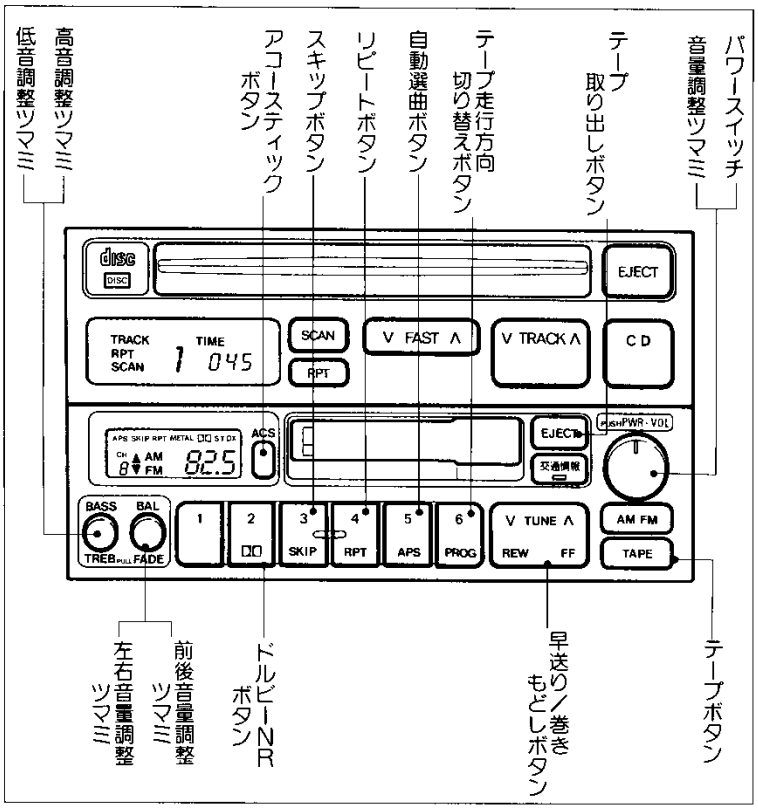
2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けます。



バッテリーとの接続が断たれたときは、1620KHzになります。

無断複製禁止

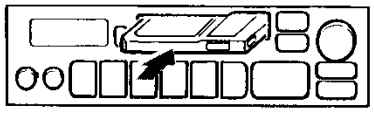
テープを聞くには



テープを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。



テープをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビーNRボタンについて

ドルビー*(B)NRで録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 DD は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

無断複製禁止

テープの走行方向をかえるには

テープ走行方向切り替えボタンを押します。

早送り、巻きもどしをするには

早送り／巻きもどしボタンを押します。

- ●早送りをするときはＦＦ側
- ●巻きもどしをするときはREW側

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには(自動選曲)

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

1 頭出しをしたい曲までの曲数だけ（3曲目の場合は3回）自動選曲ボタンを押します。

巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。



2 早送り／巻きもどしボタンを押します。

- ●早送りをするときはＦＦ側
- ●巻きもどすときはREW側

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- ●曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- ●曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- ●曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- ●曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

スキップボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

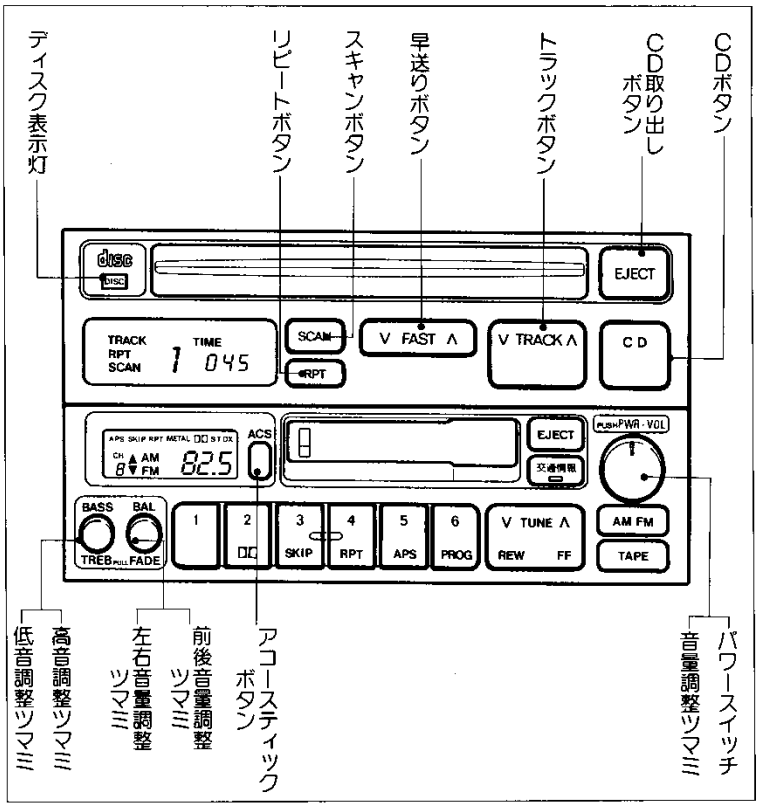


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- ●曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- ●曲と曲の間に雑音があるとき
- ●曲の始めと終わりが明確でないとき

無断複製禁止

CDを聞くには

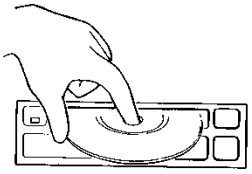


CDを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 CD差し込み口にCDを差し込みます。

CDが差し込まれているときは、CDボタンを押します。



中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にします。

CDをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと再生されます。

CDを取り出すには

CD取り出しボタンを押します。

CDが自動的に押し出されます。

早送りをするには

早送りボタンを押します。

- 進めるときは∧側
- もどすときは∨側

手を離すと、その位置から再生を始めます。

無断複製禁止

スキャンボタンについて

曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生します。

1 スキャンボタンを押します。

2 希望曲になったらもう一度スキャンボタンを押します。

その曲の再生を続けます。

頭出しをするには(自動選曲)

トラックボタンを押して希望の曲番を選びます。

- うしろにあるときは∧側
- 前にあるときは∨側



同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

△ 処置

プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。
この場合次の処置をしてください。

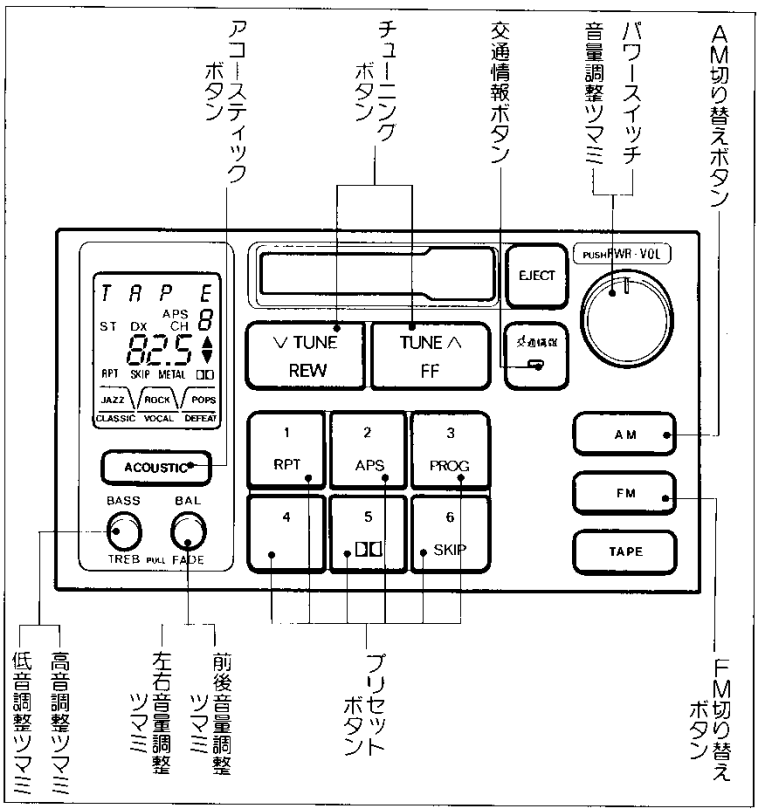
- ディスク表示灯が赤く点灯していないときは、CDボタンを押してください。
- ディスク表示灯が赤く点灯しているときは、内部の温度が異常上昇していますので、CD取り出しボタンを押してCDを取り出し、ディスク表示灯が消えるまでお待ちください。正常に復帰するとディスク表示灯が消えますので、再度CDを差し込んでください。

以上の操作をしても、機能が停止しているときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

無断複製禁止

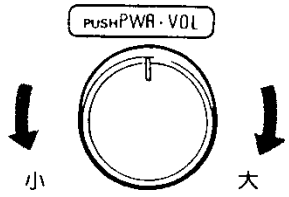
カセット一体AM/FMラジオ(アコースティックフレーバー付き)

**カセット一体
AM/FMラジオ
(アコースティック
フレーバー付き)**



音量調整のしかた

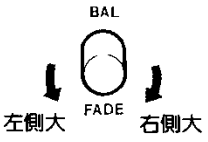
音量



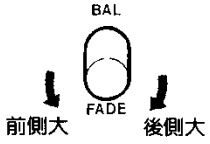
左右音量はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

前後音量はツマミをさらに手前に引いて調整します。

左右音量



前後音量



音質調整のしかた

アコースティックフレーバー

アコースティックボタンを押すごとに音質がかわります。

表示と働き

表　示	働　　き
CLASSIC	フラットな音になります。
ROCK	低音が強調されます。
POPS	高音が強調されます。
JAZZ	低音と高音が強調されます。
VOCAL	中音域が強調されます。
DEFEAT	低音、高音調整の手動調整ができます。

手動調整

低音はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

高音はツマミをさらに手前に引いて調整します。

DEFEAT表示のときのみ調整できます。

低音



高音



無断複製禁止

ラジオを聞くには

ラジオを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 AMまたはFM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。

3 チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと受信されます。

選局をするには

自動選局をするには

チューニングボタンをピッという音がするまで押し続けます。

●高い方へ選局するときは∧側

●低い方へ選局するときは∨側

もう一度押すと解除されます。



受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

手動選局をするには

チューニングボタンを押します。

●高い方へ選局するときは∧側

●低い方へ選局するときは∨側

放送局を記憶させるには

プリセットボタン1～6に希望の放送局を記憶させることができます。

1 チューニングボタンで記憶させたい放送局にあわせます。

2 プリセットボタンをピッという音がするまで押し続けます。



●プリセットボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

●バッテリーとの接続が断たれたときは、記憶は消去されます。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

交通情報を聞くには

交通情報ボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



新車時には1620KHzにセットしてあります。

セットするには

1 チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。

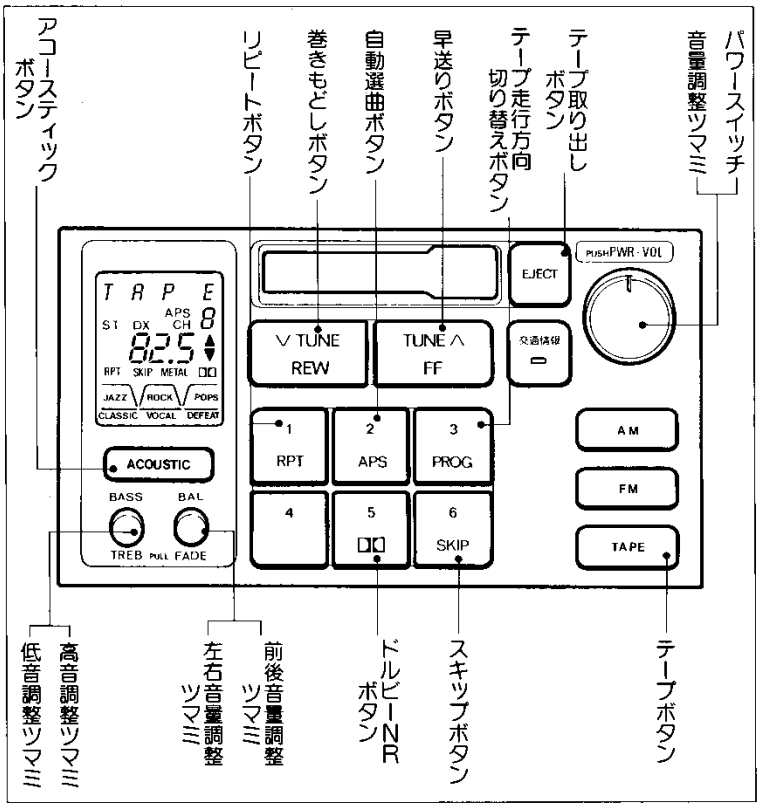
2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けます。



バッテリーとの接続が断たれたときは、1620KHzになります。

無断複製禁止

テープを聞くには

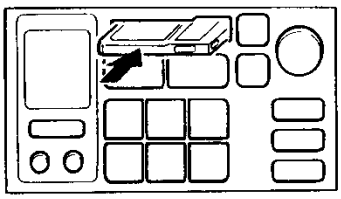


テープを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。

テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。



テープをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと再生されます。

テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。

テープが自動的に押し出されます。

ドルビーNRボタンについて

ドルビー*(B)NRで録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 DD は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

無断複製禁止

テープの走行方向をかえるには

テープ走行方向切り替えボタンを押します。

早送り、巻きもどしをするには

早送りがしたいときは早送りボタンを、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタンを押します。

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには（自動選曲）

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

1 頭出しをしたい曲までの曲数だけ（3曲目の場合は3回）自動選曲ボタンを押します。

巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。



2 早送りするときは早送りボタンを、巻きもどすときは巻きもどしボタンを押します。

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

スキップボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



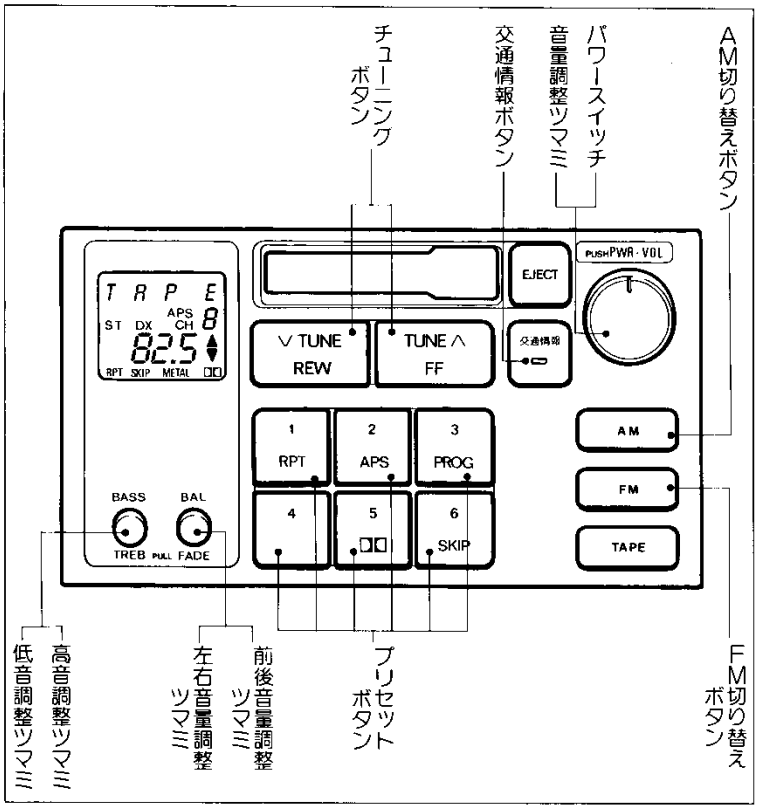
次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の始めと終わりが明確でないとき

無断複製禁止

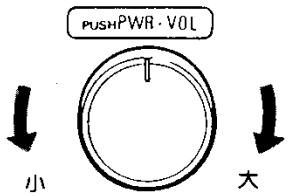
カセット一体AM/FMラジオ

カセット一体
AM/FMラジオ



音量調整のしかた

音量



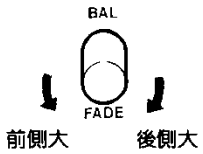
左右音量はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

前後音量はツマミをさらに手前に引いて調整します。

左右音量



前後音量



音質調整のしかた

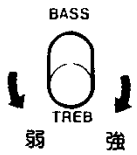
低音はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

高音はツマミをさらに手前に引いて調整します。

低音



高音



無断複製禁止

ラジオを聞くには

ラジオを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 AMまたはFM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。

3 チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと受信されます。

選局をするには

自動選局をするには

チューニングボタンをピッという音がするまで押し続けます。

●高い方へ選局するときは∧側

●低い方へ選局するときは∨側

もう一度押すと解除されます。



受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

手動選局をするには

チューニングボタンを押します。

●高い方へ選局するときは∧側

●低い方へ選局するときは∨側

放送局を記憶させるには

プリセットボタン1～6に希望の放送局を記憶させることができます。

1 チューニングボタンで記憶させたい放送局にあわせます。

2 プリセットボタンをピッという音がするまで押し続けます。



●プリセットボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

●バッテリーとの接続が断たれたときは、記憶は消去されます。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

交通情報を聞くには

交通情報ボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



新車時には1620KHzにセットしてあります。

セットするには

1 チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。

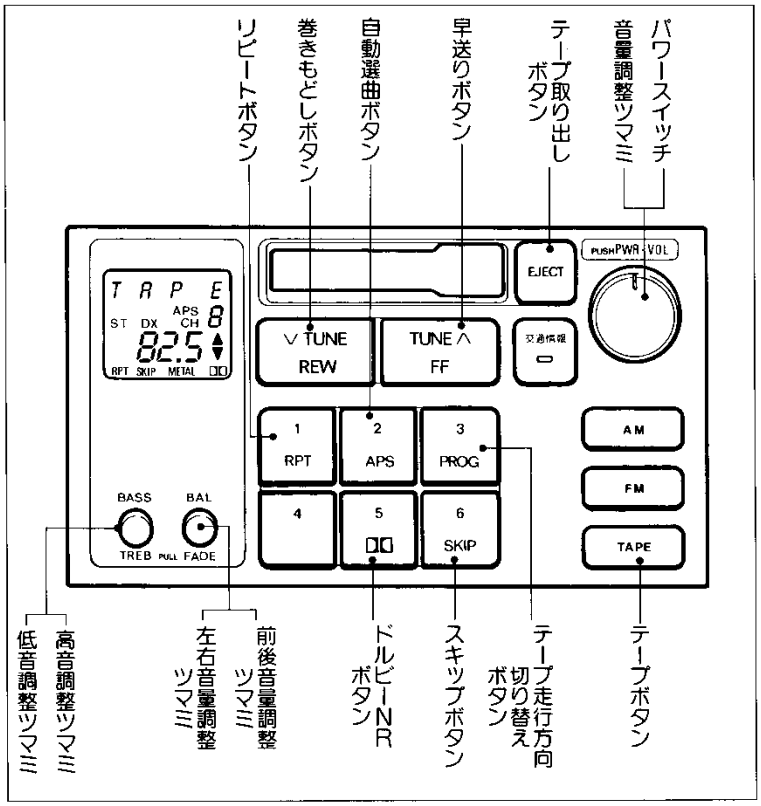
2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けます。



バッテリーとの接続が断たれたときは、1620KHzになります。

無断複製禁止

テープを聞くには

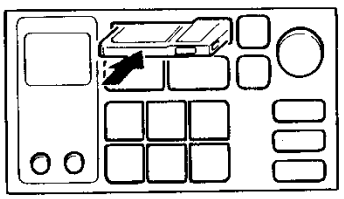


テープを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。

テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。



テープをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと再生されます。

テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。

テープが自動的に押し出されます。

ドルビーNRボタンについて

ドルビー*(B)NRで録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 DD は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

無断複製禁止

テープの走行方向をかえるには

テープ走行方向切り替えボタンを押します。

早送り、巻きもどしをするには

早送りがしたいときは早送りボタンを、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタンを押します。

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには(自動選曲)

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

1 頭出しをしたい曲までの曲数だけ(3曲目の場合は3回)自動選曲ボタンを押します。

巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。



2 早送りするときは早送りボタンを、巻きもどすときは巻きもどしボタンを押します。

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

スキップボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

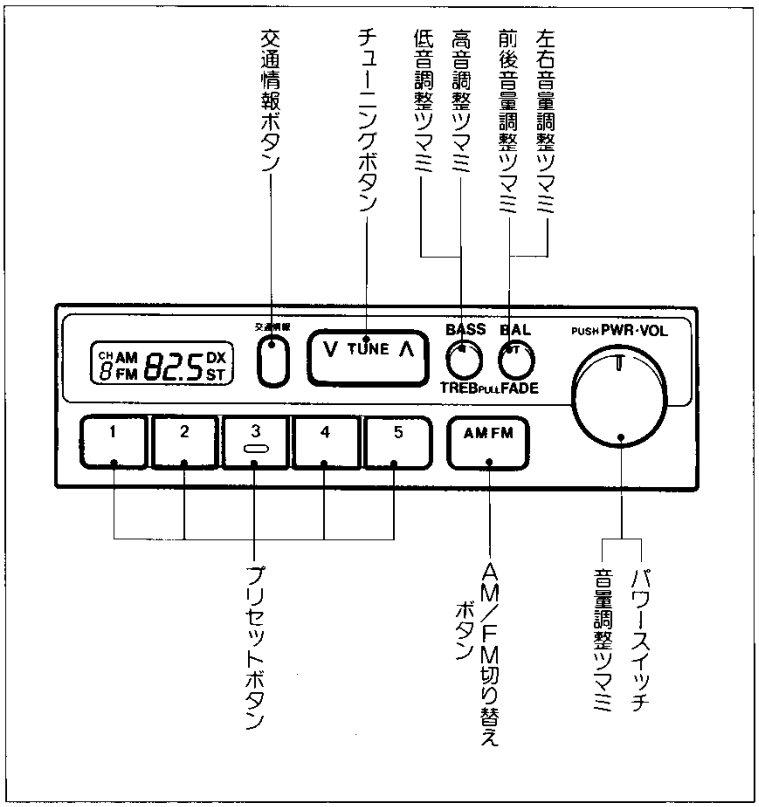


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の始めと終わりが明確でないとき

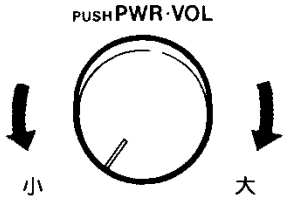
無断複製禁止

AM/FMラジオ



音量調整のしかた

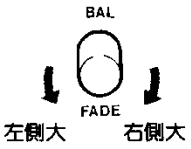
音量



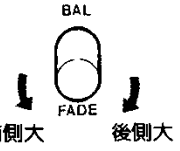
左右音量はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

前後音量はツマミをさらに手前に引いて調整します。

左右音量



前後音量

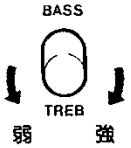


音質調整のしかた

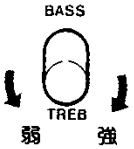
低音はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

高音はツマミをさらに手前に引いて調整します。

低音



高音



無断複製禁止

ラジオを聞くには

ラジオを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 パワースイッチを押します。
もう一度押すと電源は切れます。

3 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。

4 チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

選局をするには

自動選局をするには

チューニングボタンをピッという音がするまで押し続けます。
●高い方へ選局するときは∧側
●低い方へ選局するときは∨側
もう一度押すと解除されます。


受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

手動選局をするには

チューニングボタンを押します。
●高い方へ選局するときは∧側
●低い方へ選局するときは∨側

放送局を記憶させるには

プリセットボタン1～5に希望の放送局を記憶させることができます。

1 チューニングボタンで記憶させたい放送局にあわせます。

2 プリセットボタンをピッという音がするまで押し続けます。


●プリセットボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。
●バッテリーとの接続が断たれたときは、記憶は消去されます。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

交通情報を聞くには

交通情報ボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。


新車時には1620KHzにセットしてあります。

セットするには

1 チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。

2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けます。

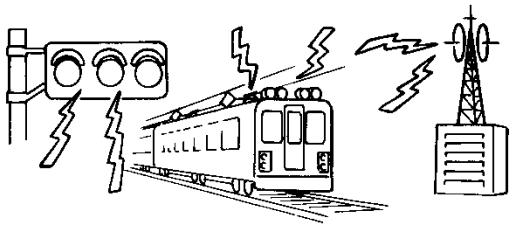

バッテリーとの接続が断たれたときは、1620KHzになります。

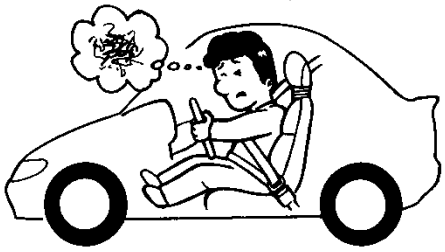
無断複製禁止

オーディオの上手な使い方

安全運転をさまたげないように
適度な音量でお聞きください。

ラジオ

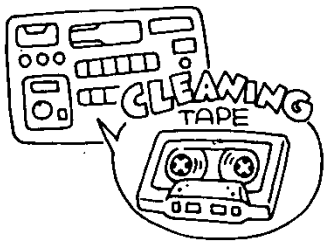




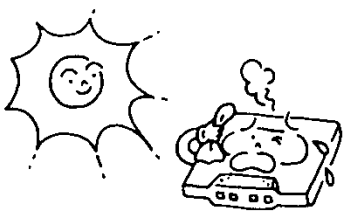
●ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

カセット

●ヘッド周辺部（ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー）はよごれやすいので１カ月に１回程度はクリーニングテープでクリーニングしてください。



●カセットテープは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。



●120分テープは、使用しないでください。テープが非常に薄いためカセットデッキに巻き込むおそれがあります。



●カセットテープのラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるカセットテープを使用すると、回転不良やカセットテープを取り出せなくなる場合があります。



無断複製禁止

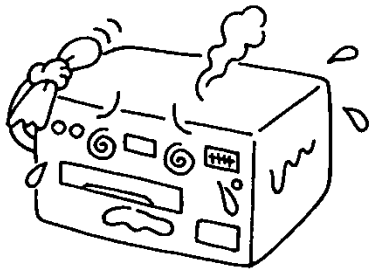
CD

●このプレーヤーは、下のマークのついたCD以外は使用できません。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

●8cmCDを使用するときは、アダプターを使用しないでください。

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露(水滴)が生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



●悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

●CDは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。



●CDをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。そりの原因になります。

アンテナについて

埋め込み式

リヤウインドゥガラスに埋め込まれています。

電動式

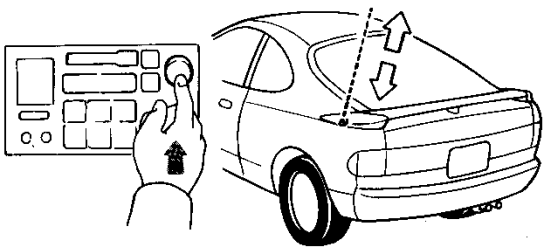
GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-Rに標準装備

Z-R、S-Rに注文装備

ラジオの電源がはいると上昇し、電源が切れると下降収納されます。



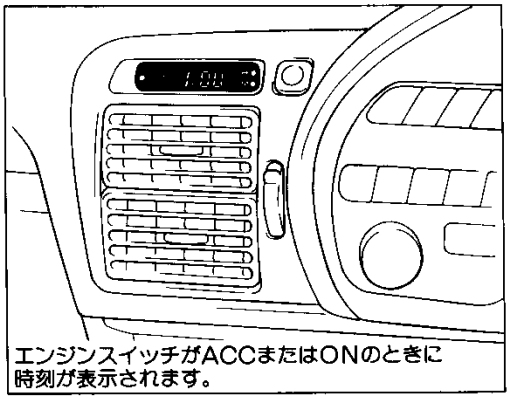
ラジオの電源をいれるときやエンジンをかけるときは、アンテナ周囲の安全を確認してから行ってください。



無断複製禁止

室内装備の使い方

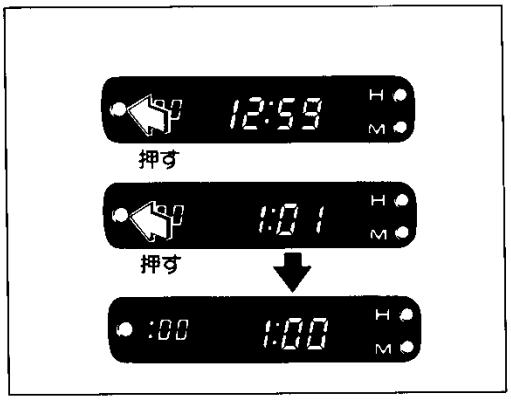
時計……84
シガレットライター……85
灰皿……85
エンジンキー照明……86
室内灯……86
マップランプ……86
グローブボックス(小物入れ)……87
フタ付きコンソールボックス(小物入れ)……87
カップホルダー……87
サンバイザー(日よけ)……88
バニティーミラー(化粧ミラー)……88
パッケージトレイ……89



エンジンスイッチがACCまたはONのときに
時刻が表示されます。

時計

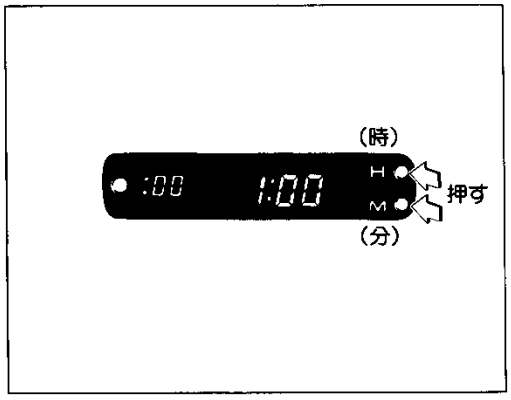
1.エンジンスイッチをLOCKの位置にすると、表示は消えますが時計はそのまま作動します。
2.車幅灯が点灯すると減光して表示されます。



▶時報にあわせるとき

:00 ボタンを押すと同時に、時刻は下記のように修正されスタートします。

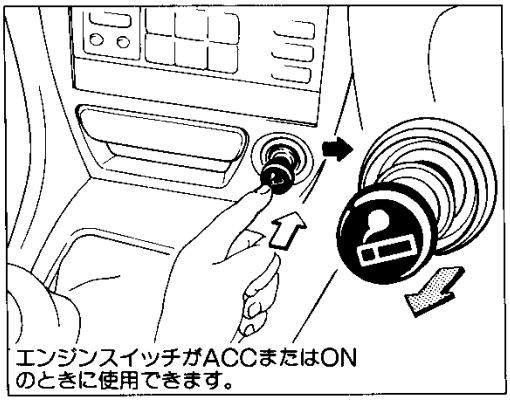
- 0～29分は切り下げて表示されます。
- 30～59分は切り上げて表示されます。



▶"時" "分" 調整

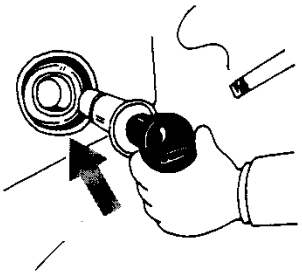
Hボタンを押すと"時"表示、Mボタンを押すと"分"表示が早送りされます。

無断複製禁止



シガレットライター

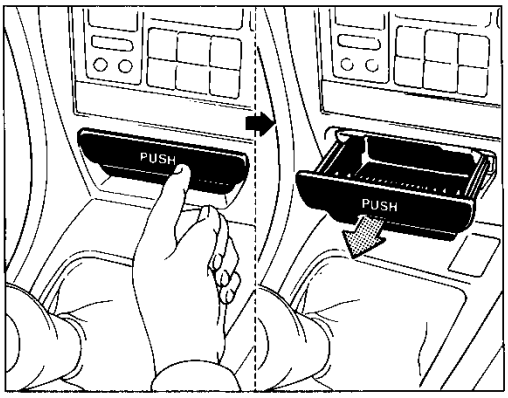
1.ツマミを押し込んだらすぐ手を離し、とび出すまで待ちます。
2.使用後、ソケットに確実に差し込みます。

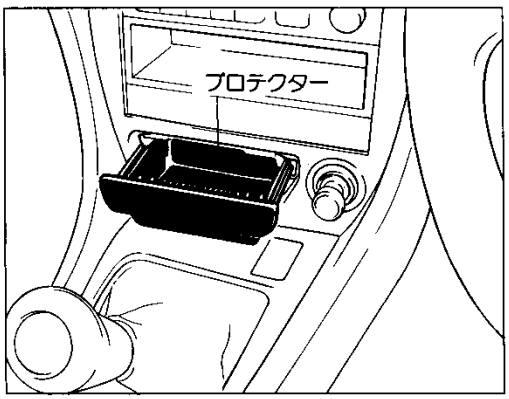


注意！

1.シガレットライターが過熱し、非常に危険なことがありますので次のことを厳守してください。
- ●押さえつけたままにしない。
- ●他車のシガレットライターをソケットに差し込まない。

2.ソケットからは、湯わかし器など、トヨタ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。





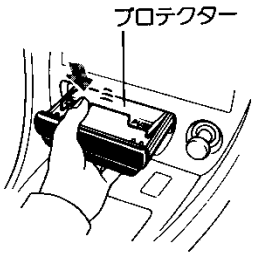
灰皿

■フロント側

▶PUSH式

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R

1.使用するときは、フタを押します。
2.掃除をするときは、プロテクターを下へ押したまま、ゆっくり引き出します。

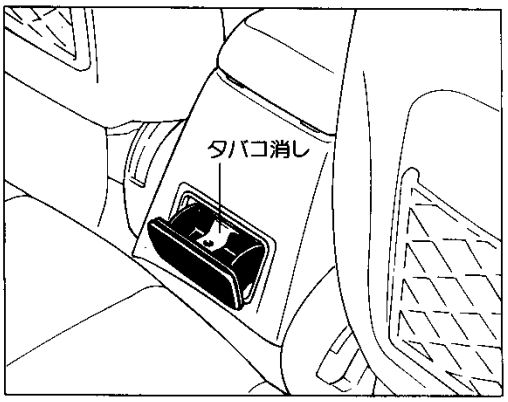


▶引き出し式

GT-FOUR(ラリーパック、Vパック)、S-R

掃除をするときは、灰皿を水平に引き出しプロテクターを下へ押したまま、ゆっくり引き出します。

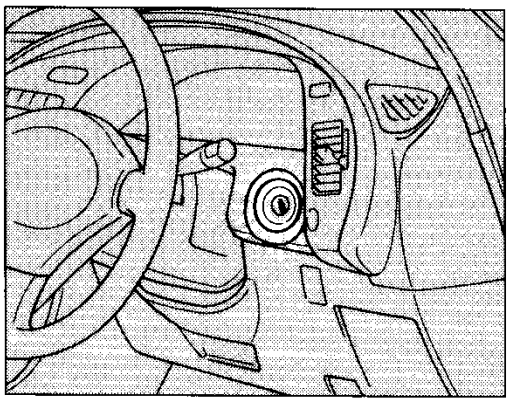
無断複製禁止



■リヤ側

掃除をするときは、タバコ消しを押さえたまま手前に引くと取りはずせます。

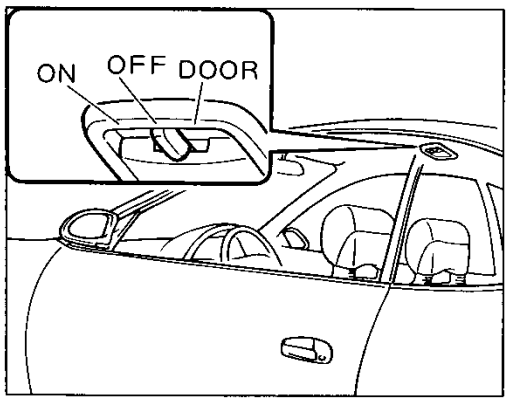
注意！
1. マッチ、タバコなどの火は消してから灰皿の中にいれてください。
2. 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものをいれないでください。
3. 使用後は確実に閉めてください。開けたままにするとタバコの火が他の吸いがらに燃えひろがり火災になるおそれがあります。



エンジンキー照明

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R

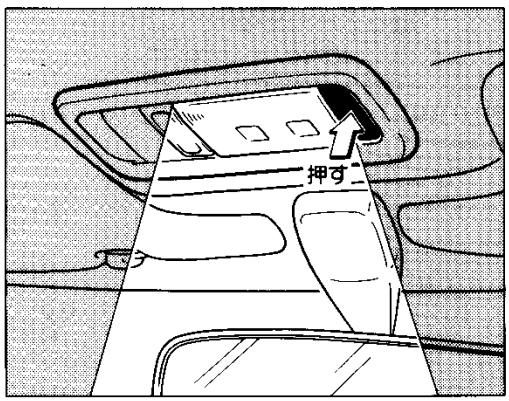
ドアを開けると同時に、エンジンキー照明が点灯します。
ただし、ドアを閉じてから約5秒後に消灯します。



室内灯

ON ……ドアの開閉に関係なく点灯します。
OFF ……ドアの開閉に関係なく消灯します。
DOOR ……ドアを開けたとき点灯し、閉じると消灯します。

ちょっと一言
エンジン停止時、室内灯を長時間点灯したままにしておくとバッテリーあがりを起こすおそれがあります。

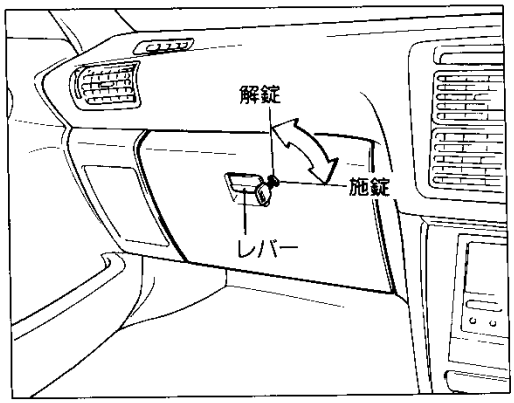


マップランプ

サンルーフ付き車

スイッチを押すとランプが点灯し、もう一度押すと消灯します。

無断複製禁止



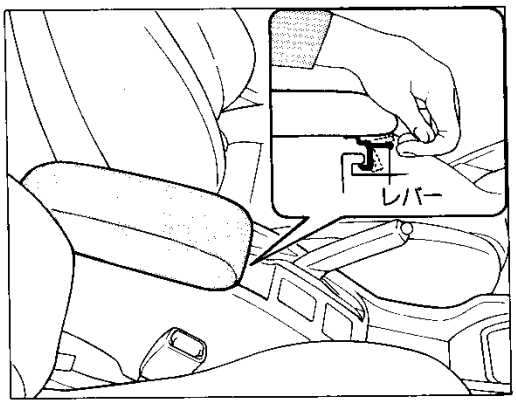
グローブボックス(小物入れ)

1.レバーを引くと開きます。
2.キーを差し込んで右へ回し、キーを抜くと施錠できます。サブキーは使用できません。

注意！ グローブボックスを開けたまま走行すると危険です。必ず閉めてください。

▶グローブボックスランプ

車幅灯が点灯しているときに、フタを開けるとグローブボックス内のランプが点灯します。



フタ付きコンソールボックス(小物入れ)

レバーを引くとフタを開けることができます。

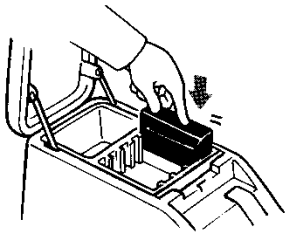
カセットケース付き車、CDケース付き車

▶ケースの収納のしかた

ケースをカチッという音がするところまで差し込みます。

▶取り出し方

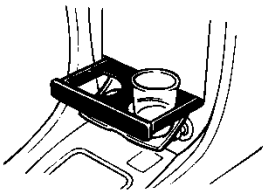
ケースを押すと、取り出せます。

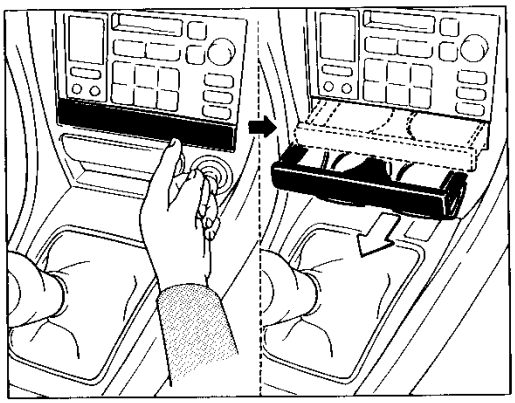


カップホルダー

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R

使用するときはフタを押し、引き出します。

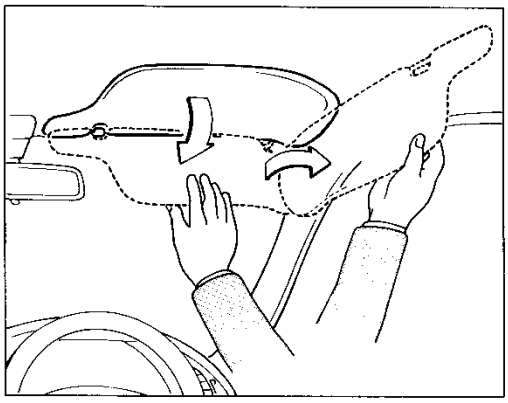






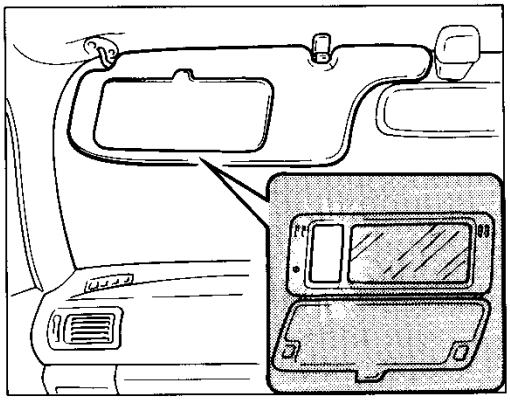
使用しないときは収納しておいてください。

無断複製禁止



サンバイザー(日よけ)

直射日光などでまぶしいときに使用します。フックからはずせば、側面に回すこともできます。



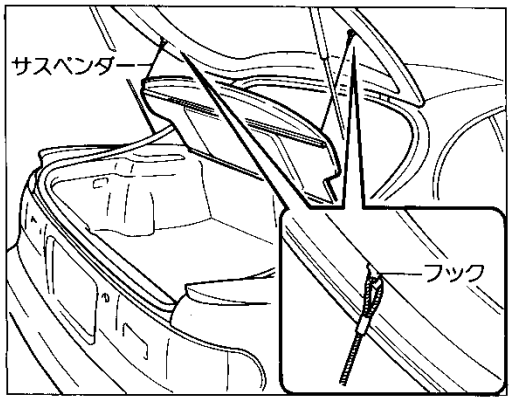
バニティーミラー(化粧ミラー)

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R、サンルーフ付き車

1.助手席サンバイザーの裏面についています。使用しないときは閉じておいてください。

2.ミラーのフタを開けるとランプが点灯します。

無断複製禁止



パッケージトレイ

GT-FOUR(ラリーパックを除く)、GT-R、Z-R、S-R

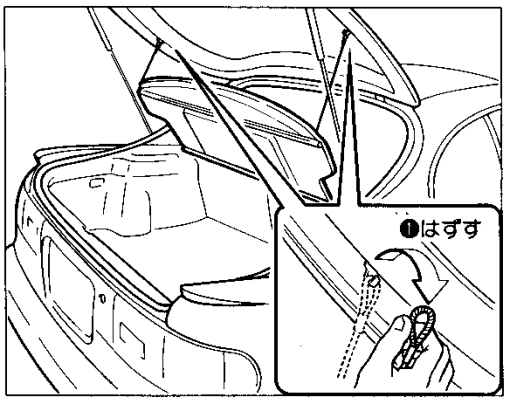
サスペンダーがバックドアのフックにかけてあると、バックドア開閉時にパッケージトレイが連動します。

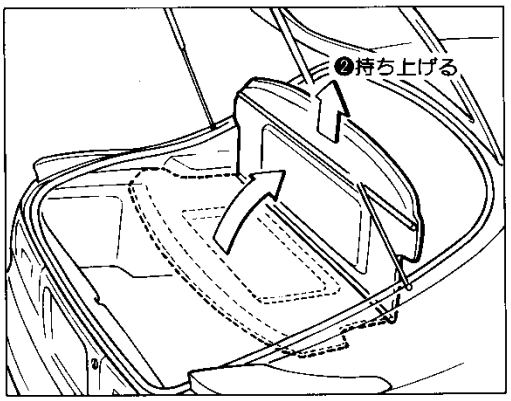


1.パッケージトレイの上には重い物を置かないでください。
2.パッケージトレイの下に大きな荷物を積んだときは、バックドアを閉じる前に、パッケージトレイと荷物が当たらないことを確かめてください。

■格納のしかた

❶バックドアのフックから左右のサスペンダーをはずします。

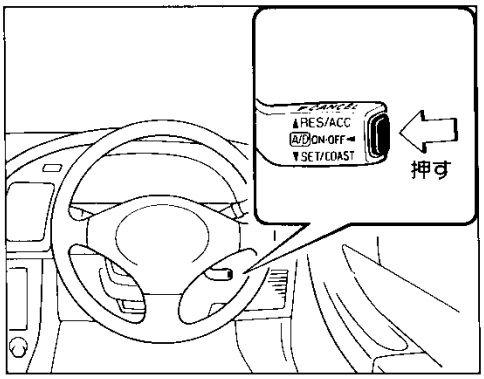


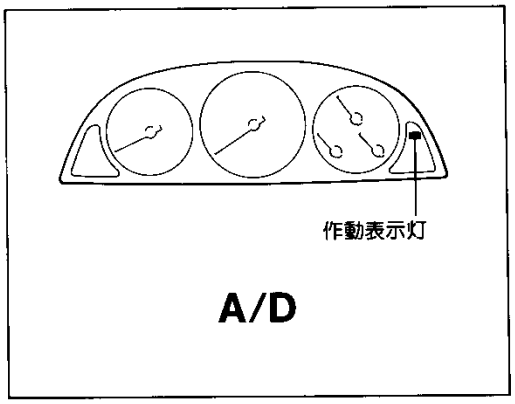


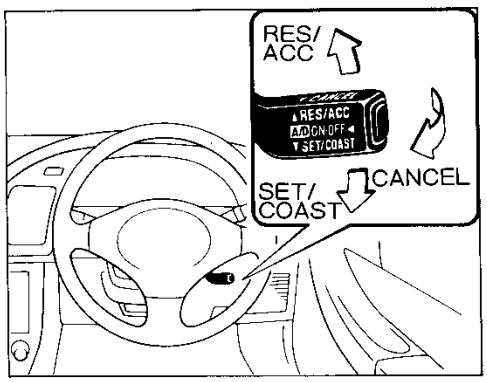
❷トレイのうしろ側を持ち上げ、引き抜くと取りはずせます。
❸はずしたトレイは、デッキルーム床面に置きます。

無断複製禁止

オートドライブ(自動定速走行装置)……90
チルト & スライド電動サンルーフ……93
電子制御サスペンション(TEMS)……96
ABS……97
4輪操舵システム(4WS)……98
SRSエアバッグ(乗員保護補助装置)……100







オートドライブ(自動定速走行装置)

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-Rに注文装備

オートドライブは、アクセルペダルを踏まなくても約40～100km/hの任意の速度で車速を一定に保つことができる装置です。

■メインスイッチ

1. メインスイッチを押すとONになり、作動表示灯が点灯して作動待機状態になります。
2. もう一度押すと作動表示灯が消灯し、作動は停止します。



ちょっと一言

エンジンを停止すると自動的にオートドライブはOFFになります。
オートドライブを使用するときは、もう一度メインスイッチを押してください。

■コントロールスイッチ

ACC ……オートドライブ走行速度を増速できます。
RES ……一度オートドライブを解除したとき、車速が約40km/h以上であれば解除前の設定速度に復帰させることができます。
SET ……オートドライブをセットするときに使用します。
COAST……オートドライブ走行速度を減速できます。
CANCEL…オートドライブを解除できます。

無断複製禁止

希望速度にセットするとき

操作手順		
1	メインスイッチをONにする	
2	希望速度まで加速する。	
3	コントロールスイッチをSET側に下げる	
4	コントロールスイッチから手を離す	

※約40～100km/hの範囲内で使用できます。


注意！

1.オートドライブ走行時、急な上り坂になると走行車速は設定車速より低下することがあります。
2.急な下り坂になると走行車速は設定車速より超過することがあります。
マニュアル(ギヤ式)トランスミッション車の場合には5速を4速に、オートマチックトランスミッション車の場合にはオーバードライブスイッチをOFFにするなどして、エンジンブレーキを併用してください。

オートドライブ走行中に増速したいとき

▶設定速度を増速したいとき

●コントロールスイッチで

操作手順		
1	ACC側に上げ続ける	
2	希望速度になったらコントロールスイッチから手を離す	

急な坂道では、ACC側に上げても増速できないことがあります。増速できないときは、アクセルペダルを使ってください。


ちょっと一言

オートマチックトランスミッション車の場合は、1の操作をしたときに自動的にオーバードライブが解除され、増速が終了すれば再びオーバードライブ走行となります。

●アクセルペダルで

操作手順		
1	アクセルペダルを踏み込み、希望車速まで加速する	
2	コントロールスイッチをSET側に下げる	

※約100km/h以上では作動しません。

▶一時的に増速したいときは

1.アクセルペダルを踏み込みます。
2.アクセルペダルを離せば、設定速度まで自動的にもどり、その後定速走行を維持します。

無断複製禁止

オートドライブ走行中に減速したいとき

▶設定速度を減速したいとき

●コントロールスイッチで

操作手順		
1	COAST側に下げ続ける	
2	希望速度になったらコントロールスイッチから手を離す	

●ブレーキペダルで

操作手順		
1	ブレーキペダルを踏み、希望車速まで減速する	
2	コントロールスイッチをSET側に下げる	

※約40km/h以下ではセットできません。

オートドライブ状態を解除するとき

コントロールスイッチをCANCEL側に引くか、メインスイッチをOFFにします。また次の場合は自動的に解除されます。



①ブレーキペダルを踏んだとき
②クラッチペダルを踏んだとき
〈マニュアル（ギヤ式）トランスミッション車〉
③車速が約40km/h以下になったとき
④急な上り坂などで、セットしたときの車速より約16km/h以上速度が低下したとき
⑤ブレーキ警告灯が点灯したとき

解除前の設定速度にもどしたいとき

前記の①、②、④、⑤の方法およびコントロールスイッチでの解除操作で一度オートドライブが解除されても、車速が約40km/h以上であればコントロールスイッチをRES側に上げることにより、解除される前の設定速度まで自動的にもどり、その後定速走行を維持します。なお、一度車速が約40km/h以下になるとコントロールスイッチを操作しても解除前の設定車速にはもどりません。

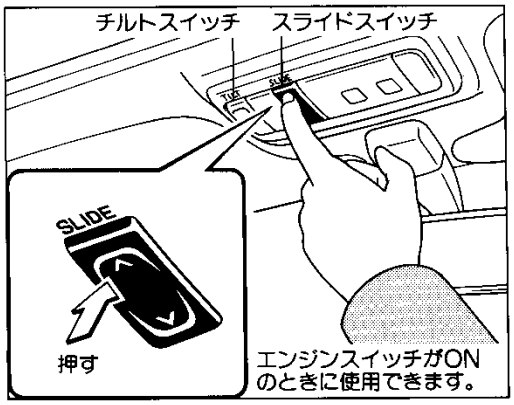

ちょっと一言

走行中作動表示灯が点滅した場合は装置の異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。


注意！

1. オートドライブを使用しないときは、メインスイッチをOFFにしておいてください。
2. マニュアル（ギヤ式）トランスミッション車の場合、オートドライブ走行中クラッチペダルを踏まずにチェンジレバーをⓃの位置にしないでください。
3. 下記のような道路状況では、オートドライブは使用しないでください。
   - ●交通量の多い道路
   - ●急な下り坂
   - ●急カーブ
   - ●凍結路
   - ●積雪路
   - ●その他すべりやすい路面

無断複製禁止



チルト & スライド電動サンルーフ

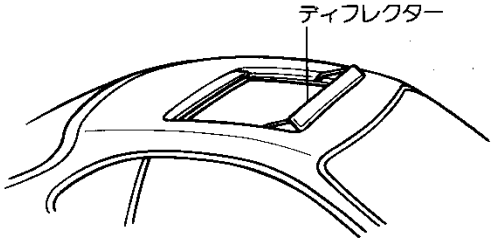
GT-FOUR(ラリーパックを除く)、GT-R、Z-R、S-Rに注文装備

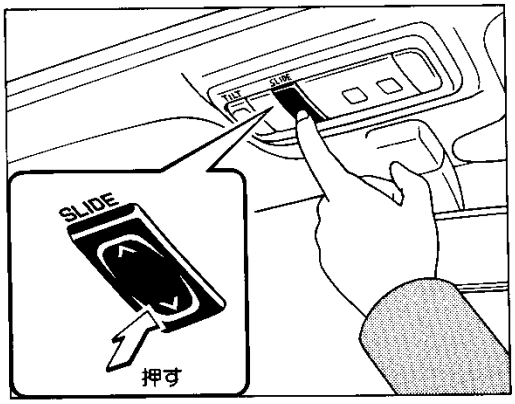
サンルーフの開閉およびチルトアップ（サンルーフ後端を上げること）ができます。

注意！ 開閉およびチルト操作時に、手や首などをはさまないように注意してください。とくにお子さまにはご注意ください。

■開け方

1.スライドスイッチのうしろ側を押します。
2.スライドスイッチから手を離すと停止します。
3.サンルーフを開けると室内への風の巻き込みを防ぐディフレクター（整流板）が自動的に上がります。

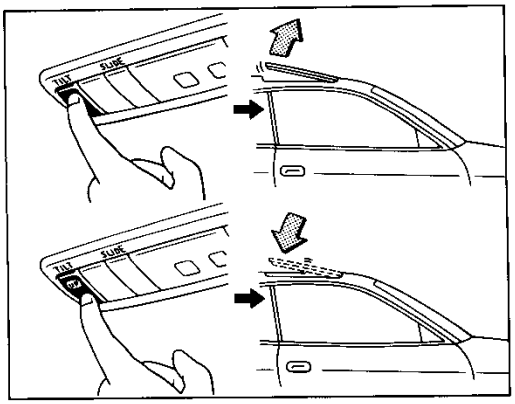




■閉じ方

1.スライドスイッチの前側を押します。
2.スライドスイッチから手を離すと停止します。

ちょっと一言 スイッチを押し続けていても、全閉状態の約200mm手前でセイフティ機構が働き、サンルーフの作動は停止します。
スイッチから手を離し、再度スイッチを押すと完全に閉まります。



■チルトアップのしかた——換気効果

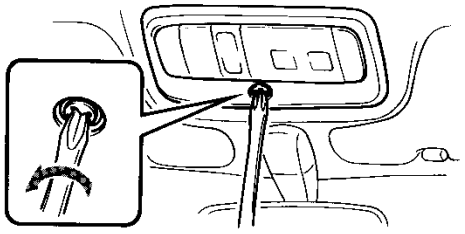
1.チルトスイッチのうしろ側を押すと、ルーフ後端が約40mm開口し、室内の換気が行えます。
2.チルトスイッチの前側を押すと閉じます。

無断複製禁止

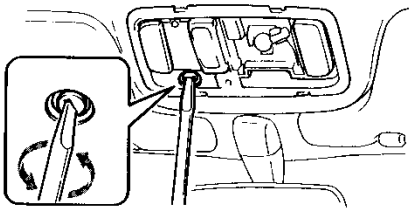
▶スイッチを押しても作動しないとき

工具袋から⊕ドライバーとL字形のサンルーフ用⊖ドライバーを準備します。

1.スイッチのカバーを⊕ドライバーで取りはずします。

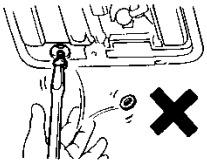


2.駆動軸下部のネジをサンルーフ用⊖ドライバーで取りはずします。



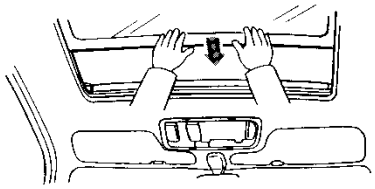


ネジを取りはずすときに、ワッシャーおよびシムを紛失しないようにネジがゆるんできたら指を使って取りはずすようにしてください。

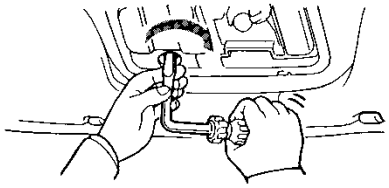


全閉させるとき

1.手でサンルーフを全閉近くまで動かします。

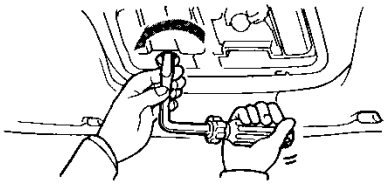


2.サンルーフ用⊖ドライバーで駆動軸を右に回して完全に閉じます。



チルトダウンさせるとき

サンルーフ用⊖ドライバーで駆動軸を左に回して閉じます。





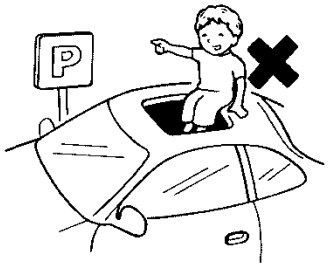
駆動軸を回しすぎると、チルトアップしたり、サンルーフが開きます。この場合は、反対方向に回して完全に閉じてください。

無断複製禁止

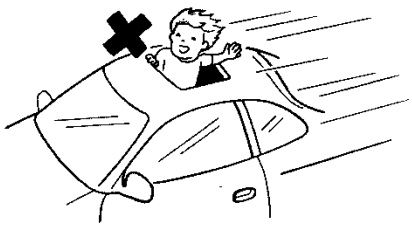
注意!

1. サンルーフが全開、全閉したら、すぐにスイッチから手を離してください。押し続けると故障の原因になります。

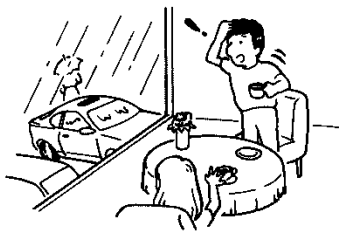
2. 開口部に腰かけないでください。



3. 走行中は危険ですから、頭や手を出さないでください。



4. 車から離れるときや洗車時には、完全に閉じていることを確認してください。



5. 開口部から荷物がはみ出さないようにしてください。



無断複製禁止

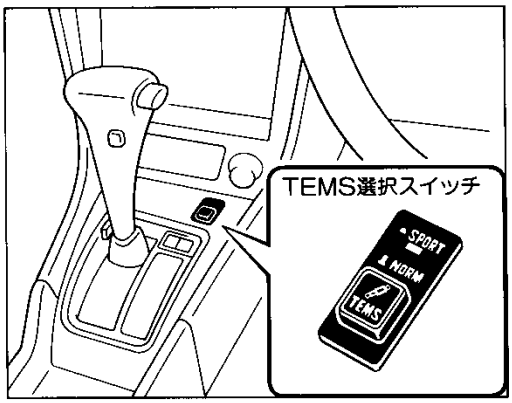
電子制御サスペンション(TEMS)

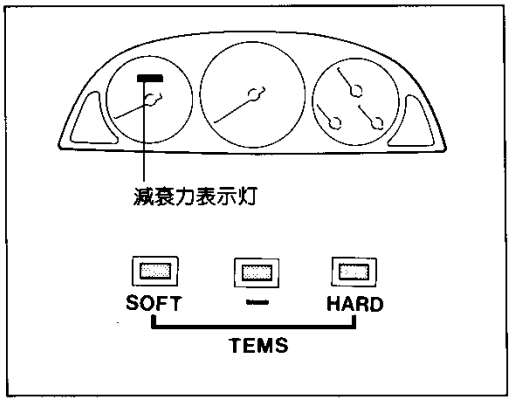
GT-R、Z-Rに注文装備

運転条件に応じてショックアブソーバーの減衰力を3段階（やわらかめ↔中間↔硬め）に選択できる機能を持たせ、操縦安定性、乗りごこちの向上をはかったものです。

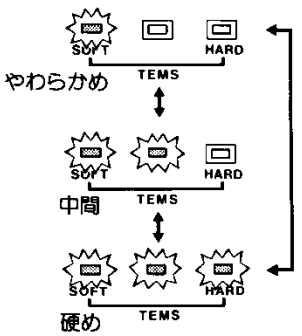
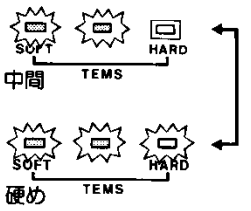
■使い方

選択スイッチでショックアブソーバーの減衰力を、ノーマルオート(NORMAL)、スポーツオート(SPORT)に選択できます。選択方法は次の〈減衰力パターンの目安〉を参照してください。





〈減衰力パターン選択の目安〉

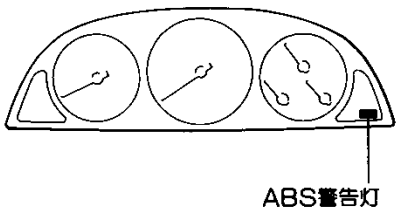
減衰力パターン	選択スイッチ	減衰力表示灯※	使　用　状　態
ノーマルオート (NORMAL)			**1.通常走行時はこの位置で使用します。** 2.下記のように運転条件に応じて自動的に減衰力が切り替わります。 ●通常走行時にはやわらかめの減衰力になり快適な走行が行えます。 ●高速走行時には中間の減衰力になり操縦安定性をより向上させます。 ●カーブ走行時や急発進時および高速からのブレーキ時には、硬めの減衰力になり車両姿勢の変化を少なくし、操縦安定性をより向上させます。
スポーツオート (SPORT)			1.スポーツ走行に適します。 2.下記のように運転条件に応じて自動的に減衰力が切り替わります。 ●通常走行および高速走行時には少し硬めの減衰力になり操縦安定性をより向上させます。 ●カーブ走行時や急発進時および高速からのブレーキ時には、硬めの減衰力になり車両姿勢の変化を少なくし、操縦安定性をより向上させます。

※走行状態に応じてショックアブソーバーの減衰力が切り替わるたびごとに、減衰力表示灯の点灯数がかわります。



システムに異常があった場合は、SOFTの減衰力表示灯が約30秒間点滅した後、表示灯はすべて消灯します。ただちに、トヨタ販売店で点検を受けてください。この場合、減衰力の切り替えはできません。

無断複製禁止



ABS

ABS

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)、GT-R、Z-R、S-Rに注文装備

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。
ABSはこの車輪のロックを自動的に防止し、車両の姿勢を安定させるとともにハンドルを効かせようとする装置です。

■ABS警告灯

1.正常なときは、エンジンスイッチをONにすると点灯し、約3秒後に消灯します。
2.点灯したままのときは装置の不具合が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
この場合、ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。



ABSが作動すると、作動音とともにブレーキペダルに脈動を感じることがありますがこれは異常ではありません。



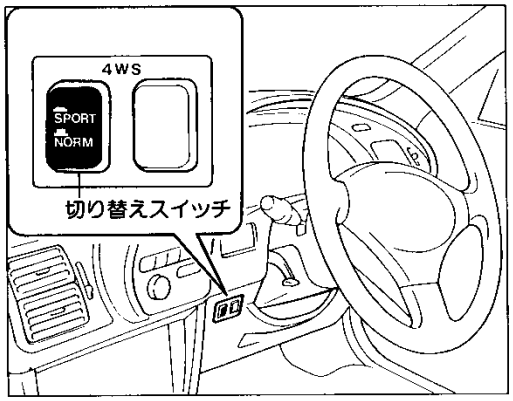
1.ABSは制動距離を短くすることをねらいとした装置ではありません。また、ABSが作動した状態でも車両姿勢の安定やハンドルの効き方には限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転を心がけてください。
2.悪路、ジャリ道、深い新雪などの路面では、ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることがありますので、速度をひかえめにし車間距離を十分とって運転してください。

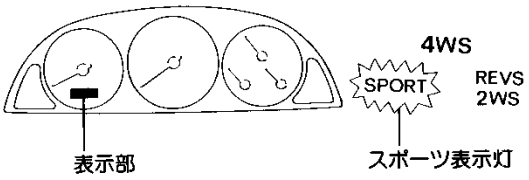
無断複製禁止

4輪操舵システム(4WS)

GT-R、Z-R、S-Rに装着車あり

4WSはハンドルの動きに応じて、前2輪に加え後2輪も操舵する装置です。



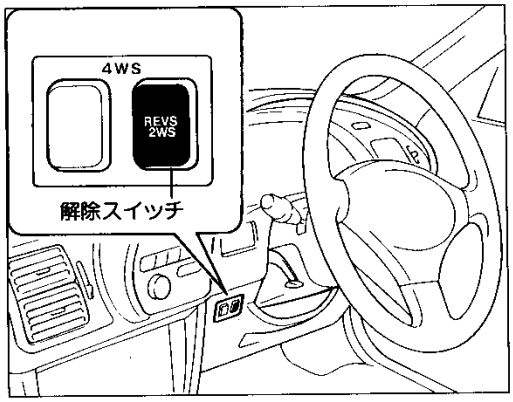


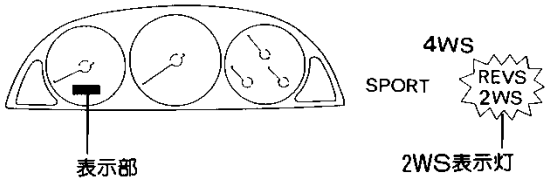
■切り替えスイッチ

スイッチを押すごとにNORM(ノーマル)とSPORT(スポーツ)に切り替わります。SPORTにすると表示灯が点灯します。
通常はNORMの状態で使用してください。

	スイッチの状態	表　示　灯
NORM (ノーマル)		SPORT 消灯
SPORT (スポーツ)		SPORT 点灯

ちょっと一言　スポーティーなハンドル特性を楽しみたいときはSPORTにしてください。





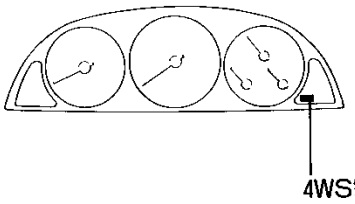
■解除スイッチ

チェンジレバーがⓇのとき、スイッチを押すごとに4WS(4輪操舵)と2WS(前輪操舵)に切り替わります。2WSにすると表示灯が点灯します。
通常は4WSの状態で使用してください。

	スイッチの状態	表　示　灯
4WS (4輪操舵)		REVS 2WS 消灯
2WS (前輪操舵)		REVS 2WS 点灯

ちょっと一言　縦列駐車や車庫入れなどの後退時、4WSの状態で車両の出し入れがしにくいときは2WSにしてください。

無断複製禁止



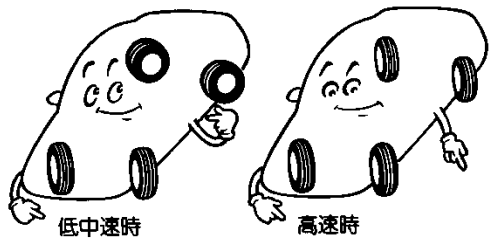
■4WS警告灯

エンジンスイッチをONにすると約2秒間点灯し、消灯するのが正常です。
4WS走行中、システムに異常があると点灯します。

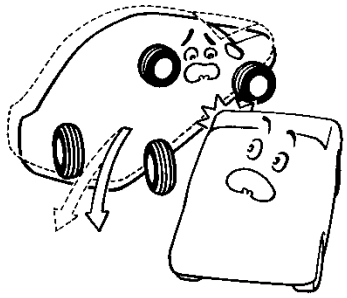
> 処置 次のような場合は、システムの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。
> ●エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
> ●走行中に点灯したとき

運転上の注意

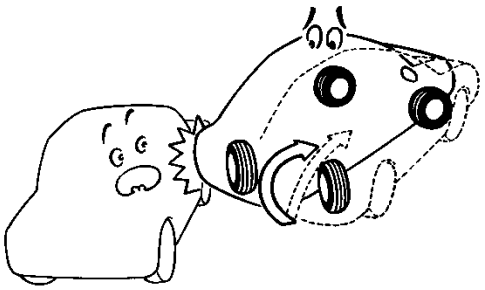
●4WSは、ハンドルを操作すると車速に応じて後輪の向きもかわります。
- ●低中速時は前輪と逆方向
- ●高速時は前輪と同方向



●このため、低中速時の後輪は前輪操舵車にくらべ外側を通り、旋回半径も小さくなります。次のようなときは、十分注意してください。
- ●車庫入れ、縦列駐車時の車体内側



- ●駐車場所から出るときの車体後部



●4WS車といっても万能車ではありません。ハンドル操作は一般の車と同様、慎重に行ってください。

●前輪を持ち上げてけん引するときは、ハンドルを直進状態に固定してください。

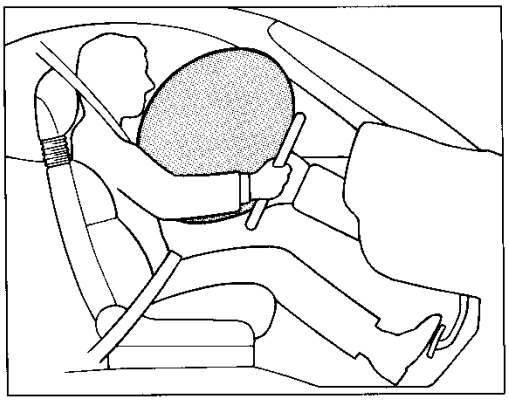
無断複製禁止

SRSエアバッグ（乗員保護補助装置）

GT-Rに注文装備

エアバッグはシートベルトの補助装置で、車両前方から強い衝撃を受けたとき運転者の顔面への衝撃をやわらげます。
シートベルトは必ず装着してください。
運転者の方が操作するスイッチはありません。

●エアバッグは、車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。

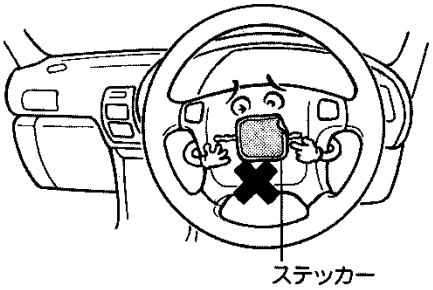


横や後部からの衝撃に対しては、作動しないことがあります。

●エアバッグは一度ふくらむと再使用できません。
必ずトヨタ販売店で交換してください。



●エアバッグの効果を十分に発揮させるため、次の項目を必ず守ってください。
- シートを正しい位置に調整する。
- シートベルトを装着する。
- パッド部にステッカーを貼ったり、
- カバーをつけない。



●ハンドルまわりに用品を取りつけるときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
●ハンドルの取りはずしや他の車両への取りつけは絶対にしないでください。

無断複製禁止

Check Point

走行について

オンロード専用車です。無理な運転は禁物です。

フルタイム4WDといっても万能車ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転に心がけてください。

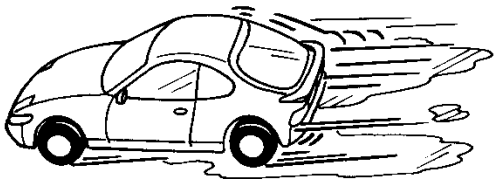
■オフロード走行やラリー走行を目的とした車ではありません。



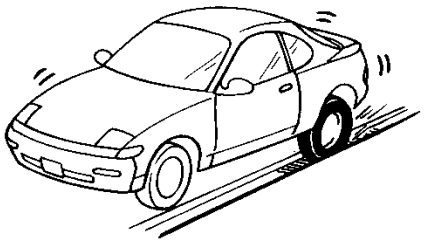
■渡河などの水中走行はしないでください。



■すべりやすい路面での走行は慎重に。



■脱輪などにより、後輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。



無断複製禁止

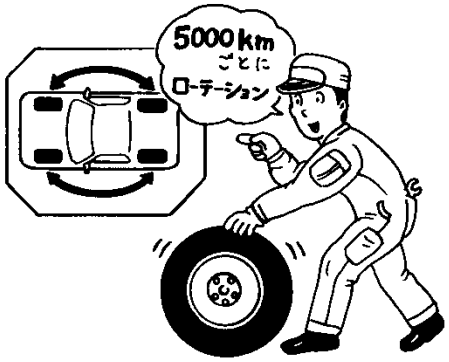
タイヤについて

4WDだからこそ、タイヤの状態には細心の注意を。

フルタイム4WDは、４つのタイヤに常に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。
タイヤのチェックは忘れずに行ってください。

■タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。

タイヤ間での摩耗差があると車の性能が十分に発揮できません。

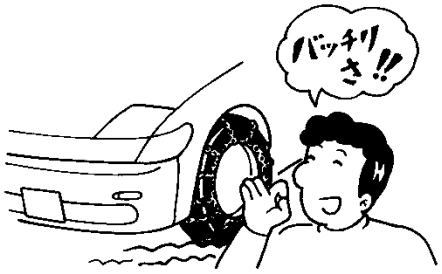


■４輪とも指定サイズで、同一サイズ・同一種類のタイヤを装着してください。

タイヤやディスクホイールを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。



■タイヤチェーンは必ず前輪につけてください。



■タイヤの空気圧の点検も定期的に行ってください。

無断複製禁止

GT-FOURは、走行状態に応じてセンターデフの差動を自動的に制限するため、フルタイム4WDだからといって特別な操作はいりませんが、けん引してもらうときは次の事項を必ず守ってください。

けん引してもらうときは

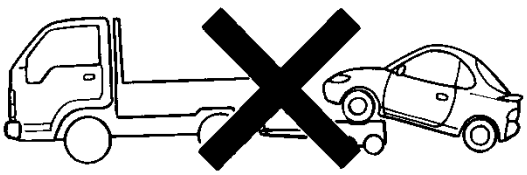
「けん引するときは…」もあわせてお読みください。

駆動系の故障も考えられますので、まずトヨタ販売店へご連絡ください。

■トランスアクスル内部に異常があり故障したと思われるときは必ず4輪を持ち上げてけん引してください。

■前輪または後輪を持ち上げてけん引してもらうときは

持ち上げたタイヤを固定したけん引はしないでください。



無断複製禁止

工具とジャッキ……104
パンクしたときは……105
万一のときの処置……109
こんな故障の応急処置は……111

工具とジャッキ

それぞれの格納場所、工具の種類、ジャッキの使い方などを確かめておきましょう。

■工具

※1：4WS車　※2：4WS車を除く

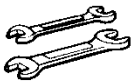
デッキルーム右のカバー内に格納されています。


プライヤー

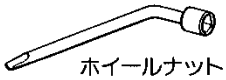

⊕⊖差し替え式ドライバー



工具袋


スパナ


⊖ドライバー（サンルーフ付き車）

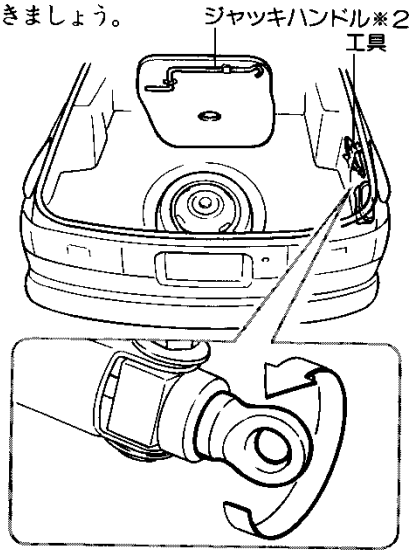

ホイールナットレンチ※2


輪止め


ホイールキャップレンチ※1

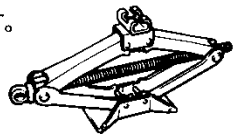

ジャッキハンドルバー※1


ホイールナットレンチ※1（兼ジャッキハンドル）



■ジャッキ

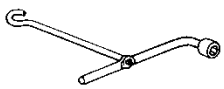
デッキルーム右のカバー内に格納されています。
上図のように回すと取り出せます。



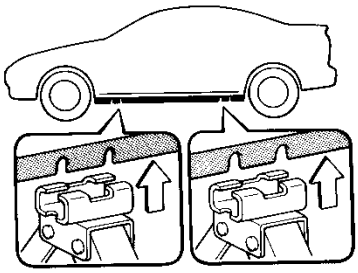
4WS車を除く



4WS車

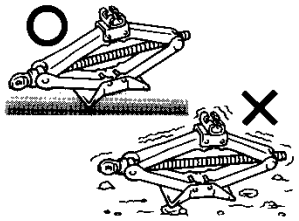


▶ジャッキをセットする位置



▶ジャッキのかけ方

1.ジャッキを地面の平らな固くて安定できるところにセットします。

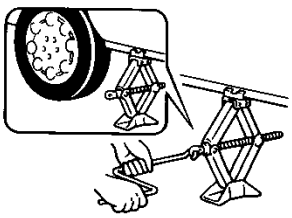



ちょっと一言

人や荷物を車からおろしてください。

2.ジャッキを手で回して、ジャッキセット位置まで上げます。

3.ジャッキが確実にジャッキセット位置にかかっていることを確認し、ジャッキハンドルを使用して、タイヤが地面から少し離れるまでジャッキアップします。




注意！

ジャッキアップしたら車の下には絶対もぐらないでください。万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

無断複製禁止

パンクしたときは ――①スペアタイヤ

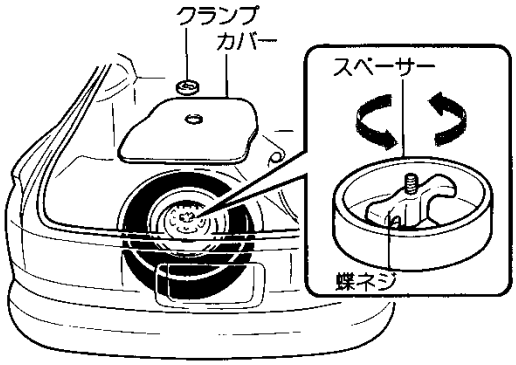

ちょっと一言

1.作業をするとき車体端部などでケガをしないように注意してください。
2.パンクした場合に、エアゾール製品の補修剤を使用したときは、早めにパンク修理してください。

■格納場所

デッキルームに格納されています。

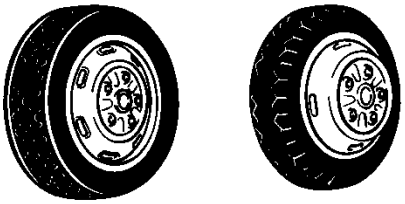
1.クランプを左に回してカバーを取りはずします。
2.蝶ネジを左に回してスペーサーを取りはずし、タイヤを取り出します。



■応急用タイヤ

タイヤがパンクしたとき、一時的に使用するタイヤです。

標準タイヤ　　応急用タイヤ



※応急用タイヤは図のように標準タイヤと異なり専用タイヤです。


ちょっと一言

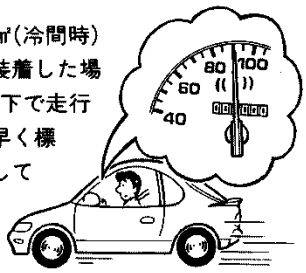
この応急用タイヤは標準タイヤより空気圧が高く、また直径がやや小さくできていますが走行上支障はありません。ご使用になる場合は、右の注意事項を必ずお守りください。



注意！

1.応急用タイヤの空気圧はときどき点検してください。
空気圧：4.2kg/㎠(冷間時)

2.応急用タイヤを装着した場合は、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。



3.雪道、凍結路では前輪に応急用タイヤを使用しないでください。(前輪がパンクした場合は、応急用タイヤを後輪に使用し、はずした後輪を前輪につけてください。)



4.応急用タイヤにタイヤチェーンを装着しないでください。前輪がパンクした場合は、応急用タイヤを後輪に使用し、はずした後輪を前輪につけてからタイヤチェーンを装着してください。



5.応急用タイヤを装着した場合、タイヤの直径が小さいため、車高が少し低くなります。突起物などをのりこえるときは標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。
6.この応急用タイヤとホイールはお客様のお車専用品です。他のタイヤやホイールと組みあわせたりお客様のお車以外の車に使用しないでください。



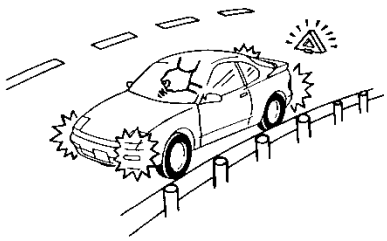
無断複製禁止

パンクしたときは ――②タイヤ交換

■準備

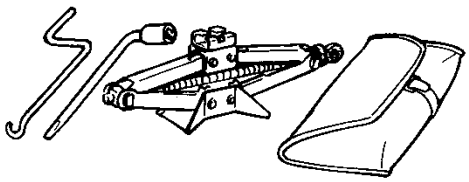
1.交通のじゃまにならず、安全に作業ができる平らな場所に車を止めます。

2.非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。

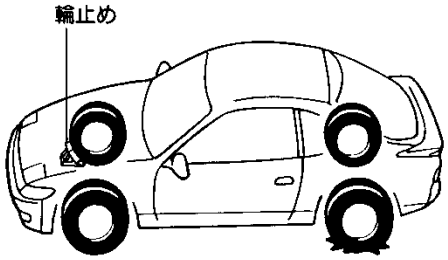


3.パーキング(駐車)ブレーキをかけます。

4.工具やジャッキを取り出します。



5.パンクしたタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止め（搭載工具に含まれています）をします。





前輪がパンクしたときは後輪のうしろ側、後輪がパンクしたときは前輪の前側に輪止めをしてください。

6.スペアタイヤを取り出します。⇨105ページの「**パンクしたときは――①スペアタイヤ**」を参照してください。

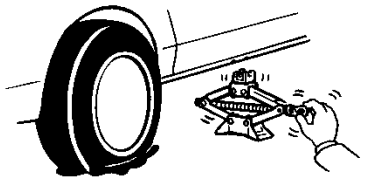
7.ホイールキャップ、ハーフキャップなどをはずします。

※ホイールキャップ装着車は108ページを参照してください。

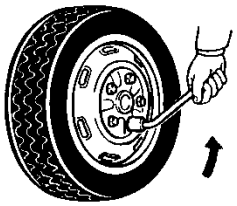
※アルミホイール装着車は108ページを参照してください。

■ジャッキアップ

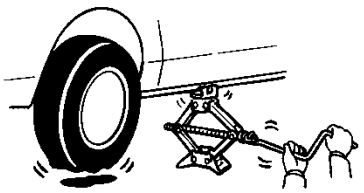
1.ジャッキをセットします。⇨104ページの「**ジャッキ**」を参照してください。



2.ホイールナットレンチでナットを左に回し、手で回るくらいまでゆるめます。

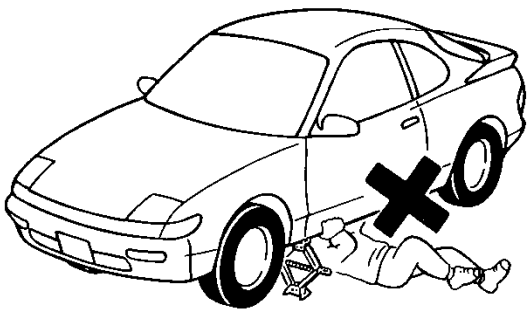


3.車を、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。





ジャッキアップしたら車の下には絶対もぐらないでください。
万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

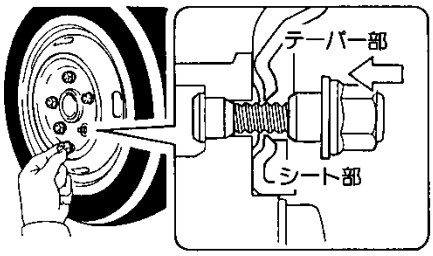


無断複製禁止

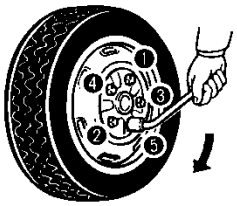
■タイヤ交換

1.ナットをはずし、タイヤを取り替えます。

2.ナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤがガタつかない程度までナットを右に回して仮締めします。



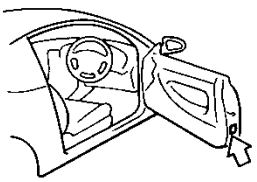
3.ジャッキを下げて図の順序で2～3度にわたり、レンチを使用して手で十分締めつけます。



注意！ レンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締めつけないでください。

4.フルホイールキャップ付き車は、タイヤのバルブ(空気口)にホイールキャップの穴をあわせて取りつけます。

5.取りつけたタイヤの空気圧を確認します。(運転席ドアに貼られている「タイヤ空気圧」の表を参照してください。

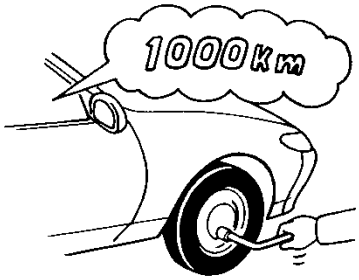


ちょっと一言 「タイヤ空気圧」表の中に示されているタイヤサイズは車種またはグレードにより装着できないものもあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

注意！
1.空気圧が不足している場合や調整ができないときは、ひかえめな速度で走行してください。
2.空気圧が低いまま走行を続けると、高速走行時にタイヤが疲労しバースト(破裂)するおそれがあります。チューブレスタイヤの場合は、タイヤとリムの密着が悪くなり、空気が漏れやすくなります。

6.工具、ジャッキ、タイヤを片づけます。
タイヤを格納するときは、確実に固定してください。

ちょっと一言
1.応急用タイヤは標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するタイヤです。パンクしたタイヤは、ただちに修理して、応急用タイヤとつけ替えてください。
2.タイヤを脱着したときは、タイヤを取りつけて、1,000km走行後、再度ホイールナットを締めつけてゆるみがないことを点検してください。



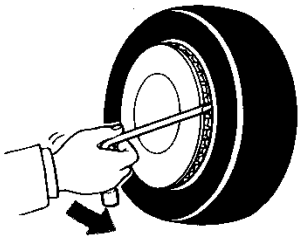
注意！
1.タイヤ交換後、走行中ハンドルや車体に振動が出た場合はタイヤのバランスの点検をトヨタ販売店で受けてください。
2.タイヤを新品と交換する場合は、トヨタ販売店で相談してください。
異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響をおよぼしますので、絶対にさけてください。
3.スペアタイヤの空気圧の点検は、日頃から怠らないようにしてください。

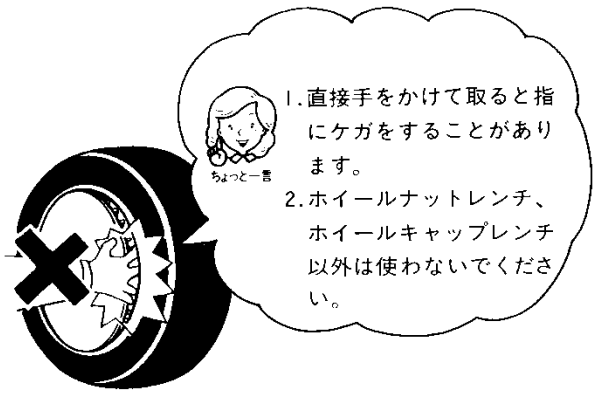
無断複製禁止

■ホイールの取り扱い方

▶ホイールキャップの取りはずし方

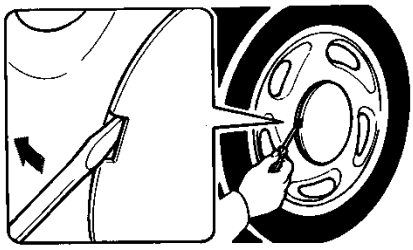
1. 4WSは、ホイールキャップレンチの先を差し込んでホイールとキャップの間にホイールナットレンチが十分にはいるまでタイヤ側にこじります。
2. ホイールナットレンチの先を差し込み、タイヤ側にこじるとはずれます。（2～3カ所、場所をかえて繰り返すと楽にはずせます。）

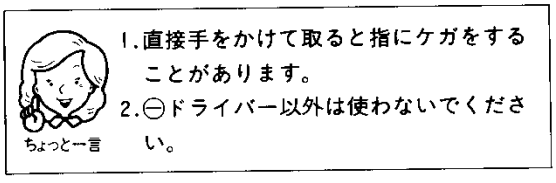




アルミホイールのセンターキャップ

㊀ドライバーの先を切り欠きに差し込み、タイヤ側にこじるとはずれます。



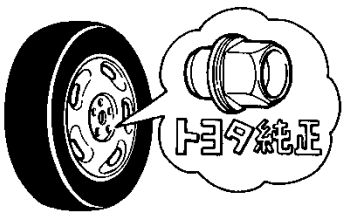


■アルミホイールの取り扱い方

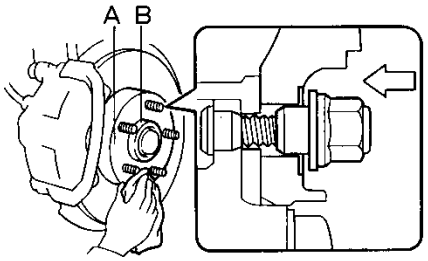
1. 取りはずしたホイールを直接地面に置くときは意匠面を上にして置いてください。



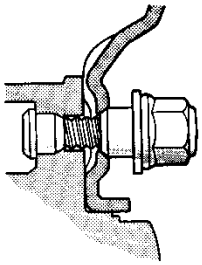
2. バランスウエイトおよびナットはトヨタ純正のアルミホイール専用品をお使いください。



3. 傷、変形のあるアルミホイールは再使用しないでください。
4. アルミホイールを再び車両に取りつけるとき、図のA、BのよごれをきれいにふいてからBの部分を確実にはめ、ホイールボルトが取りつけ穴の中心にくるようにして、ホイールナットの座金がホイールに当たるまで手で締めてください。
   さらに、レンチを使用して手で十分締めつけます。



5. ホイールナットを締めすぎないように注意してください。
6. タイヤチェーンを装着すると、ホイールに傷をつけるおそれがあります。
7. 応急用タイヤまたはスチールホイールを取りつける場合、ホイールナットは下図のように取りつけてください。

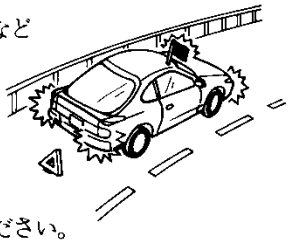


無断複製禁止

万一のときの処置

故障したら……

1.車を路肩に寄せ非常点滅灯を点滅させるか、赤旗などを表示します。



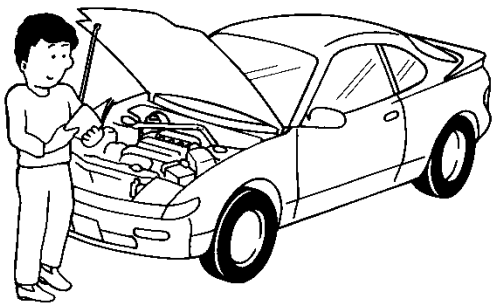
2.高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板（または停止表示灯）を置いてください。法律で義務づけられています。



非常電話を利用する場合などは、安全な場所を歩くよう心がけてください。

▶夜間、休日の修理連絡先

「整備手帳」巻末のトヨタサービス網をご覧ください。



走行中、エンジンが停止したときは…

運転操作に変化が生じますので、次の方法で車を安全な場所に停止してください。

1.ブレーキブースター（ブレーキ倍力装置）が作用しなくなりますので、ブレーキペダルを強く踏んでください。

2.パワーステアリング（ハンドル操作力軽減装置）が働かなくなりますので、ハンドル操作が重くなります。ハンドルを強く操作してください。

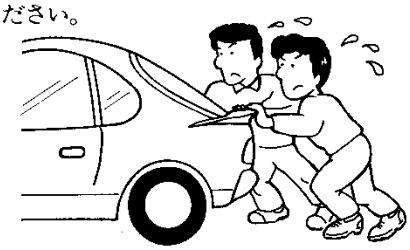
走行中、車体床下に強い衝撃を受けたときは……

ただちに車を止め、ブレーキ液の漏れや損傷を確認してください。損傷がひどい場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

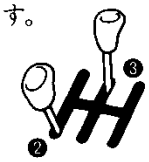


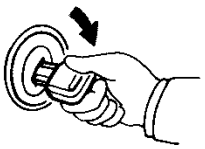
エンストして始動できなくなったときは…

1.付近に人がいる場合は安全な場所まで押してもらってください。



2.マニュアル（ギヤ式）トランスミッション車はチェンジレバーの位置をセカンドまたはサードにいれ、クラッチを踏まずにエンジンスイッチをSTARTの位置で保持すれば、車を動かすことができます。
また、平坦路の場合はトップにすると早く抜け出せます。

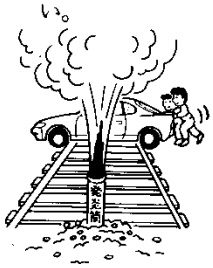






オートマチックトランスミッション車はエンジンスイッチで車を動かすことができません。

3.踏切内で動かなくなり、脱輪などですぐ動かせない場合は、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。



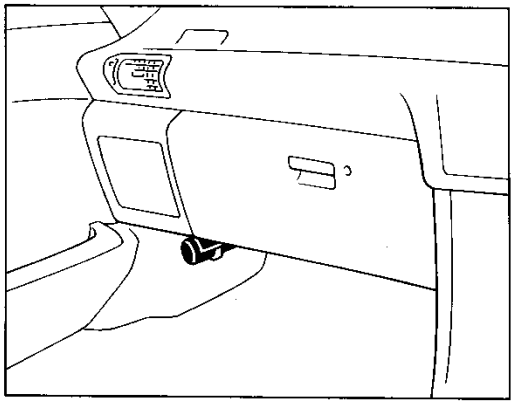


電車が来そうになったり、緊急を要する場合は発炎筒で合図してください。⇨次ページ参照。

無断複製禁止

発炎筒

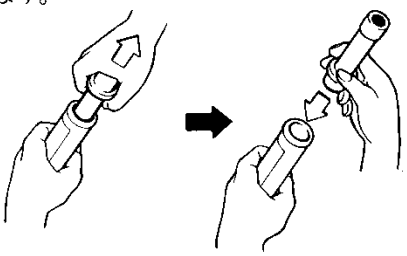
高速道路や踏切内などで、緊急を要するときに使用します。



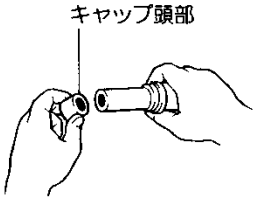
1.グローブボックス左下部に備えつけてあります。
2.**発炎時間は約5分間です。**
3.本体に表示してある有効期間のきれる前にトヨタ販売店でトヨタ純正ハイフレヤー(発炎筒)をお求めください。

▶使い方

1.本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



2.キャップ頭部のすり薬でこすると着火します。



注意!

1.お子さまにさわらせないでください。



2.非常用信号としてのみご使用ください。
3.使用中は筒先を顔や体に向けたり、近づけたりしないでください。やけどの危険があります。
4.発炎時間は約5分ですので、非常点滅灯を併用するようにしてください。
5.ガソリンなど可燃物の近くでは火災をまねくおそれがありますので使用をさけてください。

無断複製禁止

こんな故障の応急処置は……

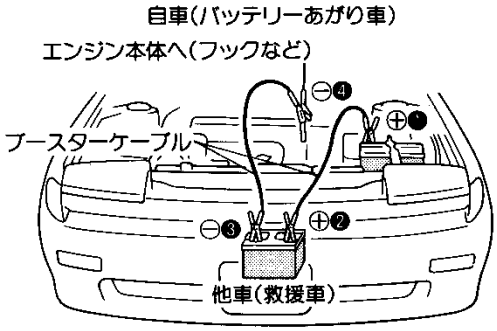
バッテリーあがりの処置は……

ブースターケーブル(別売)があれば、他車のバッテリーを電源としてエンジンを始動することができます。



救援車は必ず12Vのバッテリーがついている車を使用してください。

1.ブースターケーブルを図の番号の順序に接続します。⊕⊖を間違えないようご注意ください。





1.❶の接続は必ず自車(バッテリーあがり車)の⊕端子にしてください。
2.❹の接続はバッテリーから離れたエンジン本体にしてください。バッテリーとバッテリーを直接接続すると、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

2.接続後、救援車のエンジン回転を少し高めにしておきます。

3.始動のしかたは⇨43ページの「エンジンのかけ方」を参照してください。

4.自車のエンジンが始動したら、取りつけたときと逆の順序でブースターケーブルを取りはずします。バッテリーはすぐにガソリンスタンドやトヨタ販売店で完全充電してください。



1.絶対に押しがけによる始動はやめてください。
2.ケーブル接続の際には、⊕と⊖端子を絶対に接触させないでください。
3.ケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように接続には十分注意してください。

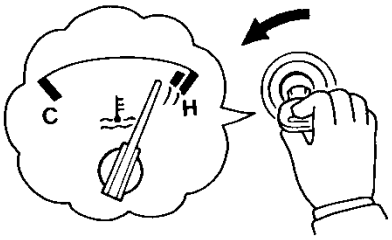
オーバーヒートの処置は……

1.安全な場所へ車を止めてください。



2.エンジンをかけたままで、ボンネットを開け、風通しをよくします。

3.水温計の指針が下がってきたら、エンジンを止めます。



4.エンジンが十分に冷えてから、冷却水の有無、ラジエーターのコア部(放熱部)の著しいよごれ、ごみの付着の有無、Vベルトのゆるみを点検します。

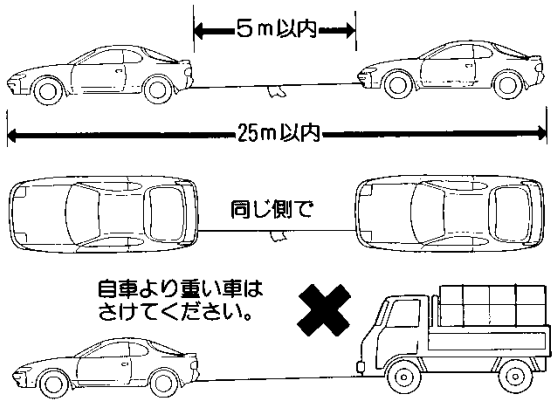


あわててラジエーターキャップをはずすと、冷却水には圧力がかかっていますので、蒸気や熱湯が吹き出して思わぬやけどをすることがあります。

無断複製禁止

けん引するときは……

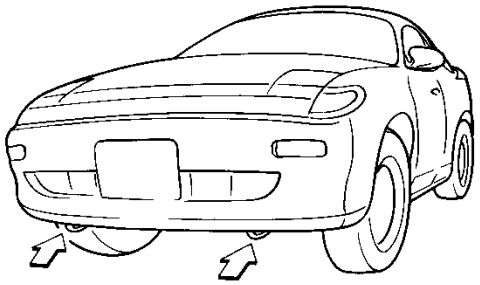
けん引は、下図の方法を守ってください。



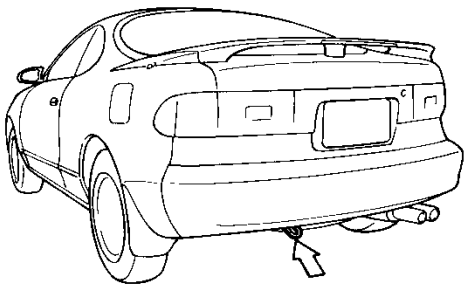
※けん引される車はけん引車の制動灯に注意して、常にロープをたるませないように気をつけてください。
また、けん引ロープには0.3メートル平方(0.3m×0.3m)以上の白い布を必ずつけてください。

■ロープをかける位置

▶フロント側



▶リヤ側



注意!

1. けん引される車は、下記事項を厳守してください。
   - チェンジレバーをNの位置にする。
   - エンジンスイッチをACCまたはONにする。
   - けん引される速度は30km/h以下（オートマチックトランスミッション車のみ）
   - けん引される距離は80km以内（オートマチックトランスミッション車のみ）
2. エンジンが停止していると、いつもよりブレーキの効きが悪くなります。
   また、ハンドル操作が非常に重くなります。できる限りエンジンを始動してけん引してください。
3. 長坂路を下るときはブレーキが過熱して効かなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。
4. トランスアクスル内部に故障があり、動かすと不具合があると思われる場合は、前輪をつり上げてからけん引してください。
5. フロントけん引フックを使用されるときはロープでボデーに傷をつけないようにしてください。
6. 次の場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。
   - エンジンが回っているのに車が動かない。または異常な音がする。
   - オートマチックトランスミッションフルードがない。

無断複製禁止

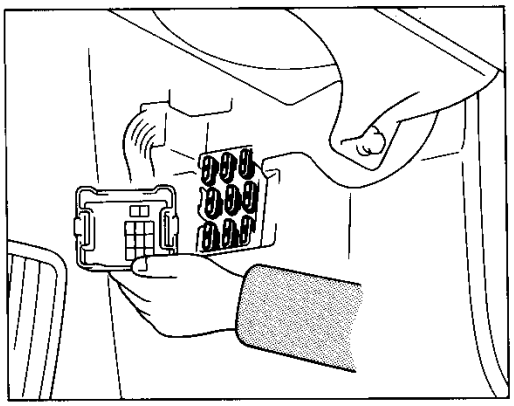
ヒューズが切れたときは……

各種のランプがつかないときや、電気系統の装置が働かないときは、ヒューズが切れている場合があります。ヒューズボックスの位置、ヒューズの受け持つ装置を知って自分で処置できるようにしておくと便利です。

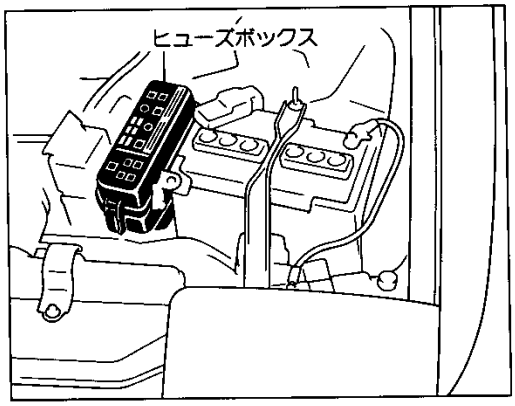
■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスは、運転席足元とエンジンルーム内にあります。

▶運転席足元ヒューズボックス



▶エンジンルーム内ヒューズボックス



ヒューズの受け持っている装置は⇨次ページを参照してください。


ちょっと一言

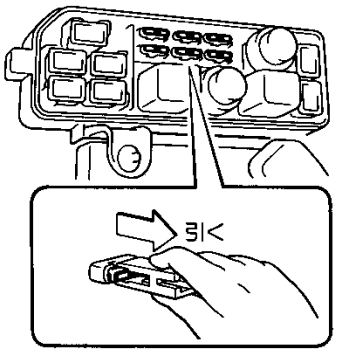
ヒーター、リヤウインドゥデフォッガー、電気式ドアロック、パワー(電動)ウインドゥ、パワー(電動)サイドサポート、パワー(電動)ランバーサポートが作動しないときはトヨタ販売店へご連絡ください。

■ヒューズの交換

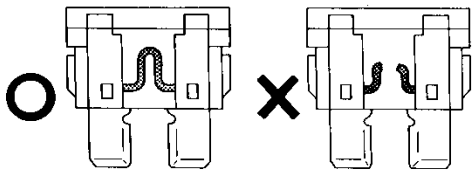
各ヒューズの受け持っている装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。そのときは次のように処置してください。

1.エンジンスイッチをLOCKの位置にします。

2.ヒューズにヒューズはずしを差し込んで引き抜きます。(ヒューズはずしは、エンジンルーム内ヒューズボックスカバーの裏側についています。)



3.ヒューズが下図の右側のようであれば、ヒューズ切れです。予備ヒューズと交換してください。




注意!

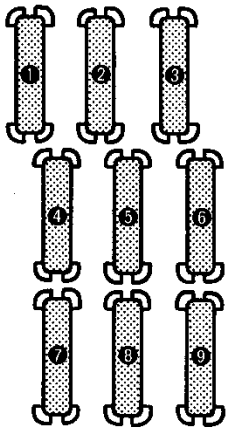
1.取りつけてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると電線の過熱焼損の原因になります。

2.取り替えてもまたヒューズが切れる場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

無断複製禁止

ヒューズの受け持つ装置

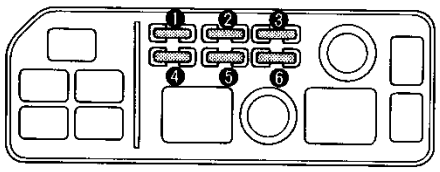
■運転席足元ヒューズボックス



〈ヒューズ〉

❶	イグニッション	7.5A	充電警告灯、電動ファン、4WS
❷	ライター & ラジオ	15A	シガレットライター、時計、ラジオ、電動リモコンミラー
❸	ストップランプ	15A	制動灯
❹	メーター	15A	計器、警告灯類、チェンジレバー位置表示灯、後退灯、リヤウインドゥデフォッガー(曇り取り)、オーバードライブ、ECT-S
❺	ターン	10A	方向指示灯
❻	エレクトロニクスイグニッション	15A	オートドライブ、4WS、TEMS、ABS、シフトロック
❼	ワイパー	20A	ワイパー
❽	ECU-B	15A	ABSリレー
❾	テールランプ	15A	計器類照明、オートドライブスイッチ照明、オーバードライブスイッチ照明、ヒーター照明、リヤウインドゥデフォッガー(曇り取り)スイッチ照明、ラジオ照明、シガレットライター照明、車幅灯、番号灯、尾灯

■エンジンルーム内ヒューズボックス



〈ヒューズ〉

❶	ヘッドランプ(左)	15A	ヘッドランプ(左側)
❷	リトラ	30A	ヘッドランプ昇降装置
❸	ヘッドランプ(右)	15A	ヘッドランプ(右側)
❹	EFI	15A	エンジンコントロールコンピューター
❺	ドーム	20A	オーディオ、時計、ECT-S、室内灯、マップランプ、デッキルーム灯、電動格納ミラー、ワイヤレスドアロック
❻	ハザード、ホーン	15A	警音器、非常点滅灯



予備ヒューズはヒューズボックスのカバー裏側に取りつけられています。

ヒューズは車の仕様によりない場合があります。

無断複製禁止

ランプ類が点灯しないときは……


ちょっと一言

1. ランプ類が点灯しないときは、ヒューズ切れの他、ランプ自体の球切れが考えられます。
   電球の交換は、右の各規格にあわせて、同容量のものにしてください。
2. ハロゲンランプ（ヨウ素入り電球）は使用時電球が高温になるため、表面に油などが付着すると寿命が短くなります。
   電球交換時に、手などがガラスに触れないように注意してください。
3. ランプ類はすべて12V用をご使用ください。

■フロント側電球

▶ヘッドランプ

ハロゲン ……60/55W

▶フォグランプ

GT-FOUR(ラリーパック、Vパックを除く)

ハロゲン……55W

▶車幅灯……5W

▶フロント方向指示灯(兼非常点滅灯) ……21W

▶サイド方向指示灯(兼非常点滅灯)……5W

■リヤ側電球

▶方向指示灯(兼非常点滅灯) ……21W

▶制動灯／尾灯 ……21/5W

▶後退灯……21W

▶番号灯…… 7.5W

■室内電球

▶室内灯……10W

▶マップランプ……10W

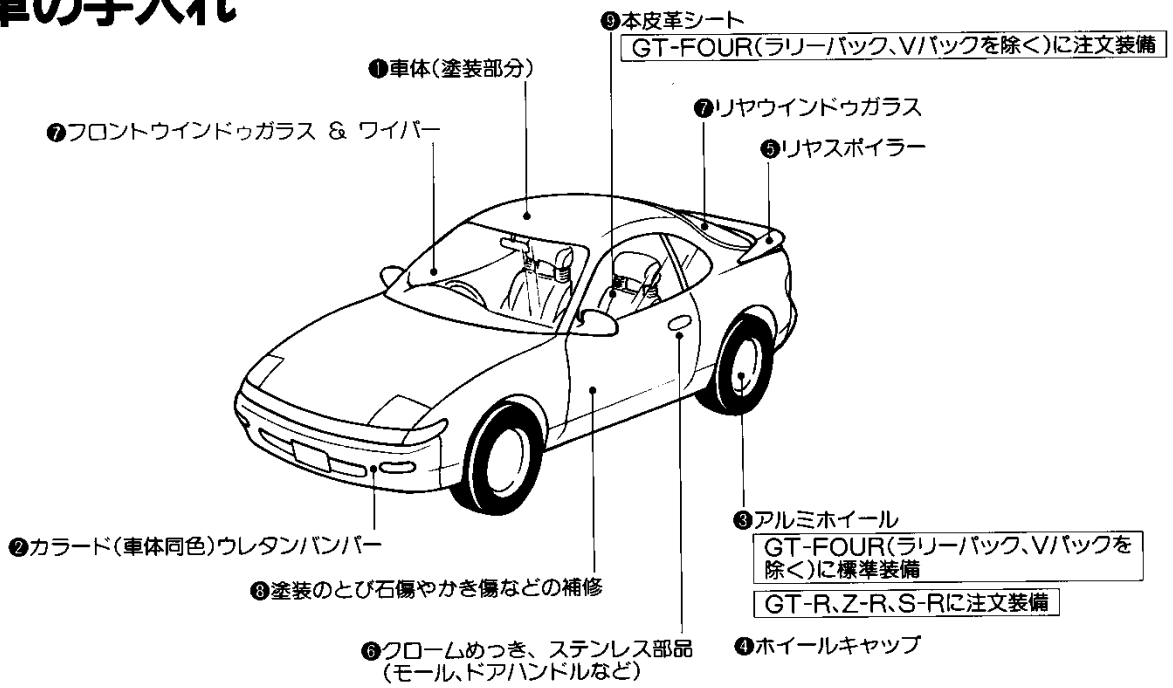
▶デッキルーム灯……5W

▶グローブボックスランプ ……1.4W

無断複製禁止

車の手入れ……116
経済運転のコツ……120
寒冷地での取り扱い……121
タイヤチェーン……123

車の手入れ



車を美しく保つには

車をいつまでも美しく保つためには、日頃の手入れが必要です。

1.次のような場合は必ず洗車してください。
- ●海岸地帯を走行したとき。
- ●凍結防止剤を散布した道路を走行したとき。
- ●コールタール、ばい煙、油煙、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき。
- ●ほこり、泥などで著しくよごれたとき。

2.次のような場所に長時間駐車しますと、塗装の劣化や、車体、部品の腐食などを早める原因となります。十分注意してください。
- ●海岸
- ●ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉などの降下の多い場所。
- ●化学物質を排出する工場周辺。
- ●樹液、鳥のふん、虫の死がいなどの付着の多い場所。

注意!

1.コンパウンド（みがき粉）入りワックスや、液状ワックスは洗剤として使用しないでください。
2.コンパウンド（みがき粉）入りワックスは、よごれがひどく落ちにくいときにだけ限定してご使用ください。
3.エンジンオイル、グリースなどの油分が付着すると、変色、しみなどの原因となります。十分注意してください。
4.自動洗車機を使用すると、ときによりブラシの傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

無断複製禁止

❶車体(塗装部分)の手入れ

車体のほこりはやわらかい布か毛ばたきで取ってください。

▶洗車方法

1.車体の下回り、足回りを洗います。
2.次に、車体に十分水をかけながら、スポンジかセーム皮(鹿のなめし皮)でよごれを洗い落とします。
3.よごれのひどいときは、トヨタ純正カーシャンプーまたは水アカクリーナー(ホワイト車専用)を使用します。

注意!
1.エンジンルーム内の電気製品に水をかけないように注意してください。エンジン始動不良の原因となります。
2.下回りを洗うときは、ゴム手袋などを着用してください。手にケガをするおそれがあります。
3.カーシャンプーを使用したあとは水で十分洗い流してください。
4.濃彩色車やメタリック車は自動洗車機を使用すると塗装にブラシの傷がつきスリ傷がめだちやすくなります。

4.塗装面にはん点が残らないように十分水をふき取ります。

▶ワックスについて

ワックスの中にコンパウンド(みがき粉)がはいっていないものをご使用ください。

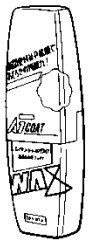
1.1カ月に1度、または水のはじきが悪くなったときに行ってください。
2.洗車後、車体の温度が体温以下のときに行ってください。しみの原因になります。
3.ワックスは次のトヨタ純正品をお使いください。

〈固形タイプ〉



- A1ハード カルナバ
- A1ソフト ホワイト
- A1ソフト メタリック&マイカ

〈液体タイプ〉



- A1コート ロングライフ
- A1イージー(リキッド) ホワイト
- A1イージー(リキッド) オールラウンド

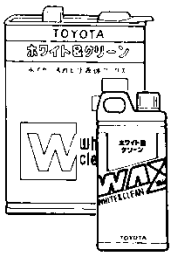
〈ムースタイプ〉

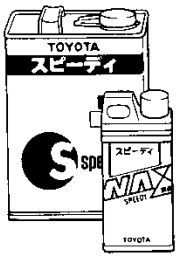


- A1イージー(ムース) ホワイト

4.前記のワックスを使用しても、よごれがひどく落ちにくいときは、次のトヨタ純正品をお使いください。

ホワイト&クリーン





スピーディ

注意!
これらのワックスの中には微粒なコンパウンド(みがき粉)がはいっていますので、よごれ落ちはよくなりますが、塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。また使用した布に色が付着することがあり、とくに濃彩色車ではめだちやすくなります。できる限り3.のワックスを使用してください。

❷カラード(車体同色)ウレタンバンパーの手入れ

1.車体と同じく、洗車したあとトヨタ純正ワックスでワックスがけをします。
2.たわしなどの硬い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮、スポンジなどをご使用ください。

ちょっと一言
エンジンオイル、グリースなどの油分が付着すると、変色、しみなどの原因となります。十分注意してください。

❸アルミホイールの手入れ

1.ホイールを洗うときは、中性洗剤を使用してください。よごれがひどく落ちにくいときは、トヨタ純正アルミホイールクリーナーをお使いください。
2.ワイヤブラシなど硬い物を使用して洗うと、ホイール面に傷がつきます。セーム皮、スポンジなどをご使用ください。
3.最後は十分水洗いをし、車体と同じワックスでワックスがけをしてください。

ちょっと一言
1.泥の付着、海水、凍結防止剤などにより汚染されると、腐食するおそれがありますので、付着させたままにせず、なるべく早く洗い落としてください。
2.コンパウンド(みがき粉)入りワックスは、よごれがひどく落ちにくいときにだけ限定してご使用ください。
3.自動洗車機を使用すると、ときによりブラシの傷がついたり塗装膜の摩耗を早めることがあります。

無断複製禁止

❹ホイールキャップの手入れ

セーム皮、スポンジなどで十分水をかけながら洗ってください。たわしや自動洗車機の硬いブラシを使用すると塗装部に傷がつきます。


ちょっと一言

ピッチクリーナーなどが樹脂部分に付着すると、破損の原因となりますので十分注意してください。

❺スポイラーの手入れ

1.車体と同じく、洗車したあとトヨタ純正ワックスでワックスがけをします。
2.たわしなどの硬い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮、スポンジなどをご使用ください。


ちょっと一言

自動洗車機を使用する場合は、必ず前側から洗車してください。洗車機によっては、リヤスポイラーがひっかかり洗車できないことがあります。十分注意してください。

❻クロームめっき、ステンレス部品（モール、ドアハンドルなど）の手入れ

1.車体と同じく、洗車したあとワックスがけをします。
2.しみなどは、トヨタ純正ホワイト&クリーンを使用して除去してください。

❼ウインドゥガラスについて

ワイパーのふきが悪くなった場合は、次のトヨタ純正ガラスクリーナーで清掃してください。



- ガラスクリーナーコンパウンド
- ガラスクリーナーリキッド
- ガラスクリーナーエアゾール

なお、ワイパーゴムが古くなっている場合も同様にふきが悪くなりますので最寄りのトヨタ販売店で交換してください。


ちょっと一言

リヤウインドゥガラス（室内側）の清掃は、断線を防止するため、湿った布で熱線にそって、軽くふいてください。
ガラスクリーナーなどを使用すると、リヤウインドゥデフォッガー（曇り取り）が作動しなくなるおそれがあります。

❽塗装のとび石傷やかき傷などの補修

これらの傷は腐食の原因となります。見つけたら早めにトヨタ純正タッチアップペイントまたはタッチアップテープで補修してください。



❾本皮革シートの手入れ

本皮革シートは手入れ方法を誤ると、変色、しみなどが生じるおそれがあります。下記事項を守って正しい手入れをしてください。

▶よごれの取り方

1.ウール用中性洗剤の5％水溶液を、ガーゼなどのやわらかい布に含ませ、軽くふき取ってください。
2.真水にひたした布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ってください。

▶乾燥

1.水にぬれたときや、水でふいたあとは、早めに乾いたやわらかい布でふき取ってください。
2.直射日光をさけ、風通しのよい日陰で乾燥させてください。

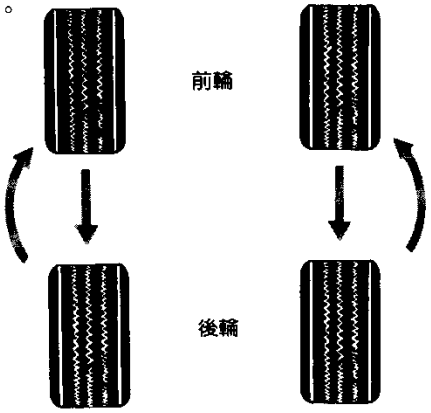

ちょっと一言

1.表面をナイロンブラシ、合成繊維類で強くこすったりすると傷つくおそれがあります。
2.ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸またはアルカリ性の溶液を使用すると、表面が変色するおそれがあります。
3.本皮革シートのよごれは、カビなどの発生原因となります。油よごれなどには十分注意し、常に清潔に保つよう心がけてください。
4.直射日光に長時間さらすと、表面が硬くなり縮むことがあります。とくにリヤシート背もたれの上端部は直射日光にさらされ高温になりやすいため、駐車する場合は、できるだけ日よけに心がけてください。
5.夏期など室内が高温になる状態のときに、シート上にビニール類をおいておきますと、ビニールが変質してシートに付着するおそれがあります。

無断複製禁止

■タイヤ位置交換

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために5,000kmごとに下図にしたがって位置交換を行うことをおすすめします。





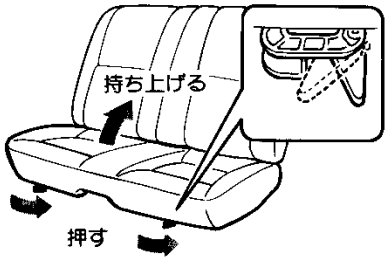
タイヤに付着したよごれを落とす場合は、トヨタ純正タイヤクリーナーで清掃してください。

■リヤシートの取りはずし方

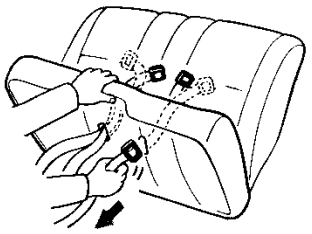
シートカバーの交換などでリヤシートを取りはずすときは、次の要領で行ってください。

▶シートクッションのはずし方

1.シート足元にあるレバー（2カ所）を押したまま（GT-FOURは引いたまま）、シート前部を持ち上げます。



2.シートクッションを手でささえながらシートベルトを下へ引き抜きます。



3.シート全体を手前に引きフックをはずします。



レバーを操作しないでシートを持ち上げると、シート固定具を損傷するおそれがあります。

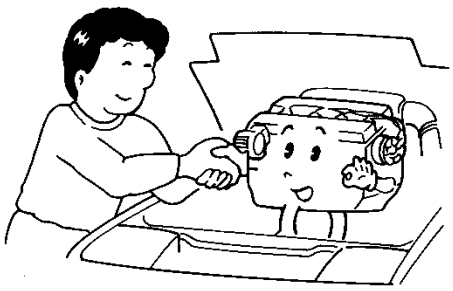


背もたれを取りはずす場合は、トヨタ販売店に相談してください。

無断複製禁止

経済運転のコツ

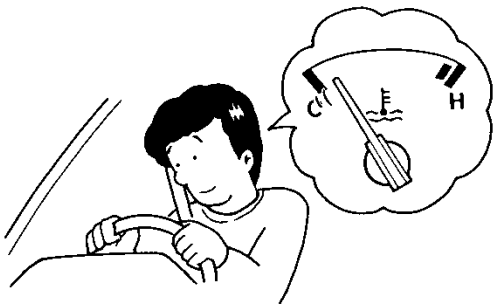
エンジンをいたわる気持ちが、長持ちの秘訣



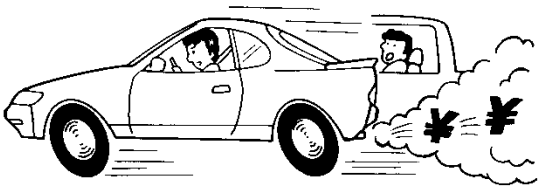
(新車時はとくに)ひかえめな運転をしてください。

暖機運転は、長すぎると不経済

水温計の指針が動き出すまでになればOKです。

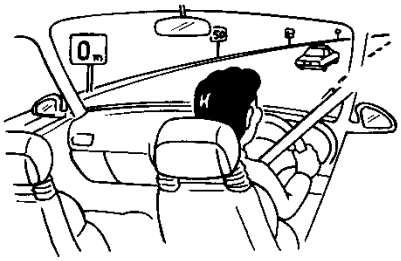


不必要な高速運転は燃料のムダ使い



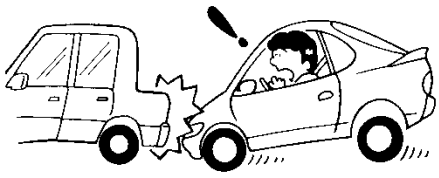
100km/h走行時の燃費は、40km/h走行時の約1.5～1.7倍よけいに多くかかります。
高速道路は80km/h程度で走るのが経済走行といえます。

車間距離はゆったりとって、安全プラス経済運転



無断複製禁止

急発進、急ブレーキは危険をともない不経済



クラッチの適正で確実な操作は、車を長持ちさせる秘訣

1. ギヤをいれるときは、クラッチペダルを十分踏み込んでから行ってください。
   中途半端な踏み方ですと、クラッチはもちろんトランスミッションのギヤなどもいためることになります。
2. 走行中は、クラッチペダルに足をのせないようにしてください。
3. 発進時は、ロー(1速)ギヤを使用してください。セカンド(2速)ギヤ発進など半クラッチの多用はクラッチの摩耗を早めます。

寒冷地での取り扱い

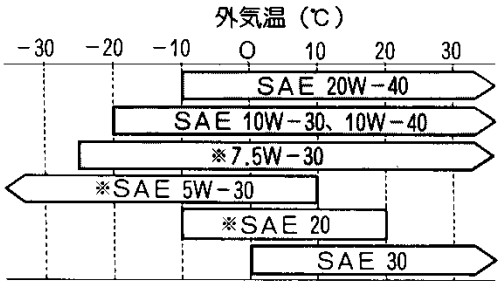
この項目での寒冷地とは、北海道全域および東北、北陸の積雪地帯および、その他の地域を含めた山岳地、スキー場などの局地的な厳寒地区、多雪地区を対象としておりますが、その他の地域においても、冬期の取り扱いの参考としてください。

安全なウインタードライブをするために

1. タイヤチェーンの準備
2. スノータイヤの装着
   スノータイヤに取り替えるときは、4輪とも交換します。
3. 冷却水の濃度を点検してください。(寒冷時は、トヨタ純正ロングライフクーラントの濃度を50%にします。)
4. ウォッシャー液の濃度を50%以上にあげます。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	−10℃
寒冷地の冬期	原液1に水1	−20℃
極寒冷地の冬期	原液のまま	−50℃以下

5. エンジンオイルの粘度は、外気温によって下表を参考にして使いわけてください。



※印のオイルはターボ車には使用できません。



ちょっと一言

SAE20、30は使用できる温度範囲が狭いので注意してください。
7.5W-30、10W-30、10W-40、20W-40の使用をおすすめします。

無断複製禁止

6.寒冷地では冬がくる前に燃料タンクの水分を排出することをおすすめします。
また、水分除去剤にはトヨタ純正ウォーターカットを使用してください。

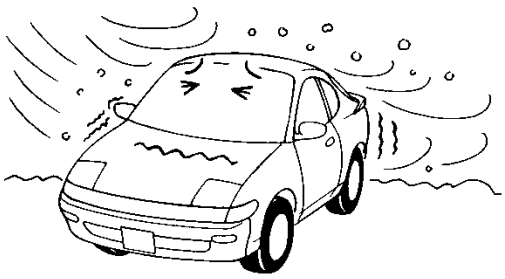
7.凍結防止用ワイパーブレードの装着
必ずトヨタ純正品を使用してください。

走行前の点検(運行前点検)

寒冷時には、次の項目を運行前点検のときに実施してください。

1.車の下をのぞいて、足回りに付着した氷塊を部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。
2.エンジン始動時にアクセルペダルの作動が円滑かどうか確認してください。
3.フロントウインドゥの氷雪を除去する際には、ワイパーゴムがガラスに凍結していないか確認してください。

エンジンの冷えすぎを防ぐには

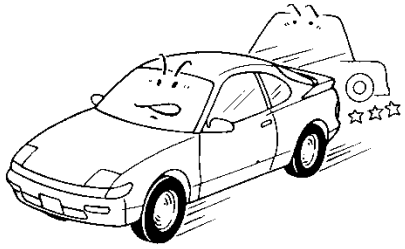


1.気温に応じてラジエーター前面にカバーをつけるとエンジンを適温に保つのに効果があります。
2.駐車するときは、ボンネット側を風下にしてください。

ドアの凍結時の処置

ドアが凍結した場合は無理に開けようとするとドア回りのゴムがはがれたり、き裂するおそれがありますので、湯をかけて氷を溶かしてください。なお、あとで水分を十分ふき取ってください。また、トヨタ純正アイスリムーバー(凍結固着防止剤)を使用すればゴムの凍結を防ぎ、ドアを楽に開けることができます。

ターボ車はエンジン始動直後に、エンジンの急激な空ふかし、または急加速をしないでください。



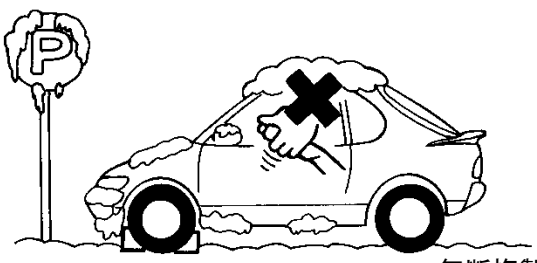
アクセルペダル凍結防止のため、靴に付着した雪を乗車時、よく落としてください。



凍結するおそれのある場合の駐車は…

寒冷時はパーキング(駐車)ブレーキをかけておくとブレーキ装置が凍結するおそれがありますので、パーキング(駐車)ブレーキはかけないでください。

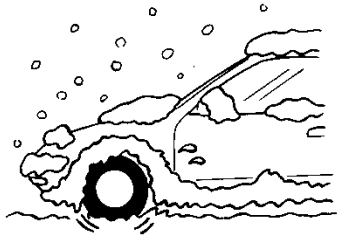
1.チェンジレバーの位置をマニュアル(ギヤ式)トランスミッション車はロー(1速)またはリバース(後退)、オートマチックトランスミッション車はP(駐車)にします。
2.車が絶対に動くことのないように輪止めをしてください。



無断複製禁止

雪道走行時、フェンダー裏側に付着した雪が氷結し次第にたい積して、ハンドルのきれが悪くなることがあります。

ときどき異常のないことを確認してください。



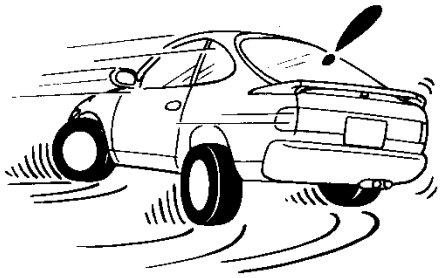
寒冷地では雪道走行時あるいは駐車時にブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

走行中は前後の車や道路状況に注意し、ときどき軽くブレーキペダルを踏んでブレーキの効き具合を確認してください。

また、駐車後走行を開始する場合も、できるだけ早くブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪い場合は低速で走行しながら、効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏んでください。

ぬれた路面、氷雪路面、凍結路面ではスリップに注意



ひかえめな速度で走り、氷雪路面、凍結路面では、スノータイヤ、タイヤチェーンを装着してください。地域によっては、条例などで使用が義務づけられていますので、冬がくる前に準備しておいてください。

タイヤチェーン



ちょっと一言

1. タイヤチェーンは前2輪に取りつけます。うしろ2輪には取りつけないでください。
2. 作業をするとき車体端部などでケガをしないように注意してください。
3. タイヤチェーンはタイヤサイズにあったトヨタ純正品（下表指定サイズのもの）を使用してください。

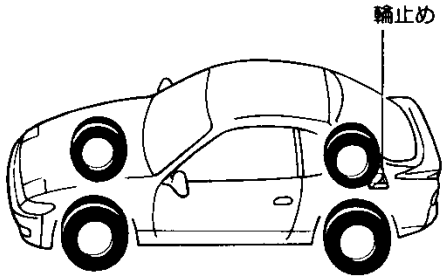
タイヤサイズ	指定サイズ(JIS表示)
175/70R14 84S	45191
185/65R14 85S	
205/60R14 87H	45192

■取りつけ方

1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2. 非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。
3. パーキング(駐車)ブレーキをかけます。



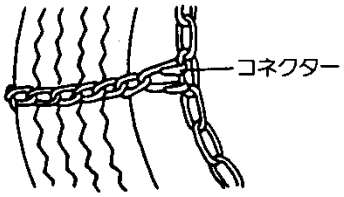
4. 工具、ジャッキを取り出します。
5. 左側チェーン取りつけ時には右側後輪、右側チェーン取りつけ時には左側後輪のうしろ側に、輪止め(搭載工具に含まれています）をします。



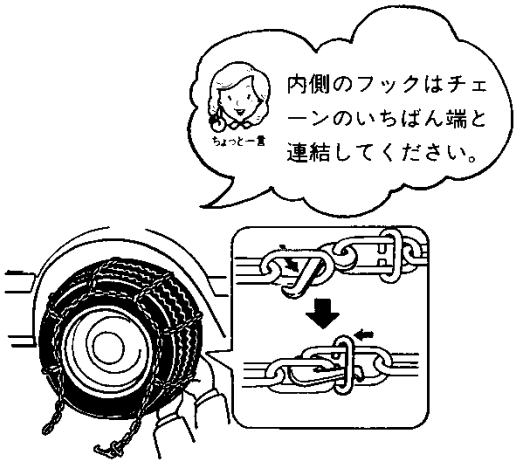
無断複製禁止

6.前輪をジャッキアップします。⇨104ページの「ジャッキ」を参照してください。

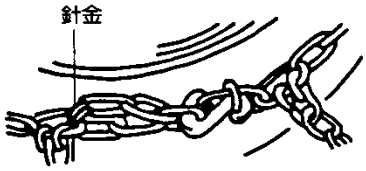
7.コネクターの折り曲げが外になるようにチェーンをかぶせます。



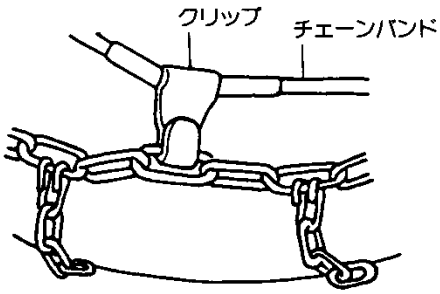
8.チェーンの両端をいっぱい引っ張って内側のフックを、次に外側を連結します。



9.余ったチェーンは車体に当たるのを防止するため下図のように針金で結びます。



10.チェーンバンドはクリップの爪を外向きにし、チェーンにかけます。



11.ジャッキをおろし、輪止めをはずします。

12.2～3分走行後、チェーンのゆるみ、はずれなどがないことを確認してください。



1.走行中タイヤチェーンが切れたり、一部はずれたりした場合は、車体側に当たり悪影響をおよぼしますので、ただちに処置してください。
2.ホイールキャップ付き車の場合、ホイールキャップに傷がつくおそれがありますので、タイヤチェーンを装着する場合にはホイールキャップをはずしてください。
3.アルミホイール装着車はホイールに傷をつけるおそれがあります。

■取りはずし方

1.チェーンバンドをはずし、針金を取り、フックは内側から先にはずします。
2.車を少し動かし、チェーンを取り出します。



1.タイヤチェーン購入時に一度装着して、長すぎる場合は、タイヤサイズにあうよう切ってください。
2.タイヤチェーンを装着した場合、雪道、凍結路は30km/h以下で走行してください。
3.雪道、凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので、できるだけさけてください。
4.後輪にはタイヤチェーンを装着することはできません。

無断複製禁止

ア

アルミホイール
　取り扱い…… 108
　手入れ…… 117
アンテナ……83

イ

ＥＣＴ－Ｓ（電子制御式２ウェイオーバードライブ付き４速フルオートマチックトランスミッション）……46
インストルメントパネル
　(計器盤)…… 2
インナーミラー……39
イグニッションスイッチ
　(エンジンスイッチ)……42

ウ

ウインドウガラス
　パワー(電動)ウインドウ……27
　手入れ…… 118
ウォッシャースイッチ……50, 51
ウレタンバンパーの手入れ…… 117
運行前点検……4, 122

エ

エアバッグ…… 20, 100
エンジンオイル…… 57, 121
エンジン回転計……54
エンジンキー……43
エンジンキーが回らないとき……43
エンジンキー照明……86
エンジンのかけ方……43
エンジンの止め方……43
エンジンスイッチ……42
エンストしたら…… 109
エンジンフード(ボンネット)……28
エンジンルーム……20
エンジンブレーキ……17
エンジン警告灯……57
ＡＢＳ……97

オ

オイル…… 121
応急用タイヤ（タイヤ参照）
オートマチック
　トランスミッション
　運転方法……11, 44
　けん引…… 112
オートドライブ
　(自動定速走行装置)
　働き……90
　使い方……90
オドメーター(積算距離計)……54
オーバーヒートの処置…… 111
オーバーラン
　(限界回転数超過)……14, 43
オーバードライブ
　（４速フルオートマチック
　トランスミッション）の
　使い方……45
オーディオの使い方……65

カ

寒冷地での取り扱い…… 121
カップホルダー……87
カラード(車体同色)ウレタン
　バンパーの手入れ…… 117
外装の手入れ…… 116
ガソリン(燃料)…… 8
ガソリンタンク
　(燃料タンク)……29, 54

キ

キー……24
緊急時の取り扱い
　（万一のときの処置参照）

ク

区間距離計……54
クラッチ…… 20, 121
グローブボックス(小物入れ)の
　施錠・解錠……87
グローブボックスランプ……87

ケ

計器盤…… 2
化粧ミラー……88
けん引
　ロープをかける位置…… 112
　注意事項…… 112
　オートマチック
　　トランスミッション車… 112

コ

高速運転…… 17, 120
工具の格納場所…… 104
故障したら
　エンスト…… 109
　オーバーヒート…… 111
　連絡先…… 109
　バッテリーあがり…… 111
　パンク…… 105

無断複製禁止

サ

サイドサポートアジャスター
(シート参照)
サンバイザー(日よけ)……88

シ

シート
前後位置調整……32
リクライニング調整……32
シート上下アジャスター……32
サイドサポート……33
ランバーサポート……33
ヘッドレスト……33
取りはずし方…… 119
シートベルト
装着方法……36, 37
取りはずし……36, 37
手入れ……37
室内灯……86
シガレットライター……85
シフトレバー
(チェンジレバー)……43, 44
触媒装置……10, 57
充電警告灯……57
ジャッキ
格納場所…… 104
ジャッキセット位置…… 104
純正部品, 製品…… 20, 117
樹脂ホイールキャップ
取りはずし…… 108
手入れ…… 117
チェーン装着時…… 123

ス

水温計……54
ステレオ (ラジオ、
カセットステレオ) ……65
ステアリングホイール
(ハンドル参照)
スピードメーター(速度計)……54
スペアタイヤ
格納場所…… 105
交換方法…… 106
スポイラー…… 118

セ

整備手帳…… 4
積算距離計……54
積雪時…… 122
洗車…… 116
前照灯(ヘッドランプ参照)
前照灯の上向き表示灯……56

ソ

速度計……54

タ

タイヤ
位置交換…… 119
空気圧…… 107
指定サイズ…… 107
スペアタイヤ…… 105
応急用タイヤ…… 105
交換方法…… 106
タイヤチェーン
装着方法…… 123
取りはずし…… 124
タコメーター
(エンジン回転計)……54
ターボ
作動圧力計……55
運転方法…… 22, 122
エンジンオイル……22
ターンシグナル
インジケーターランプ
(方向指示灯表示灯)……56
ターンシグナルレバー
(方向指示レバー)……49
暖機運転……9, 120
断線警告灯……58

チ

チェンジレバー
マニュアル(ギア式)
トランスミッション……43
オートマチック
トランスミッション……44
チャージウォーニングランプ
(充電警告灯)……57
駐車ブレーキの使い方……43
駐停車…… 43, 122
チルトステアリング
(上下調整式ハンドル)……39
チルト & スライド
電動サンルーフ……93

ツ

ツール(工具)…… 104
2ウェイオーバードライブ付き
4速フルオートマチック
トランスミッション……44

テ

手入れ
洗車…… 116
ワックスがけ…… 117
補修…… 118
テンパラケチャゲージ
(水温計)……54

無断複製禁止

デッキルーム灯……30
電球……115
電圧計……55
電子制御サスペンション(TEMS)
の使い方……96
電気式ドア施錠装置……25
電気式ドアロック……25
電動チルトアウェイ
ステアリング……38
電動リモコンミラー……40
電動ウインドウ……27
電動サイドサポート……33
電動ランバーサポート……33

ト

凍結時の処置……122
時計……84
トリップメーター
(区間距離計)……54
トルコン
(オートマチック
トランスミッション参照)
ドア
施錠・解錠……24
電気式ドアロック……25
ドアミラー……40
ドアガラス
(ウインドウガラス参照)

ナ

ナンバープレートランプ
(番号灯)……115

ネ

燃料……8
燃料計……54
燃料タンク
容量……54
補給……8，29
燃料タンクキャップ……29
燃料残量警告灯……58

ハ

排気ガス……9，18
排気温警告灯……10，57
灰皿……85
ハイビームインジケーターランプ
(ヘッドランプの上向き表示
灯)……56
発炎筒
取りつけ場所……110
取り扱い……110
ハロゲンランプ……115
半ドア警告灯……58
ハンドル
前後位置調整……38
上下位置調整……38，39
ハンドルロック……42
ハザードウォーニングスイッチ
(非常点滅灯スイッチ)……52
バッテリーあがり……111
バニティーミラー(化粧ミラー)…88
バーチカルアジャスター
(シート参照)
パーキング(駐車)ブレーキの
使い方……43
パワー(電動)ウインドウ……27
パワー(電動)サイド
サポート……33
パワー(電動)ランバー
サポート……33
パワーステアリングの操作
……10，18，109
パンク……105
バンパーの手入れ……17
バックドア……29
バックミラー(ミラー参照)
パッケージトレイ……89

ヒ

ヒーター……59
ヒートゲージ(水温計)……54
ヒューズ
取りつけ位置……113
容量・受け持ち回路……114
予備ヒューズ……113
交換方法……113
非常点滅灯スイッチ……52
非常点滅灯表示灯……56

フ

フォグランプスイッチ……52
フタ付きコンソールボックス
(小物入れ)……87
不凍液(冷却水参照)
フューエル(燃料参照)
フューエルウォーニングランプ
(燃料残量警告灯)……58
フューエルゲージ
(燃料計)……54
フューエルタンク
(燃料タンク参照)
フューエルリッド(燃料補給口)
オープナー……29
フルタイム4WD……101
フロアシフト
(チェンジレバー参照)
フロントシート
前後位置調整……32
リクライニング調整……32
シート上下アジャスター……32
サイドサポート
アジャスター……33

無断複製禁止

ランバーサポート……33
ヘッドレスト……33
ブレーキ
効き……17, 123
液……20
ブレーキウォーニングランプ
(ブレーキ警告灯)……58
ブレーキ警告灯……58
冬(寒冷地での取り扱い,
タイヤチェーン参照)

ヘ

ヘッドライト
(ヘッドランプ参照)
ヘッドランプ
点灯・消灯……47
上下切り替え……49
追いこし合図……49
ハロゲンランプ…… 115
ヘッドランプの上向き表示灯……56
ヘッドレスト……33

ホ

保安炎筒(発炎筒)…… 110
ホイールキャップ…… 108
方向指示灯表示灯……56
方向指示レバー……49
防眩ミラー……39
ボンネット……28

マ

マニュアル(ギヤ式)
トランスミッション……43
マップランプ……86

ミ

水たまり走行後……17
ミラー
防眩ミラー……39
電動リモコンミラー……40

ム

無線装置……20

メ

メーター
スピードメーター
(速度計)……54
タコメーター
(エンジン回転計)……54
水温計……54
電圧計……55
燃料計……54

ユ

油圧警告灯……57
雪道走行
(寒冷地での取り扱い,
タイヤチェーン参照)

ヨ

4輪操舵システム(4WS)……98

ラ

ライトスイッチ
点灯・消灯……47
ヘッドランプの上下切り替え
……49
追いこし合図……49
ランバーサポート
(背もたれ腰部硬さ調整)……33
ランプ(電球)…… 115
ラジエーター(冷却水参照)
ラジエーターキャップ…… 21, 111

リ

リクライニング
(背もたれ角度)調整……32
リモートコントロールミラー
(電動リモコンミラー)……40
リヤウインドウガラス
曇り取り装置……51
手入れ…… 51, 118
リヤウインドウデフォッガー
(リヤウインドウガラス曇り
取り装置……51
リヤシート
倒し方……34
ロックのしかた……34
取りはずし方…… 119

ル

ルームランプ(室内灯)……86
ルームミラー……39

無断複製禁止

レ

冷却水
　点検…… 111
　補給…… 121

ロ

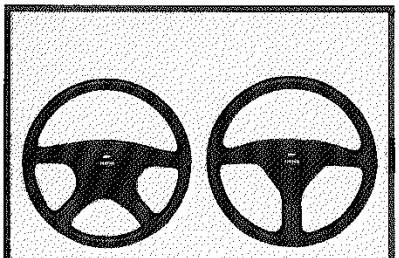
ロープをかける位置…… 112

ワ

ワイパー
　フロントガラス用スイッチ…50
　リヤガラス用スイッチ……51
　ウォッシャー液… 50, 51, 122
　ワイパーゴムの交換…118, 121
　積雪時の処置…… 122
ワイヤレスドアロックリモコン…26
ワックスがけ…… 117
ワンタッチメモリー付きシート
　リクライニング……32

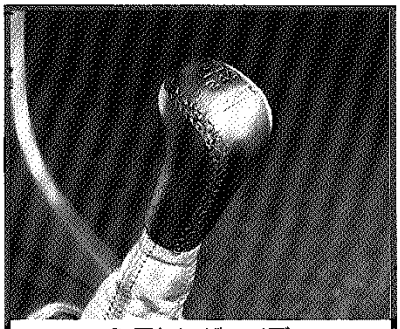
無断複製禁止

セリカをより個性的に充実させる
トヨタ純正——インテリア&エクステリアグッズ



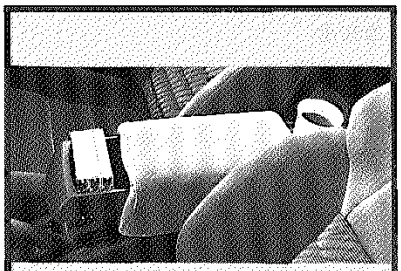
ステアリングホイール(オリンピックIIタイプ・コブラタイプ)
¥56,600(オリンピックIIタイプ) ¥44,600(コブラタイプ)

- ドライブテクニックが冴える精悍なデザインとシャープな操作性。
- 設定:ZR・GT-R・GT-FOUR (除くエアバック車)



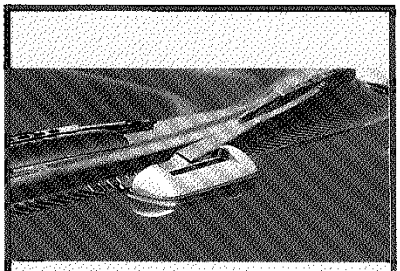
シフトレバーノブ
¥9,500

- 海外有名ブランド品(モモ社)でステアリングホイールとのコーディネイトを。
- 設定:全車型(M/T車用)



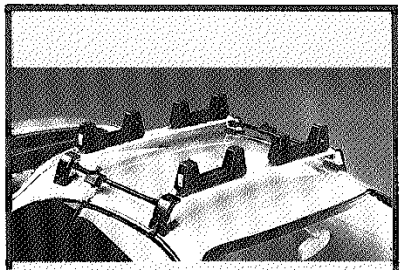
マルチユースセンターコンソール
¥11,900

- 小物入れとカップホルダー、さらにアームレストの機能をもつコンソールボックス。
- 色:グレー、セーブル
- 設定:全車型



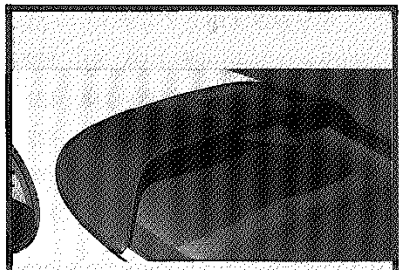
オートワイパー
¥21,500

- ワイパー操作の煩しさから解放される便利商品。
- 色:ダークグレー、ホワイト
- 設定:ZR以上GT-FOUR以下



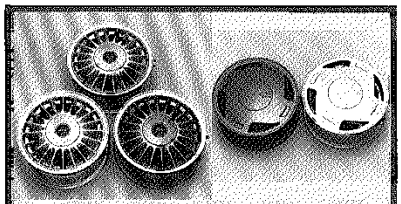
最高級システムラック(スキーラックセット)
¥28,000※

- アタッチメントの交換で展開可能なシステムタイプ。スキーは盗難防止キー付。
- 設定:全車型



バックバイザー
¥20,400

- リヤシートの直射日光を遮りエアコンの冷房効果を高める樹脂製バイザー。リヤスタイルをスポーティにドレスアップ。
- 設定:全車型

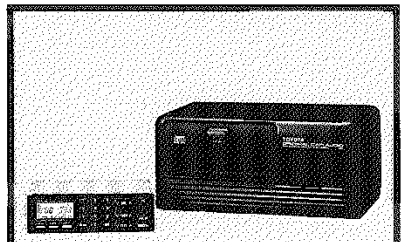


アルミホイール(フィンタイプ・14×6JJ)
¥26,500※(1本分) ¥115,900(1台分)

- タイヤに表情をもたらす強さと軽さと美しさの調和。
- 色:シルバー、ゴールド、ダークグレー
- 設定:全車型(除くアクティブスポーツ・GT-FOUR)

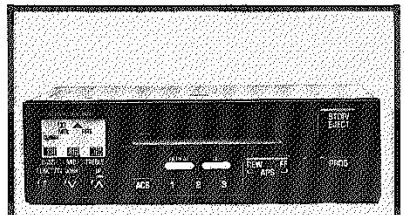
アルミホイール(エアロデッシュタイプ・14×6JJ)
¥31,500※(1本分) ¥135,900(1台分)

- 海外有名ブランド(スピードライン社)の高級品。
- 色:シルバー、ダークグレー
- 設定:全車型(除くアクティブスポーツ・GT-FOUR)



CDオートチェンジャー(ディスクタイトル表示機能付)
¥99,800※(本体価格のみ)

- カーオーディオライフに最適。CD12枚連続演奏の先進CDシステム。
- 設定:全車型



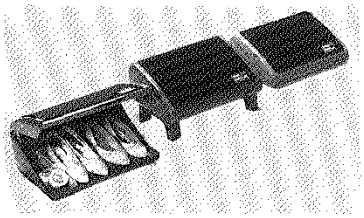
プログラマブルアコースティックフレーバー付
オートリバースカセットデッキ
¥50,000※(本体価格のみ)

- 好みの音楽ジャンルに合わせ自由な音づくりができる本格派向けカセットデッキ。
- 設定:S-R

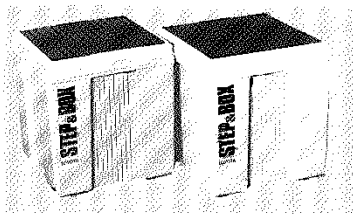
●価格は取付費を含んだメーカー希望小売価格(消費税抜き)です。(※印の価格には取付費は含まれておりません)
●消費税は別途申し受けます。

無断複製禁止

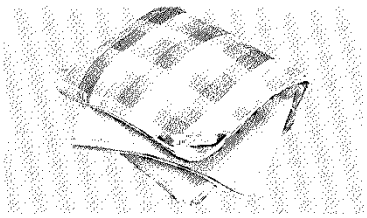
快適なクォリティーカーライフを演出する
トヨタ純正 アクセサリーグッズ



シューズ&フットケース　¥6,500
（アジャスタブルブロック付）
- 女性の靴なら2足収納可能。
- 上部に足をのせてくつろぐこともできる便利ボックス。
- 色／マルーン、ブルー、ブラウン



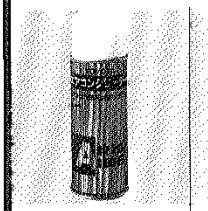
ステップ&ボックス　¥3,900
- ルーフなどを洗車する際の踏み台になるとともに、小物用品の収納も可能。
- 色／ブルー、ピンク



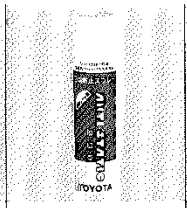
3WAYクッション　¥5,600
- 毛布を内蔵したファッショナブルなクッション。
- 毛布は肌かけ、カバーは敷布団として使用可能。
- 乳幼児のいるヤングファミリーに最適の商品。

おすすめします トヨタ純正 オイル&ケミカル

手軽なお手入れで威力を発揮するトヨタ純正ケミカル用品



エアコンクリーナー
……300g ¥2,200
- 気になるエアコンのニオイを優れた洗浄力でカット。



静電防止スプレー
……80mℓ ¥1,100
- シュッとひと吹きするだけで静電ショックを防止。



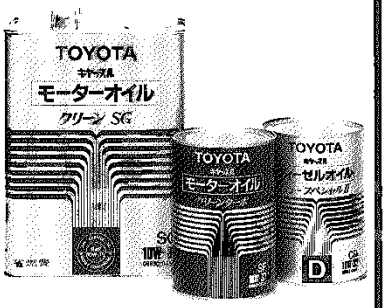
シモナイズ
- アメリカ生まれのカーケア用品
用途にあわせてフルバリエーション。



WD-40
……470mℓ ¥1,200
……78mℓ ¥600
- 家庭に1本！あらゆる金属のサビ・きしみをストップ。

ソフトペーストワックス	250g	¥1,600
パッドワックス	75mℓ	¥1,100
液体ワックス	500mℓ	¥1,500
スプレーワックス	500mℓ	¥1,700
ガラスクリーナー	480mℓ	¥800
ホイールクリーナー	500mℓ	¥1,300
シートクリーナー	480mℓ	¥900

トヨタの技術が開発した高性能・高品質オイル



トヨタ車にはトヨタ純正オイルをご使用ください。

- キヤッスル・クリーンSG（ガソリン車用）……4ℓ ¥3,200
- キヤッスル・クリーンターボ（ガソリンターボ車用）……4ℓ ¥4,800
- キヤッスル・ディーゼルオイルニュー スペシャルII（ディーゼル車用）……4ℓ ¥2,400

※上記のほかにトヨタでは数々のトヨタ純正品をとり揃えくより快適なカーライフ>をお届けしています。詳しくはお近くのトヨタの販売店におたずねください。
※価格は1988年4月現在のものであり、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
※オイルの価格には交換手数料は含まれておりません。
※取扱書に記載してあるメーカー希望小売価格は消費税抜きの価格です。
※消費税は別途申し受けます。

万一にそなえて

安心のために自賠責保険（強制保険）のほかに
任意自動車保険にも加入しましょう。

ご加入の際はトヨタ販売店に
ご相談ください。

不幸にして事故が起きたら！

あわてずに次の処置をしましょう。

①続発事故防止
②負傷者の救護
③警察への届け出
以上道交法第72条
④相手方の確認とメモ（氏名、住所、電話番号）
⑤ご購入された販売店と保険会社への連絡

無断複製禁止

こんなときは、このページをご覧ください。

- 朝エンジンがかからないときは …… 111
- 走行中エンジンが止まったときは …… 109
- バッテリーがあがったときは …… 111
- オーバーヒートしたときは …… 111
- 警告灯が点灯したときは ……57
- ランプ類が点灯しないときは(ヒューズ切れ、電球切れ) ……113, 115
- 踏切で故障したときは …… 109
- 高速道路で故障したときは …… 109
- 一般道路で故障したときは …… 109
- 床下に強い衝撃を受けたときは …… 109
- パンクしたときは …… 105
- こまったときの修理連絡先
  ①お買いあげいただいたトヨタ販売店
  ②整備手帳巻末のサービス網をご覧ください。

運行前点検や他の整備に関する記載は整備手帳をご覧ください。

お問い合わせ、ご相談は
右記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター
●名古屋(本部) (052)952-3333
●札 幌(011)852-3333 ●大 阪(06) 252-2255
●秋 田(0188)65-7333 ●広 島(082)231-5333
●仙 台(022)267-3333 ●高 松(0878)23-4333
●東 京(03) 817-7333 ●福 岡(092)938-3333
●金 沢(0762)45-1333 ●鹿児島(0992)27-5333
本部所在地　〒461 名古屋市東区泉1丁目23-22

トヨタ自動車株式会社

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷　ＮＡ－1989年11月15日　●発行－1989年９月６日(非売品)

無断複製禁止

M20091
01999－20091